

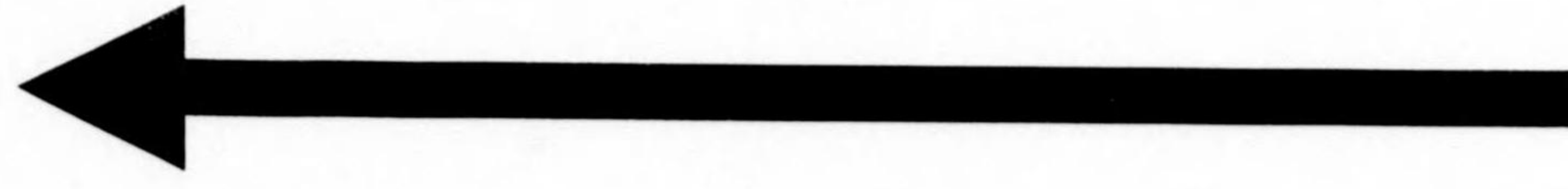
611.31-N77ㄅ



.31
7



始



FE 18-45

昭和十七年一月

米麥關係法規

(代謄寫)

食糧管理局

米麥關係法規

目次

米穀統制法

(昭和八年三月二十九日) (昭和一十一年五月二十八日)
(法律第二十四號) (法律第二十三號改正)

米穀統制法第三條ニ依ル米穀ノ買入代價ニ對シ金利加算ニ關スル件 (昭八年十二月二十七日) (勅令第三百二十三號) 四

米穀其ノ他ノ輸入税增加免除ノ件 (昭八年十月二十三日) (昭十五年十月三十日) (昭十六年十月十六日) (勅令第二百八十三號) (勅令第七百十三號改正) (勅令第九百二十七號改正) 五

米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件 (昭八年十月二十三日) (勅令第二百七十九號) 六

米穀統制法施行令 (昭八年十月二十三日) (昭十年十一月二十七日) (昭十一年九月十六日) (勅令第二百八十號) (勅令第三百八號改正) (勅令第三百二十七號改正) 六

(昭十五年二月二十二日) (勅令第六十三號改正) 六

米穀統制法施行規則 (昭八年十月二十四日) (昭十二年一月十九日) (昭十三年六月二十九日) (農林省令第二十號) (農林省令第二號改正) (農林省令第二十四號改正) 一四

(昭十五年十月二十八日) (昭十六年十二月十六日) (農林省令第九百三十七號) (農林省令第二百二號改正) 一四

米穀統制法施行規則第三十九條第一項ノ規定ニ依ル米穀現在高調査要綱ノ二米穀

實收高資料調製要綱 (昭十六年十二月二十四日) (農林省令第九百三十七號) 三三

米穀統制法施行令第二條第一項ニ依ル銘柄及等級指定ノ件 (昭八年十月二十四日) (農林省令第三百八十五號) 一

611.31
N77

農林省食糧
管理資料課
寄贈本



(昭和九年十一月一日農林省告示第四百十號 改正) 四二
(昭和十二年十二月二十七日農林省告示第四百十七號)

昭和十六年法律第三十七號附則第二項ノ規定ニ依リ米穀統制法第二條第一項ノ最

低價格及最高價格ヲ公定スルコトヲ要セザル場合ニ關スル件(昭和十六年九月十八日) 四二

米穀統制法施行令第三條ノ家計米價ノ算定ニ用フベキ割合ニ關スル件(昭和十一年十二月七日) 四三

米穀統制法施行令第五條ノ規定ニ依ル地方主要米穀集散地指定ノ件(昭和八年十月二十七日) 四三

米穀統制法施行令第八條ノ規定ニ依ル買入又ハ賣渡ニ於ケル控除金額ノ件

(昭和八年十一月一日) (昭和九年一月九日農林省告示第三號) 四五
(農林省告示第四百五號) (昭和九年二月二日農林省告示第九號)
(昭和十四年七月三日農林省告示第八十九號)

米穀配給統制法(昭和十四年四月十一日) 四七

米穀配給統制法ノ一部施行期日ニ關スル件(日本米穀株式會社關係勅令) (昭和十四年四月十七日) 六〇

米穀配給統制法ノ一部施行期日ニ關スル件(法律第四條及第五條) (昭和十四年八月九日) 六〇

米穀配給統制法ノ一部施行ニ關スル件(法律第四條及第五條) (昭和十四年八月九日) 六一

米穀配給統制法ノ一部施行期日ニ關スル件(米穀市場) (昭和十四年九月三十日) 六三

米穀配給統制法ノ一部施行ニ關スル件(米穀市場) (昭和十四年九月三十日) 六四

米穀配給統制法施行ニ關スル件(日本米穀株式會社ノ株) (昭和十四年六月九日) 六六

米穀配給統制法施行ニ關スル件(式割當ニ關スル命令) (農林商工省令第五號) 六六

913
231

米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル米穀ノ最高販賣價格ニ關スル件 六七

(昭和十四年八月二十五日)
(農林商工省令第八號)

米穀配給統制法一部施行ニ關スル件(米穀市場關係命令) (昭和十四年九月三十日) 六七

米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル屑米ノ最高販賣價格(昭和十六年十二月二十一日) 七四

昭和十四年農林商工省令第八號第二項ノ規定ニ依ル昭和十六年以降產内地玄米ノ種類、

銘柄及等級並ニ最高販賣價格(昭和十六年九月十八日) 七六
(農林省告示第六百八十五號)

昭和十四年農林商工省令第八號第二項ノ規定ニ依リ昭和十六年以降產内地粳ノ種類、銘

柄及等級並ニ最高販賣價格(昭和十六年九月十八日) 八一
(農林省告示第六百八十六號)

昭和十四年農林商工省令第八號第二項ノ規定ニ依リ内地精米ノ種類、銘柄及等級並ニ最

高販賣價格(昭和十六年九月十八日) 八六
(農林省告示第六百八十七號)

價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル白米ノ小賣價格(昭和十四年十一月六日) 九二

米穀自治管理法(昭和十一年五月二十八日) (昭和十六年三月六日) 九三

米穀自治管理法施行令(昭和十一年九月十六日) (昭和十六年十月一日) 一〇八

米穀自治管理法施行規則(昭和十一年九月十六日) 一一八

米穀自治管理法第五十一條第一項ノ規定ニ依ル地指定ノ件(昭和十一年九月十六日) 一三六

昭和十二年法律第九十二號第三條ノ規定ニ依ル職務執行ノ證票ニ關スル件

(昭和十四年十二月十九日)

..... 一八五

臨時穀物等ノ移出統制ニ關スル件(昭十五年四月一日)

..... 一八七

昭和十五年農林省令第十九號第一條第一項ノ指定ニ關スル件(昭十五年四月一日)

..... 一八八

昭和十五年農林省令第十九號第一條第二項ノ規定ニ依リ米穀、大麥、裸麥及小麥

ニ付同條第一項ノ許可ヲ受ケ移出ヲ爲スコトヲ得ル者指定ノ件

(昭十五年四月一日)

..... 一八八

昭和十五年農林省令第十九號第一條第二項ノ規定ニ依リ小麥粉ニ付同條第一項ノ

許可ヲ受ケ移出ヲ爲スコトヲ得ル者指定ノ件(昭十五年十一月一日)

..... 一八九

麥類配給統制規則(昭十六年六月九日)

..... 一九九

麥類配給統制規則取扱要綱(昭十六年六月九日)

..... 一九五

麥類配給統制規則第四條第一項第二號ノ場合指定ノ件(昭十六年六月九日)

..... 一九七

麥類配給統制規則第五條ノ規定ニ依ル指定ノ件(昭十六年六月九日)

..... 一九七

(昭十六年九月二十四日 改正)

..... 一九七

小麥粉等製造配給統制規則(昭十六年七月十一日)

..... 一九八

小麥粉等製造配給統制ニ關スル件(昭十六年七月十二日)

小麥粉等製造配給統制規則取扱要綱(昭十六年七月十二日)

小麥粉等製造配給統制規則第二條第一項ノ規定ニ依ル中央小麥粉配給機關指定ノ

件(昭十六年七月十一日)

小麥粉等製造配給統制規則第六條第二項ノ場合指定ノ件(昭十六年七月十一日)

小麥粉等製造配給統制規則第七條ノ場合指定ノ件(昭十六年七月十一日)

價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル大麥及裸麥ノ販賣價格(昭十五年二月十五日)

價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル燕麥ノ販賣價格(昭十五年九月二十日)

價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル小麥及小麥粉ノ販賣價格(昭十五年一月三十一日)

昭和十五年一月三十一日 農林省 告示第一號ノ二小麥粉最高販賣價格附記イニ依ル小

麥粉規格

昭和十五年一月三十一日 農林省 告示第一號ノ二小麥粉最高販賣價格附記イニ依ル小

麥粉規格

昭和十五年一月三十一日 農林省 告示第一號ノ二小麥粉最高販賣價格附記イニ依ル小

麥粉規格檢出方法

米穀需給調節特別會計法(大正十年四月四日) 法律第三十七號

大正十四年三月法律第三十三號、昭和四年三月法律第三十號、昭和六年三月法律第三十二號、昭和七年九月法律第二十七號、昭和八年三月法律第二十五號、昭和九年三月法律第二十九號、昭和十六年三月法律第三十七號、昭和十六年十二月法律第九十三號 改正

米穀需給調節特別會計法第四條ノ三ニ定ムル證券及借入金ノ額ヲ通ズル最高金額

増額スルノ件(昭和十五年十二月二十七日) 勅令第九百四十一號

米穀需給調節特別會計規則(大正十年五月二十四日) 勅令第二百二十四號(昭和十一年三月勅令第四十號改正) 二三〇

米穀證券發行規程(昭和六年四月一日) 勅令第九百八十一號(昭和十六年四月二十三日大藏省令第六十五號改正) 二二三

附 錄

貿易統制令(昭和十六年五月十四日) 勅令第五百八十一號 二三五

貿易統制令施行規則(昭和十六年六月十二日) 商工、農林省令第九號 二三七

許可認可等行政事務處理簡捷令(昭和十六年十一月十四日) 勅令第九百六十七號 二四九

生活必需品統制令(昭和十六年四月一日) 勅令第三百六十二號 二五一

生活必需品指定規則(昭和十六年四月一日) 閣令第二十三號(昭和十六年九月二十日改正) 二五五

雜穀配給統制規則(昭和十六年十月四日) 農林省令第八十一號 二五六

諸類配給統制規則(昭和十六年八月二十日) 農林省令第六十七號 二六二

澱粉類配給統制規則(昭和十五年八月十四日) 農林省令第六十八號 二六九

澱粉類配給統制規則第一條及第三條ノ規定ニ依ル指定ノ件(昭和十五年八月三十一日) 農林省告示第四百十二號

(昭和十六年八月二十日改正) 農林省告示第五百九十號 二七一

食糧管理局官制(昭和十六年一月二十一日) 勅令第九百三十號(昭和十六年十月二十二日改正) 二七三

食糧管理局分課規程(昭和十六年一月二十一日施行) 勅令第九百三十號 二七四

農產物検査所一覽 二七八

米穀關係法規

米穀統制法

(昭和八年三月二十九日
法律第二十四號)

沿革(昭和十一年五月二十八日法律第二十三號 改正)
昭和十六年三月六日法律第三十七號

第一條 政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節シ米穀ノ統制ヲ圖ル爲本法ニ依リ米穀ノ買入及賣渡ヲ行フ

第二條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年米穀ノ最低價格及最高價格ヲ公定シ之ヲ告示ス

前項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費、家計費及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

政府ハ第一項ノ最低價格ノ決定ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ金利及保管料ヲ加算スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ定メタル最低價格又ハ最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ物價ノ變動著シキ場合又ハ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ之ヲ改定スルコトヲ得

第三條 政府ハ前條ノ最低價格又ハ最高價格ヲ維持スル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ最低價格ニ依ル賣渡ノ申込又ハ最高價格ニ依ル買入ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス

第四條 政府ハ道府縣ヨリ該地域外ニ又ハ朝鮮若ハ臺灣ヨリ内地ニ移出スル米穀ノ數量ヲ月別平均的ナラシムル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ出廻期ニ於テ米穀ノ買入ヲ爲シ出廻期後ニ於テ米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第四條ノ二 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ災害、事變其ノ他避クベカラザル事由アル場合ニ於テ米穀ノ配給上特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ市價ニ惡影響ヲ及ボサザル場合ニ限リ所有米穀ノ總數量ヨリ最高價格ヲ維持スル爲必要ナル數量ヲ控除シタル數量ノ範圍内ニ於テ道府縣ニ對シ米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第五條 政府ハ必要ニ應ジ所有米穀ノ貯藏、買換、交換、加工及整理ノ爲ニスル賣渡竝ニ輸入ヲ目的トスル米穀ノ買入及輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第六條 政府ハ米穀ノ買換ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ買換ニ代ヘ買換ノ爲賣渡ヲ爲サントスル米穀ヲ道府縣ニ對シ貸付スルコトヲ得

第七條 米穀ノ輸入又ハ輸出ハ勅令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條 政府ハ米穀ノ統制ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ指定シ粟、高粱、黍、小麥又ハ小麥粉ノ輸入ヲ制限スルコトヲ得

第九條 政府ハ米穀ノ統制ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱、黍、小麥又ハ小麥粉ノ輸入税ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得

第十條 米穀生産費、家計費竝ニ米穀其ノ他ノ穀物ノ生産高、現在高、移動及價格ノ調査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 政府ハ前條ニ規定スル事項其ノ他米穀ノ統制ニ關シ必要ナル事項ヲ調査スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀其ノ他ノ穀物ノ生産者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其ノ營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スル證票ヲ携帯スベシ

第十二條 第七條ノ規定ニ違反シテ米穀ヲ輸入若ハ輸出シ又ハ第八條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ粟、高粱、黍、小麥若ハ小麥粉ヲ輸入シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ米穀、粟、高粱、黍、小麥又ハ小麥粉ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス營業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ前項ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第七條ノ規定又ハ第八條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ法人ノ代表者其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ第七條ノ規定又ハ第八條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

第十三條 第十一條第一項ノ規定ニ依ル勅令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨ゲタル

者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則 (昭和八年法律第二十四號附則)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和八年勅令第二百七十八號ヲ以テ昭和八年十一月一日ヨリ施行)
米穀法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前米穀法第三條ノ規定ニ依リ爲シタル許可ハ本法第七條ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附則 (昭和十一年法律第二十三號附則)

本法施行前ニ米穀法ノ罰則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和十一年勅令第三百二十六號ヲ以テ昭和十一年九月二十日ヨリ施行)
第四條ノ二ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則 (昭和十六年三月六日法律第三十七號)

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
米穀統制法第二條第一項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ之ヲ公定スルコトヲ要セズ

米穀統制法第三條ニ依ル米穀ノ買入代價ニ對シ金利

加算ニ關スル件 (昭和八年十二月二十七日勅令第三百二十三號)

米穀統制法第三條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入ヲ爲スニ當リ其ノ代價ヲ證券ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ同法第二條ノ規定ニ依ル最低價格(米穀統制法施行令第八條ノ規定ニ依リ代金ヲ定メタルトキハ其ノ代金)ニ證券ノ發行ノ日ヨリ償還ノ日迄ノ金利ニ相當スル金額ヲ加算シタルモノヲ以テ米穀ノ買入代價ト爲スコトヲ得

附則

前項ノ金利ハ米穀需給調節特別會計法第四條ノ規定ニ依リ該證券ニ付政府ノ定ムル割引歩合トス

米穀其ノ他ノ輸入税增加免除ノ件

(昭和八年十月二十三日勅令第二百八十三號)

昭和十一年	十二月二十八日	勅令第四百六十九號
昭和十二年	三月三十一日	勅令第四百二十二號
昭和十三年	十二月二十二日	勅令第四百十七號
昭和十四年	十二月二十二日	勅令第四百十七號
昭和十五年	九月四日	勅令第六百三十三號
昭和十六年	十月十六日	勅令第九百二十七號

米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ粟及高粱ノ輸入税ハ昭和十七年十月三十一日迄之ヲ免除ス

附則 (昭和八年勅令第二百八十三號)

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年勅令第二百六號及昭和八年勅令第九十八號ハ之ヲ廢止ス

附則

昭和十一年勅令第四百六十九號、昭和十二年勅令第四百七十二號、昭和十三年勅令第七百八十一號、昭和十四年勅令第六百三十三號、昭和十五年勅令第七百十三號、昭和十六年勅令第九百二十七號

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

(昭和八年十月二十三日勅令第二百七十九號)

米穀統制法第七條乃至第九條及第十二條並ニ附則第三項及第四項ノ規定ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附則

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀統制法施行令

(昭和八年十月二十三日勅令第二百八十號) 沿革(昭和十年十一月二十七日勅令第三百八號改正)

(昭和十一年九月十六日勅令第三百二十七號改正) (昭和十五年二月二十二日勅令第六十三號改正)

第一條 米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ハ毎年十二月東京市及大阪市ニ於ケル價格ニ付之ヲ公定ス

前項ノ最低價格及最高價格ハ當該年産ノ内地米ニシテ農林大臣ノ告示スル銘柄及等級ノモノニ付之ヲ定ム

第二條 最低價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最低價格ヲ農林大臣ノ指定スル銘柄及等級ノ米穀ノ最低價格ノ總平均タラシムル計算ノ下ニ命令ノ定ムル所ニ依リ格差ニ從ヒ各銘柄及等級ノ米穀毎ニ之ヲ定ム

前項ノ標準最低價格ハ當該年産米穀ノ生産費ニ運賃諸掛ヲ加ヘタル額ト米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ニ基キ農林大臣ノ定ムル價格トノ範圍内ニ於テ之ヲ定ム

前項ノ農林大臣ノ定ムル價格ハ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ノ下値一割ニ相當スル價格ト下値二割ニ相當スル價格トノ範圍内ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

一月ヨリ三月迄ノ間ニ於テハ前年十二月定メタル第一項ノ最低價格ニ農林大臣ノ定ムル金利及保管料ニ相當スル金額ヲ毎月加算シタルモノヲ以テ最低價格トス

四月ヨリ十月迄ノ間ニ於テハ三月ニ於ケル最低價格ヲ以テ最低價格トス

第四項ノ金利ハ米穀證券ノ割引歩合ヲ、同項ノ保管料ハ農業倉庫ノ保管料ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第三條 最高價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最高價格ト前條第一項ノ標準最低價格トノ差額ヲ前條第一項ノ規定ニ依リ定メタル各銘柄及等級ノ米穀ノ最低價格ニ加ヘ之ヲ定ム

前項ノ標準最高價格ハ當該年ニ調査シタル家計費ヲ基礎トシテ算出シタル價格(家計米價)ト米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ニ基キ農林大臣ノ定ムル價格トノ範圍内ニ於テ之ヲ定ム
前項ノ農林大臣ノ定ムル價格ハ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ノ上値二割ニ相當スル價格ト上値三割ニ相當スル價格トノ範圍内ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四條 米穀統制法第二條ノ米穀生産費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ毎年調査シタル各農家ノ玄米一石當
生産費（例外ト認ムルモノヲ除ク）ヲ平均シテ之ヲ算出ス

前項ノ玄米一石當生産費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ掲グル費用ノ合計額ヨリ副収入ノ金額
ヲ控除シタルモノヲ米穀收量ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

- 一 種粃代
 - 二 肥料代
 - 三 勞賃
 - 四 畜力費
 - 五 諸材料費
 - 六 農舍費
 - 七 農具費
 - 八 租稅其ノ他ノ公課
 - 九 部落協議費又ハ之ニ準ズルモノ（水利費又ハ病蟲害驅除豫防費タルモノ）
 - 十 土地資本利子
 - 十一 小作料
 - 十二 米穀検査手数料
- 前項各號ニ掲グル事項、副収入及米穀收量ノ調査方法ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 第二條第二項ノ運賃諸掛ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グル費用ノ合計額ヲ平均シ之ヲ算出
ス

- 一 農林大臣ノ指定スル地方主要米穀集散地ニ於テ要スル小運送費及積込賃
 - 二 前號ノ地方主要米穀集散地ヨリ第一條ノ地迄ノ鐵道又ハ船舶ノ運賃
 - 三 第一條ノ地ニ於テ要スル積卸賃及小運送費
- 第六條 第三條第二項ノ家計米價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ白米一石當價格ヲ玄米一石當價格ニ換算シ
テ之ヲ定ム

前項ノ白米一石當價格ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ毎年調査シタル各世帯ノ家計費（例外ト認ムルモノ
ヲ除ク）ニ依リ算定スル平均家計費中ノ米代ト平均家計費中ノ副食物費、嗜好品費、交際費、修養
娛樂費、旅行費及貯金額ノ合計額ニ別ニ告示スル割合ヲ乗ジタル額トノ合計額ヲ平均一世帯當白米
消費量ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

第七條 米穀統制法第二條第四項ノ規定ニ依ル最低價格又ハ最高價格ノ改定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ
第二條又ハ第三條ノ規定ニ準ジテ之ヲ行フ

米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ又ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テ最低價格又ハ最高價格ヲ改定ス
ルハ九月一日以後ニ限ル

第八條 米穀統制法第三條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テ東京市及大阪市以外ノ
地ヲ其ノ受渡地ニ指定シタルトキハ其ノ地ヨリ東京市又ハ大阪市ニ至ル迄ノ運賃諸掛ノ範圍内ニ於

テ農林大臣ノ定ムル金額ヲ參酌シテ買入又ハ賣渡ノ代金ヲ定ムルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ政府ハ米穀統制法第三條ノ規定ニ依ル賣渡又ハ買入ノ申込ニ應ゼザルコトヲ得

一 申込數量ガ命令ノ定ムル數量ニ達セザルトキ

二 買占其ノ他不當ノ利得ヲ圖ル目的ヲ以テ申込ヲ爲シタルモノト認メタルトキ

第十條 最高價格ニ依ル買入ノ申込アリタル場合ニ於テ買入ノ申込アリタル銘柄及等級ノ米穀ヲ所有セザルトキハ政府ハ買入申込者ニ於テ申込ノ際反對ノ意思ヲ表示シタル場合ヲ除クノ外他ノ銘柄及等級ノ米穀ヲ賣渡スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第三條ノ規定ニ依ル最高價格ノ定ナキ銘柄及等級ノ米穀ヲ賣渡ス場合ニ於テハ其ノ價格ハ農林大臣之ヲ定メ公示ス

第十一條 米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル内地米ノ買入數量ハ當該米穀年度ニ於ケル年推算移出數量ヲ月平均シタルモノノ四月分ヲ當該米穀年度ニ於ケル十一月ヨリ二月ニ至ル各月推算移出數量ノ合計額ヨリ控除シタル數量ヲ限度トス

前項ノ年推算移出數量ハ命令ヲ以テ定ムル各道府縣別ノ第二回米穀豫想收穫高ニ當該道府縣ノ米穀生産高ニ對スル當該道府縣産米ノ地域外移出數量ノ割合ヲ前五年ニ付平均シタルモノヲ乘ジ算出シタルモノノ合計額トス

第一項ノ各月推算移出數量ハ各月ニ於ケル各道府縣産米ノ地域外移出數量ノ年移出數量ニ對スル割

合ヲ前五年ニ付平均シタルモノヲ當該道府縣ノ年推算移出數量ニ乘ジタルモノノ合計額トス
米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル朝鮮米又ハ臺灣米ノ買入數量ノ限度ハ前三項ノ規定ニ準ジテ算出シタル數量ヲ限度トス

第十二條 米穀統制法第四條ノ規定ニ依リ買入レタル米穀ノ數量ニ相當スル米穀ハ當該米穀年度内ニ於テ賣渡ヲ爲スモノトス但シ農林大臣ノ指定スル銘柄及等級ニ該當スル米穀ヲ農林大臣ノ指定スル市場ニ於ケル平均價格ガ標準最低價格ノ上値五分ニ相當スル價格以下ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ平均價格ハ前項ノ市場ニ於テ毎日取引セラレタルモノノ一石當平均取引價格ノ總和ヲ平均シテ之ヲ定ム

前項ノ一石當平均取引價格ハ各銘柄及等級別ニ其ノ取引總金額ヲ取引總數量ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

第十三條 米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル朝鮮米及臺灣米ノ買入又ハ賣渡ハ朝鮮米ニ在リテハ朝鮮ニ於テ、臺灣米ニ在リテハ臺灣ニ於テ之ヲ行フ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條ノ二 米穀統制法第四條ノ二ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、産業組合、農會等ニ對シ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ讓渡又ハ貸付ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第十四條 米穀ノ買換ヲ行フ場合ニ於ケル賣渡及買入ハ同時期ニ於テ之ヲ行フ但シ八月ヨリ十月迄ノ間ニ於テ賣渡ヲ行ヒ新米ノ出廻期ニ於テ買入ヲ行フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ買入ヲ爲ス場合ニ於テ第十二條第一項但書ノ平均價格ガ標準最高價格ヲ現ニ超エ又ハ超

エントスルノ虞アルトキハ買入ハ其ノ間之ヲ行ハザルモノトス

第十五條 米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル米穀ノ貸付ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、産業組合、農會等ニ對シ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ貸付又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第十六條 米穀統制法第六條ノ規定ニ依リ米穀ノ貸付ヲ受ケタル道府縣ハ貸付ヲ受ケタル米穀ト同一數量ノ米穀ノ貸付ヲ受ケタル日ヨリ一年以内ニ於テ農林大臣ノ指定スル時期ニ返還スルコトヲ要ス前項ノ規定ニ依リ返還スベキ米穀ハ農林大臣ノ指定スル所ニ從ヒ返還スベキ時期ノ屬スル年當該年産又ハ其ノ前年産ノ米穀ニシテ貸付ヲ受ケタル米穀ト同一ノ銘柄及等級ノモノ又ハ之ト同格ノモノタルコトヲ要ス

第十七條 貸付又ハ返還ノ爲ニスル米穀ノ受渡ハ農林大臣ノ指定スル倉庫ニ於テ之ヲ行フ

第十八條 米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ハ内地ニ於テハ農林大臣、朝鮮

ニ於テハ朝鮮總督、臺灣ニ於テハ臺灣總督、樺太ニ於テハ樺太廳長官之ヲ行フ
朝鮮總督、臺灣總督及樺太廳長官ハ豫メ農林大臣ト議シ毎年許可ニ依リ輸入セラルベキ米穀ノ數量ヲ定ム其ノ數量ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル許可ハ之ヲ受クルコトヲ要セズ
一 通商航海條約ニ別段ノ定アルトキ

二 政府ガ米穀統制法ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ委託ヲ受ケ米穀ヲ輸入又ハ

輸出スルトキ

三 船用品又ハ旅客ノ携帶品タル米穀、標本米其ノ他之ニ準ズベキ米穀ヲ輸入又ハ輸出スルトキ

前項第三號ニ規定スル米穀ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 主務大臣ハ米穀生産費、家計費竝ニ米穀其ノ他ノ穀物ノ生産高、現在高、移動及價格ノ調査ノ爲道府縣、市町村及市町村長ニ對シ調査上必要ナル事務ヲ行フベキコトヲ命ジ竝ニ適當ト認ムル者ニ對シ記帳及報告ヲ命ズルコトヲ得

第二十一條 農林大臣ノ指定シタル市場ノ開設者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ市場ニ於テ毎日取引セラルタル米穀ノ相場及數量ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第二十二條 日本銀行ハ卸賣物價ニ關スル調査ノ結果ヲ毎月農林大臣ニ報告スベシ

第二十三條 本令中米穀年度ト稱スルハ前年ノ十一月一日ヨリ其ノ年ノ十月三十一日迄トス

附則 (昭和八年勅令第二百八十號附則)

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀法施行令ハ之ヲ廢止ス

米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ハ昭和八年ニ限リ十一月及十二月ニ之ヲ公定ス
前項ノ最低價格ノ決定ニ付參酌スベキ米穀生産費ハ十一月ニ公定スルモノニ付テハ米穀法施行令第五條ノ規定ニ依リ算出シタル昭和七年産米穀ノ生産費、十二月ニ公定スルモノニ付テハ昭和八年産米穀ノ生産費トス

昭和八年産米穀ノ生産費ニ付本令施行前米穀法施行令ニ依リ調査シタルモノハ本令ニ依リ之ヲ調査シタルモノト看做ス

米穀統制法第二條ノ最高價格ハ當分ノ内第三條ノ規定ニ拘ラズ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ノ上値二割ニ相當スル價格ト上値三割ニ相當スル價格トノ範圍内ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ムルコトヲ得

米穀ノ輸入又ハ輸出ハ當分ノ内總テ米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

昭和八年勅令第二百七十一號ハ之ヲ廢止ス

附則 (昭和十一年勅令第三百二十七號附則)

本令ハ昭和十一年法律第二十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第四項乃至第六項ノ改正規定ハ昭和十一年十二月ニ定ムル最低價格ヨリ之ヲ適用ス

附則 (昭和十五年勅令第六十三號附則)

本令ハ昭和十五年二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

米穀統制法施行規則

(昭和八年十月二十四日) 沿革 (昭和十二年一月十九日) 農林省令第二十號
(昭和十二年六月二十九日) 農林省令第二十四號改正 (昭和十五年十月二十八日) 農林省令第百號改正
(昭和十六年十二月十六日) 農林省令第百二號改正

第一條 米穀生産費ノ調査ハ水稻ニ付之ヲ行フ

第二條 米穀生産費ノ調査ハ各道府縣(沖繩縣ヲ除ク)ニ於ケル左ニ掲グル要件ヲ具備スル自作農又ハ小作農ニシテ毎年地方長官ノ推薦ニ基キ農林大臣ニ於テ選定シタルモノニ付之ヲ行フ

一 主要米産地ニ於テ其ノ地方ニ普及セル品種ノ水稻作ヲ主業トスルコト

二 段當收量中位ナルコト

三 經營ノ規模中位ナルコト

四 中庸ナル生産費ヲ得ルニ不適當ナル事情ナキコト

第三條 米穀統制法施行令第四條第二項第一號ノ種粃代ハ選種當時ニ於ケル種粃原料ノ農家ノ庭先相場ニ依リ之ヲ算定ス但シ購入シタル種粃原料ニ付テハ其ノ購入代金其ノ他購入ニ要シタル費用ニ依ル

第四條 米穀統制法施行令第四條第二項第二號ノ肥料代ハ購入シタル肥料ニ付テハ其ノ購入代金其ノ他購入ニ要シタル費用ニ依リ、購入セザル肥料ニ付テハ市價アルモノハ施肥當時ニ於ケル市價ニ依リ、市價ナキモノハ別ニ定ムル肥料成分ノ價格ニ依リ之ヲ算定ス

第五條 米穀統制法施行令第四條第二項第三號ノ勞賃ハ日雇勞働及季節雇勞働ニ付テハ賃銀及實物給與ノ評價額ノ合計金額ニ依リ、自家勞働及之ニ準ズル勞働並ニ年雇勞働ニ付テハ作業當時ニ於ケル當該地方ノ通常ノ日雇勞賃ニ依リ之ヲ算定ス

第六條 米穀統制法施行令第四條第二項第四號ノ畜力費ハ使役當時ニ於ケル當該地方ノ同種類ノ家畜ノ通常ノ賃借料ニ依リ之ヲ算定ス但シ賃借シタル家畜ニ付テハ其ノ賃借料(實物給與ノ評價額ヲ含

ム)ニ依ル

第七條 米穀統制法施行令第四條第二項第五號ノ諸材料費ハ左ニ掲グル材料ニ付購入シタルモノニ在リテハ其ノ購入代金其ノ他購入ニ要シタル費用ニ依リ、購入セザルモノニ在リテハ市價アルモノハ市價ニ依リ、市價ナキモノハ其ノ評價額(原料費、勞賃等ニ依リ評價ス)ニヨリ之ヲ算定ス

一 選種用材料

二 病蟲害驅除豫防用材料

三 器具機械用材料

四 包装用材料

五 前各號ニ準ズル用途ニ使用セラレタル材料

第八條 米穀統制法施行令第四條第二項第六號ノ農舍費ハ農舍(住宅、納屋、作業場、肥料舍、倉庫其ノ他ノ工作物ヲ謂フ以下同ジ)ニ付テハ其ノ減價額及修繕費ノ合計金額ニ米作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依リ、農舍敷地(乾場其ノ他農舍ノ附屬地ヲ含ム以下同ジ)ニ付テハ其ノ地代(類地ノ賃借料ニ依リ評價ス)ニ米作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依リ之ヲ算定ス但シ賃借シタル農舍又ハ農舍敷地ニ付テハ其ノ賃借料ニ米作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依ル

前項ノ減價額ハ各農舍ニ付當該年ニ於テ行ヒタル評價額ヲ維持見込年數ヲ以テ除シタルモノトシ前項ノ修繕費ハ通常ノ年當修繕費トス

第一項ノ米作負擔割合ハ各農舍又ハ農舍敷地ガ米ノ生産ニ供セラレタル割合ニ依リ之ヲ定ム

第九條 米穀統制法施行令第四條第二項第七號ノ農具費ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ算定ス

一 農林大臣ノ指定スル農具(甲農具)ニ付テハ其ノ減價額及修繕費ノ合計金額ニ米作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依ル但シ賃借シタルモノニ付テハ其ノ賃借料ニ米作負擔割合ヲ乗ジタルモノトス

二 前號以外ノ農具(乙農具)ニ付テハ當該年ニ於テ新調シタルモノニ在リテハ其ノ新調ニ要スル費用及當該年ニ於ケル修繕費ノ合計金額ニ米作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依リ、當該年前ニ於テ新調シタルモノニ在リテハ當該年ニ於ケル修繕費ニ米作負擔割合ヲ乗ジタルモノニ依ル

前項第一號ノ減價額ハ當該年ニ於テ新調シタル農具ニ在リテハ其ノ新調ニ要スル費用ヲ其ノ農具ノ維持見込年數ヲ以テ、當該年前ニ於テ新調シタルモノニ在リテハ當該年ニ於テ其ノ新調ニ要スル費用見込金額ヲ新調農具ノ維持見込年數ヲ以テ除シタルモノトシ同項同號ノ修繕費ハ通常ノ年當修繕費トス

第一項ノ米作負擔割合ハ各農具ノ米ノ生産ニ供セラレタル割合ニ依リ之ヲ定ム

第十條 米穀統制法施行令第四條第二項第八號ノ租稅其ノ他ノ公課ハ當該年ニ於テ徵收セララルル左ニ掲グル租稅其ノ他ノ公課ノ金額ニ米作負擔割合ヲ乗ジテ之ヲ算定ス

一 田租及其ノ附加稅

二 段別稅及其ノ附加稅

三 水利稅並ニ水利地益稅

四 家屋稅及其ノ附加稅

- 五 自轉車稅並ニ荷車稅
- 六 共同施設稅
- 七 市町村民稅
- 八 水利組合費
- 九 農會費

前項ノ米作負擔割合ハ前項第一號及第二號ノ租稅並ニ第九號ノ農會費中地租割又ハ段別割ニ依リ賦課セラルルモノニ在リテハ米作粗收入ノ米作及裏作粗收入ニ對スル割合ニ依リ、同項第三號乃至第六號ノ租稅及第八號ノ水利組合費ニ在リテハ田地其ノ他ノ課稅物件（水利組合費ニ在リテハ組合費賦課ノ標準ト爲リタル物件）ガ米ノ生産ニ供セラレタル割合ニ依リ、同項第七號ノ市町村民稅ニ在リテハ米作粗收入ノ總粗收入ニ對スル割合ニ依リ、同項第九號ノ農會費中會員割ニ依リ賦課セラルルモノニ在リテハ米作粗收入ノ農業經營ニ基ク粗收入ニ對スル割合ニ依リ之ヲ定ム

第十一條 米穀統制法施行令第四條第二項第九號ノ部落協議費又ハ之ニ準ズルモノハ部落協議費又ハ農事實行組合、農家小組合其ノ他ノ組合ノ組合費トシテ賦課セラルル米作ノ爲ノ水利費又ハ病蟲害驅除豫防費タル金額トス

第十二條 米穀統制法施行令第四條第二項第十號ノ土地資本利子ハ類地ノ通常小作料ノ評價額ニ米作負擔割合ヲ乘ジタルモノヨリ第十條ノ規定ニ依リ算定セラルル租稅其ノ他ノ公課（同條第一項第四號乃至第七號ノ租稅並ニ第九號ノ農會費中會員割ニ依リ賦課セラルルモノヲ除ク）ノ金額ヲ控除シ

テ之ヲ算定ス

前項ノ米作負擔割合ハ米作粗收入ノ米作及裏作粗收入ニ對スル割合ニ依リ之ヲ定ム

第一項ノ通常小作料ノ評價ハ當該地方ニ於ケル米穀ノ收穫終了當時ノ農家ノ庭先相場ニ依リ之ヲ行フ

第十三條 米穀統制法施行令第四條第二項第十一號ノ小作料ハ實納小作料ノ評價額（納入費用ヲ含ム）ヨリ獎勵金額又ハ獎勵米ノ評價額ヲ控除シタルモノニ米作負擔割合ヲ乘ジテ之ヲ算定ス

前項ノ實納小作料及獎勵米ノ評價ハ收穫終了當時ノ農家ノ庭先相場ニ依リ之ヲ行フ

第十四條 米穀統制法施行令第四條第二項第十二號ノ米穀検査手數料ハ調査農家ノ生産シタル米穀ニ付道府縣ノ行フ生産及移出ニ關スル検査ヲ受クル場合ニ於テ徵收セラルル一石當検査手數料ニ米穀收量ヲ乘ジテ之ヲ算定ス

第十五條 米穀統制法施行令第四條第二項ノ副收入ハ收穫終了當時ノ農家ノ庭先相場ニ依リ之ヲ算定ス

第十六條 米穀統制法施行令第四條第二項ノ米穀收量ハ包裝シタル玄米ノ容量ニ依リ之ヲ算定ス

第十七條 第二條ノ規定ニ依リ選定セラレタル者ハ別ニ配布スル帳簿又ハ用紙ニ依リ米穀統制法施行令第四條第二項各號ニ掲グル事項並ニ副收入及米穀收量ニ關シ記帳ヲ爲シ地方長官ヲ經由シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第十八條 第二條ノ規定ニ依リ選定セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ地方長官ノ報告ニ基キ前條ノ規定ニ依ル記帳ノ中止ヲ命ズルコトヲ得

- 一 自作農又ハ小作農トシテ選定セラレタル者ガ自作農又ハ小作農タラザルニ至リタルトキ
- 二 經營面積、家族ノ勞働力其ノ他經營ノ規模ニ著シキ變動アリタルトキ
- 三 中庸ナル生産費ヲ得ルニ著シク不適當ナル事情ヲ生ジタルトキ

第十九條 米穀統制法施行令第一條第二項ノ當該年産ノ内地米トハ翌年十一月一日以後最低價格及最高價格ノ公定ニ至ル迄ハ次年産ノ内地米トス

第二十條 米穀統制法施行令第二條第二項及第三條第二項ノ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出スル價格(物價參酌値)ハ明治三十三年十一月一日以後各米穀年度ニ於ケル米價指數ノ物價指數ニ對スル割合(米價率)ヨリ附録ニ定ムル算式ニ依リ算出シタル當該米穀年度ノ米價率ノ趨勢値ヲ當該米穀年度ノ十一月ノ物價指數ニ乗ジタルモノヲ十一月八十一錢ニ乗ジテ之ヲ算出ス但シ米穀統制法施行令第七條ノ規定ニ依リ最低價格又ハ最高價格ヲ改定スル場合ニ於テ參酌スベキ物價參酌値ニ付テハ米價率ノ趨勢値ヲ乘ズベキ物價指數ハ改定ノ月ノ前月ノ物價指數トス

米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞アル場合ニ於ケル最低價格又ハ最高價格ノ改定ニ在リテハ米價率ノ趨勢値ヲ乘ズベキ物價指數ハ前項但書ノ規定ニ拘ラズ改定前ノ最低價格又ハ最高價格ノ決定ニ付米價率ノ趨勢値ヲ乘ジタル物價指數ト爲スコトヲ得

第一項ノ米價指數及物價指數ハ日本銀行ノ行ヒタル卸賣物價ニ關スル調査ニ依リ之ヲ算定ス

第二十一條 物價ノ變動著シキ場合ニ於テ米穀統制法施行令第七條第一項ノ規定ニ依リ最低價格又ハ最高價格ヲ改定スルハ物價指數ガ最低價格又ハ最高價格ノ決定ニ付米價率ノ趨勢値ヲ乘ジタル物價指數ニ比シ五分以上變動シタルトキニ限ル

第二十二條 米穀統制法施行令第二條第一項ノ最低價格ハ同條第二項ノ規定ニ依リ定メタル標準最低價格ヲ農林大臣ノ指定スル銘柄及等級ノ米穀ノ最低價格ヲ總平均シタルモノニ該當スルモノトシ指定銘柄等級中標準ト爲スベキ米穀ニ對スル他ノ指定銘柄等級ノ米穀ノ格差ニ依リ指定銘柄等級中標準ト爲スベキ米穀ノ最低價格ヲ算出シ之ニ對スル格差ニ依リ各銘柄及等級ノ米穀毎ニ之ヲ定ム

第二十三條 米穀統制法施行令第六條第一項ノ規定ニ依リ白米一石當價格ヲ玄米一石當價格ニ換算スル場合ニ於テハ其ノ換算ハ家計調査施行規則第一條ノ家計費ノ調査期間内ニ於ケル玄米價格ノ白米價格ニ對スル割合ヲ白米一石當價格ニ乘ジテ之ヲ行フ

第二十四條 米穀統制法施行令第五條ノ規定ニ依ル運賃諸掛ハ同條各號ニ掲グル費用ノ合計額ヲ道府縣ヨリ移出セラルル米穀ノ數量ニ依リ加重シテ平均シ之ヲ算出ス

第二十五條 米穀統制法第三條ノ賣渡又ハ買入ノ申込ヲ爲サントスル者ハ様式第一號ニ依ル賣渡申込書又ハ様式第二號ニ依ル買入申込書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第二十六條 農林大臣前條ノ申込ヲ受ケ買入又ハ賣渡ヲ決定シタルトキハ受渡ノ場所及期日ヲ定メ申込者ニ之ヲ通知ス

申込者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク請書ヲ提出スベシ

第二十七條 最低價格ニ依ル買入米穀ハ道府縣ノ移出検査又ハ之ニ準ズル検査ニ合格シタル水稻粳米

ニシテ受入検査ニ合格シタルモノナルコトヲ要ス

前項ノ受入検査ニ對シテハ賣渡人ハ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

第二十八條 最低價格ニ依ル賣渡又ハ最高價格ニ依ル買入ノ申込ハ同一銘柄百俵（呎）以上ニシテ同

一ノ等級及粒種ノモノ二十俵（呎）以上タルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條 道府縣米穀ノ貸付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣

ニ提出スベシ

一 貸付ヲ受ケントスル米穀ノ數量

二 貸付米ノ受渡及返還ノ時期

三 米穀ノ貸付ヲ受ケントスル理由

四 道府縣ヨリ米穀ノ貸付又ハ賣渡ヲ受クベキ者ノ名稱及之ニ對スル道府縣ノ貸付又ハ賣渡ノ計畫

五 前號ノ貸付又ハ賣渡ニ關スル規程又ハ條件

六 道府縣ヨリ米穀ノ貸付又ハ賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ米穀ノ處分ニ關スル計畫

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第三十條 農林大臣前條ノ申請ヲ爲シタル道府縣ニ米穀ノ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付米及返還米ノ

種類、數量、受渡期日、受渡場所、受渡方法其ノ他必要ナル事項ヲ定メ道府縣ニ之ヲ通知ス

第三十一條 道府縣前條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル事項ニ異議ナキトキハ遲滞ナク農林大臣ニ請書

ヲ提出スベシ

第三十二條 道府縣米穀ノ貸付ヲ受ケタル後第二十九條第一項第四號又ハ第五號ニ掲グル事項ニ重要

ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第三十三條 道府縣貸付ヲ受ケタル米穀ヲ貸付シ又ハ賣渡シタルトキハ其ノ結果ヲ遲滞ナク農林大臣

ニ報告スベシ

第三十四條 米穀統制法第七條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林

大臣ニ提出スベシ

一 生産地

二 種類別數量

三 用途

四 輸入ノ場合ニ在リテハ積出港及輸入港輸出ノ場合ニ在リテハ輸出港及陸揚港

五 輸入又ハ輸出ノ時期

前項第二號ノ種類別數量ハ銘柄別、年産別、粳又ハ糯ノ別、粳、玄米又ハ白米ノ別及丸粒又ハ碎米ノ別毎ニ重量ヲ記載スベシ

第三十五條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ米穀輸入許可申請書ノ提出時期ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

自家用其ノ他特別ノ事由ニ依リ米穀ヲ輸入セントスル者ハ第一項ノ指定ニ拘ラズ隨時米穀輸入許可

申請書ヲ提出スルコトヲ得

第三十六條 米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ヲ受ケタル者第三十四條第一項各號ニ掲グル事項ヲ變更セン
トスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

第三十七條 米穀統制法施行令第十九條第一項第一號ノ場合ニ於テ米穀ヲ輸入又ハ輸出スル者ハ左ニ
掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ其ノ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ税關ニ提出スベシ

一 輸入ノ場合ニ在リテハ生産地、輸出ノ場合ニ在リテハ陸揚港

二 種類別數量

米穀ヲ輸入スル者ノ提出スル前項ノ書面ニハ生産地又ハ輸出地ノ帝國領事館、帝國領事館ナキトキ
ハ其ノ地ノ官廳公署又ハ商工會議所ノ證明アルコトヲ要ス

米穀ヲ輸出スル者ハ契約書其ノ他ノ書類ニ依リ第一項各號ニ掲グル事項ノ眞實ナルコトヲ證明スベ
シ

第一項第二號ノ種類別數量ハ第三十四條第二項ノ規定ニ準ジ之ヲ記載スベシ

米穀統制法施行令第十九條第一項第二號ノ場合ニ於テ米穀ヲ輸入又ハ輸出スル者ハ其ノ輸入又ハ輸
出ノ手續ヲ爲スベキ税關ニ契約書其ノ他ノ書類ヲ示シ其ノ米穀ガ政府ノ委託ニ依リ輸入又ハ輸出セ
ラルルモノナルコトヲ證明スベシ

第三十八條 米穀統制法施行令第十九條第一項第三號ニ規定スル米穀ノ範圍左ノ如シ

一 外國貿易船ガ沿海通航船トナリ又ハ沿海通航船ガ外國貿易船ト爲リタル場合ニ於テ輸入又ハ輸

出セラルル船用品タル米穀

二 帝國內ニ於テ外國貿易船ニ積込マルル船用品タル米穀

三 標本米又ハ見本米ニシテ郵便物タルモノ

四 旅客ノ携帶品タル米穀ニシテ百斤ヲ超エザルモノ

第三十九條 米麥ノ現在高及移動調査ハ別ニ定ムル要綱ニ基キ之ヲ行フモノトス

前項ノ調査ニ付必要アリト認ムルトキハ農林大臣又ハ地方長官ハ左ニ掲グルモノニ對シ申告ヲ爲サ
シムルコトヲ得

一 倉庫管理者

二 運送營業者又ハ運送取扱營業者

三 米麥配給業者及加工業者並ニ其ノ團體

四 米麥輸移出入業者

五 産業組合及産業組合聯合會

第四十條 米穀管理事務取扱員ハ地方長官ノ指揮ヲ承ケ米穀生産費調査、米麥ノ現在高及移動調査ノ
事務ニ従事ス

第四十六條 地方長官ハ農林大臣ノ命ヲ承ケ道府縣内ノ米穀生産費、米麥現在高及米麥移動ノ調査ノ
執行ヲ指揮監督ス

第五十條 米穀生産費、米麥現在高及米麥移動ノ調査ノ事務ニ従事シタル者ハ其ノ職務執行中知得シ

タル個人ニ關スル事項ヲ故ナク他ニ漏洩スベカラズ

第五十一條 米穀統制法第十一條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏又ハ吏員ニ於テ携帶スベキ證票ハ様式

第八號ニ依ルモノトス

第五十二條 農林大臣ノ指定シタル市場ノ開設者ハ毎日其ノ市場ニ於テ取引セラレタル米穀ニシテ農林大臣ノ指定スル銘柄及等級ニ該當スルモノノ各銘柄及等級別ノ取引總金額及取引總數量ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第五十三條 第五十條ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五十四條 第十七條ノ規定ニ依リ記帳及報告ヲ爲スベキ者故意ニ記帳若ハ報告ヲ爲サズ又ハ不實ノ記帳若ハ報告ヲ爲シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

前項ノ者ヲシテ記帳若ハ報告ヲ爲スコトヲ得ザラシメ又ハ不實ノ記帳若ハ報告ヲ爲サシメタル者ノ罰亦前項ニ同ジ

前二項ノ規定ハ第三十九條第二項ノ規定ニ依リ申告ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 虚偽ノ風説ヲ流布シ又ハ偽計若ハ威力ヲ用ヒテ米穀生産費、米麥現在高及米麥移動ノ調査ヲ妨ゲタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十六條 第五十二條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲スベキ者故意ニ報告ヲ爲サズ又ハ不實ノ記載ヲ爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ者ヲシテ報告ヲ爲スコトヲ得ザラシメ又ハ不實ノ報告ヲ爲サシメタル者ノ罰亦前項ニ同ジ

附則

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀法施行規則ハ之ヲ廢止ス

昭和八年十一月ニ公定スル最低價格又ハ最高價格ノ決定ニ付參酌スベキ物價參酌値ヲ算定スル場合ニ於テハ第二十條ノ規定ニ拘ラズ米價率ノ趨勢値ハ昭和八年度米穀ニ於ケル米價率ノ趨勢値トシ、物價指數ハ昭和八年九月ニ於ケル物價指數トス

本令施行前ニ米穀法施行規則ノ罰則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ本令施行ノ後ト雖モ仍其ノ罰則ヲ適用ス

昭和十一年十二月以降ニ於ケル米價指數及物價指數ハ當分ノ内第二十條第三項ノ規定ニ拘ラズ昭和十一年十一月以前ニ於テ日本銀行ノ行ヒタル卸賣物價ニ關スル調査ノ方法ニ依リ農林大臣ノ行フ調査ニ依リ之ヲ算定ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス (昭和十二年農林省令第二號附則)

附則 (昭和十二年農林省令第二十四號附則)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依ル米穀販賣高調査ハ昭和十二米穀年度ニ限り第三期ノ調査ヨリ之ヲ行フ
本令施行ノ際現ニ米穀移動調査員又ハ米穀移動調査指導員タル者ハ之ヲ米穀移動高調査員又ハ米穀移動高調査指導員ニ囑託セラレタルモノト看做ス

附則

(昭和十五年農林省令第百號附則)

本令ハ昭和十五年產米穀ノ生産費調査ヨリ之ヲ適用ス

附則

(昭和十六年農林省令第百二號附則)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式第三號乃至第七號ノ二ハ之ヲ削除ス

附錄

$$Y = \frac{\sum x^2 \sum y - \sum x \sum (xy)}{n \sum x^2 - (\sum x)^2} + \frac{n \sum (xy) - \sum x \sum y}{n \sum x^2 - (\sum x)^2} X$$

Y ハ物價參酌値ノ算定セラルル年度(年度トハ米穀年度トス以下同ジ)ニ於ケル米價率ノ趨勢値

X ハ明治三十四年度ヲ第一年次トシ物價參酌値ノ算定セラルル年度ノ前年度ニ至ル各年度ノ年次

ヲ表ス數

Y ハ明治三十四年度ヨリ物價參酌値ノ算定セラルル年度ノ前年度ニ至ル各年度ニ於ケル米價率

n ハ明治三十四年度ヨリ物價參酌値ノ算定セラルル年度ノ前年度ニ至ル年度ノ數

X ハ明治三十四年度ヨリ物價參酌値ノ算定セラルル年度ニ至ル年度ノ數

様式

第一號

賣渡申込書

昭和 年 月 日 住所 氏 名 印

農林大臣

殿

米穀統制法第三條ノ賣渡致度候ニ付テハ同法、同法施行令、同法施行規則、昭和 年農林省告示第 號及賣渡心得書ノ條項承知ノ上左記ノ通及申込候也

記

備考	合計	年産銘柄等級數	量(俵)	申込當時ノ現品所在地
				道府 市 區 郡 町 村

注意

- (一) 申込米穀ノ年産、銘柄、等級又ハ現品所在地ヲ異ニスル毎ニ別行ニ記載スルコト
- (二) 受渡地ニ付特ニ希望アルトキハ備考欄ニ之ヲ記載スルコトヲ得

第二號

買入申込書

昭和 年 月 日

住所

氏

名印

農林大臣

殿

米穀統制法第三條ノ買入致度候ニ付テハ同法、同法施行令、同法施行規則、昭和 年農林省告示第 號及買入心得書ノ條項承知ノ上左記ノ通及申込候也

記

年産	銘柄	等級	數量

量 (俵)

備考	合計

注意

- (一) 買入申込者ハ數種ノ銘柄及等級ノ米穀ニ付買入希望ノ順位ヲ附シテ申込ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ備考欄ニ第二順位以下ノ米穀ノ銘柄及等級並ニ順位ヲ記載スルコト
- (二) 買入申込者ニ於テ銘柄及等級ニ該當スル米穀以外ノ米穀ノ買入ヲ希望セザルトキハ其ノ旨備考欄ニ之ヲ記載スルコト
- (三) 申込米穀ノ年産、銘柄又ハ等級ヲ異ニスル毎ニ別行ニ記載スルコト

裏

第十一條 政府ハ前條ニ規定スル事項其ノ他米穀ノ統制ニ關シ必要ナル事項ヲ調査スル爲テ必要アリト認ムルトキハ米穀其ノ他ノ穀物ノ生産者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其ノ營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スル證據ヲ攜帶スベシ

第十三條 第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨ゲタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

表

第八號

第 號 年 月 日交付

米穀統制法第十一條第一項ノ規定ニ依ル證據

農 林 省 印

官 職 氏 名

縦一〇釐 横七釐 厚紙 色白

米穀實收高資料調製要綱

(昭和十六年十二月二十四日 農林省告示第九百三十七號)

第一 本資料ハ當該市町村ニ居住スル米作者ノ生産シタル米穀ニ付水稻、陸稻別並ニ粳米、糯米別ニ區分シテ之ヲ調製スルモノトス(屬人調査)

第二 本資料ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ調製スルモノトス

(一) 調製高

検査高 現在高

未検査高 處分高

(二) 未調製高 (未收穫高ヲ含ム)

第三 本資料ハ毎年左ノ時期ニ於テ之ヲ調製スルモノトス

第一區 北陸ノ縣 十月以降十二月ニ至ル各月一日午前零時現在

第二區 北海道及東北、關東(山梨、長野ヲ含ム)ノ府縣 十一月以降翌年一月ニ至ル各月一日午前零時現在

第三區 東海(岐阜ヲ含ム)、近畿、中國、四國、九州ノ府縣 十二月以降翌年二月ニ至ル各月一日午前零時現在

地方長官必要アリト認ムル場合ハ食糧管理局長官ト協議ノ上前項ノ時期ヲ變更スルコトヲ得ルモノトス

第四 米穀管理事務取扱員ハ當該市町村ニ居住スル米作者個別ニ就キ左ノ方法ニ依リ調査ヲ爲シ適宜

野帳ニ記入シ其ノ結果ヲ様式第一號ノ調査「カード」ニ整理記録スルモノトス

(一) 検査高

米作者個別ノ検査高ヲ整理集計ス
但再度受檢ノモノニ付テハ之ヲ控除ス

(二) 未検査現在高

各月一日現在ニ於ケル未検査米穀ノ現在高ヲ現物ニ付實地調査ヲ行フ

(三) 未検査處分高

未検査ノ儘小作料トシテ納入セル數量、消費セル數量、其ノ他處分（滅失又ハ毀損ヲ含ム）セル數量ニ付米作者ノ家族員數、消費實績等ヲ參考トシテ之ヲ調査ス

(四) 未調製高

稻ノ形態ニ在ルモノヲ實地調査シ當該米作者ノ見込、類地刈取及調製成績、精農者、農業指導者ノ見込、前年實收等ヲ參考トシテ之ヲ調査ス

(五) 前各號ノ數量ハ玄米ヲ以テ計上シ稻、粃、精米ヲ玄米ニ換算スルニ當リテハ夫々現物ニ付適正ナル換算率ニ依ル

第五 當該市町村內ニ所在スル米作地ヨリ生産シタル米穀ニ付左ノ方法ニ依リ之ヲ調査スルモノトス
(屬地調査)

第一ノ屬人調査ノ實收高ヨリ出作地ノ實收高ヲ減ジ入作地ノ實收高ヲ加ヘ算出ス

前項出作地ノ實收高ハ當該米作者個別ニ就キ調査シ、入作地ノ實收高ハ入作地米作者ノ居住スル市町村ニ於ケル主任米穀管理事務取扱員ノ通報ニ依ル

屬地調査ハ屬人調査ノ最終回ニ限り行ヒ、報告様式ハ様式第二號ニ依ルモノトス

第六 本資料ノ調製ニ附隨シ當該市町村內ニ居住スル米作者ノ生産シタル屑米ニ付米穀管理事務取扱員ハ米作者個別ニ就キ左ノ方法ニ依リ之ヲ調査スルモノトス（屬人調査）

(一) 玄米調製濟ノ分ヨリ生産シタル屑米ハ實地ニ付聽取スルト共ニ屑米ノ現在高及消費其他處分シタル數量等ヲ參考トシテ之ヲ調査ス

(二) 粃及未調製ノ分ヨリノ生産高ハ粃及未調製ノ數量ヲ基礎トシ當該米作者ノ見込、類地調製成績竝前年屑米生産高等ヲ參考トシテ之ヲ調査ス

(三) 屑米ハ主トシテ不登熟米ヨリ成リ藁、芒、粃殼等ノ夾雜物ヲ普通程度ニ除去シタルモノニシテ一斗重量三貫六百匁以下ノモノトス

一斗重量三貫六百匁乃至三貫七百匁程度ノ米ニ付テハ現品ニ付精査ノ上適當ノ割合ヲ以テ之ヲ玄米ト屑米トニ分ツ

(四) 本調査ハ屬人調査ノ最終回ニ限り行ヒ、報告様式ハ様式第二號ニ依ルモノトス

第七 主任米穀管理事務取扱員ハ擔當區域內ニ於ケル調査ノ結果ヲ整理集計（屬人調査ノ結果ニ付テハ部落別ニ集計スルコト）シ様式第二號ニ依リ地方長官ノ定ムル期限迄ニ農産物検査支所長ヲ經由ノ上農産物検査所長ニ報告スルモノトス

- 第八 農産物検査所長ハ右報告ヲ整理集計ノ上地方長官ニ提出シ地方長官ハ様式第二號ニ依リ其フ月二十日迄ニ之ヲ農林大臣ニ報告スルモノトス
- 第九 主任米穀管理事務取扱員ハ第五第一項第二號ノ出作地所在市町村ヨリノ實收高ヲ出作地所在各市町村別ニ整理集計シ様式第三號ニ依リ地方長官ノ定ムル期限迄ニ出作地所在市町村擔當主任米穀管理事務取扱員ニ通報スルモノトス
- 第十 主任米穀管理事務取扱員ハ農林省告示第六百十七號農林水産業調査規則ニ依ル米收穫高調査要綱第三實收高調査第四號ニ基キ市町村長ニ對シ左ノ資料ヲ地方長官ノ定ムル期限迄ニ提出スルモノトス

市町村内居住米作者ノ實收高 (屬人調査)

市町村名

單位石

項目	水		陸		計
	粳	糯	粳	糯	
生産検査高					
未生産検査現在高					
未生産検査處分高					
未調査高					
計					

市町村内所在米作地ヨリノ實收高 (屬地調査)

市町村名

單位石

項目	水		陸		計
	粳	糯	粳	糯	
計					

- 第十一 米穀管理事務取扱員ハ調査上ノ資料トシテ米作者個別ニ付品種別作付面積ヲ調査スルモノトス

前項ノ調査ハ農林水産業基本調査要綱ノ夏期調査(八月一日現在)ノ稻作付面積ヲ利用シ米作者居住市町村ノ分ト他市町村所在ノ分トニ區分シ他市町村ノ分ハ各市町村別ニ區分スルモノトス

米穀統制法施行令第二條第一項ニ依ル銘柄及等級指定ノ件

(昭和八年十月二十四日 農林省告示第三百八十五號) 沿革(昭和九年十一月一日農林省告示第四百十號 昭和十二年十二月二十七日農林省告示第四百十七號 改正)

米穀統制法施行令第二條第一項ノ規定ニ依リ銘柄及等級左ノ通指定ス

青森三等、岩手四等、宮城本石四等、秋田本莊四等、秋田地廻四等、秋田仙北四等、山形山居四等、山形村山三等、福島磐城四等、福島岩代四等、福島會津四等、茨城三等、栃木三等、埼玉三等、千葉三等、新潟三等、富山三等、滋賀湖東小粒四等、大阪攝津小粒四等、兵庫播州小粒四等、奈良小粒四等、岡山兩備小粒四等、香川小粒四等、愛媛小粒四等、佐賀四等、熊本城南四等、大分豊後小粒四等

昭和十六年法律第三十七號附則第二項ノ規定ニ依リ

米穀統制法第二條第一項ノ最低價格及最高價格ヲ公

定スルコトヲ要セザル場合ニ關スル件 (昭和十六年九月十八日 勅令八百六十三號)

米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依リ農林大臣最高販賣價格ヲ定メタル場合ニ於テハ米穀統制法第二條第一項ノ最低價格及最高價格ハ之ヲ公定スルコトヲ要セズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀統制法施行令第三條ノ家計米價ノ算定ニ

用フベキ割合ニ關スル件 (昭和十一年農林省告示第四百四十號)

米穀統制法施行令第三條第二項ノ家計米價ノ算定ニ用フベキ同令第六條第二項ノ割合ハ一割以内ニ於テ農林大臣之ヲ定ム

米穀統制法施行令第五條ノ規定ニ依ル地方主要

米穀集散地指定ノ件 (昭和八年十月二十七日 農林省告示第三百九十二號)

米穀統制法施行令第五條ノ規定ニ依リ地方主要米穀集散地左ノ通指定シ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

道府縣名	地方主要米穀集散地名	道府縣名	地方主要米穀集散地名
北海道	旭川市、小樽市、瀧川町	宮城	仙臺市、古川町、岩沼町
青森	青森市、黒石町	秋田	大曲町、本莊町、土崎町
岩手	花巻町、水澤町	山形	酒田市、山形市

京	滋	三	愛	靜	岐	長	山	福	石	富	新	神	千	埼	群	栃	茨	福
都	賀	重	知	岡	阜	野	梨	井	川	山	湯	川	葉	玉	馬	木	城	島
京都市、	大津市、彦根町、八幡町	津市、上野町	名古屋市、豊橋市	静岡市	岐阜市	長野市	韭崎町	三國町	金澤市	魚津町、伏木町	新潟市、長岡市、直江津町	小田原町	佐原町、木更津町	熊谷市、粕壁町	前橋市	氏家町、栃木町	土浦町、下館町	郡山市、中村町、若松市
鹿	宮	大	熊	長	佐	福	高	愛	香	德	山	廣	岡	鳥	鳥	和	奈	兵
兒	崎	分	本	崎	賀	岡	知	媛	川	島	口	島	山	根	取	山	良	庫
鹿兒島市	都城市	大分市、中津市	川尻町	長崎市	福治村、神崎町	門司市、久留米市、宇島町	高知市	三津濱町	高松市、丸龜市	德島市	小郡町、下關市	福山市、甲立町	岡山市、津山市	安來町、今市町	鳥取市、米子市	橋本町	高田町	豊岡町、味間村、姫路市

米穀統制法施行令第八條ノ規定ニ依ル買入又ハ賣渡

ニ於ケル控除金額ノ件

沿革 (昭和八年十一月一日) (昭和三十八年七月三日農林省告示第百八十九號) (改正)
 (昭和三十八年二月二日農林省告示第百八十八號)
 (昭和十四年七月三日農林省告示第百八十九號)

東京市ニ於テ最低價格又ハ最高價格ニ依リ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合

北海道所在指定倉庫	金一圓四十一錢	富山縣所在指定倉庫	金五十一圓二錢
青森縣所在指定倉庫	金七十七錢	長野縣所在指定倉庫	金三十三圓六錢
岩手縣所在指定倉庫	金五十七錢	栃木縣所在指定倉庫	金二十二圓三錢
宮城縣所在指定倉庫	金四十八錢	群馬縣所在指定倉庫	金二十四圓四錢
福島縣所在指定倉庫	金四十一錢	茨城縣所在指定倉庫	金十九圓九錢
秋田縣所在指定倉庫	金六十三錢	千葉縣所在指定倉庫	金十八圓八錢
山形縣所在指定倉庫	金五十二錢	埼玉縣所在指定倉庫	金十五圓五錢
新潟縣所在指定倉庫	金四十二錢	山梨縣所在指定倉庫	金二十二圓八錢

大阪市ニ於テ最低價格又ハ最高價格ニ依リ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合

受渡地	金額	受渡地	金額
静岡縣所在指定倉庫	金四十七錢	廣島縣所在指定倉庫	金四十二錢
石川縣所在指定倉庫	金四十二錢	山口縣所在指定倉庫	金五十七錢
福井縣所在指定倉庫	金三十六錢	德島縣所在指定倉庫	金十五錢
岐阜縣所在指定倉庫	金三十錢	香川縣所在指定倉庫	金二十錢
愛知縣所在指定倉庫	金三十三錢	愛媛縣所在指定倉庫	金二十八錢
三重縣所在指定倉庫	金二十三錢	高知縣所在指定倉庫	金十八錢
滋賀縣所在指定倉庫	金二十五錢	福岡縣所在指定倉庫	金十七錢
京都府所在指定倉庫	金二十二錢	佐賀縣所在指定倉庫	金十五錢
兵庫縣所在指定倉庫	金十錢	長崎縣所在指定倉庫	金十三錢
奈良縣所在指定倉庫	金十一錢	熊本縣所在指定倉庫	金六十八錢
和歌山縣所在指定倉庫	金十八錢	大分縣所在指定倉庫	金五十五錢
鳥取縣所在指定倉庫	金四十二錢	宮崎縣所在指定倉庫	金六十九錢
島根縣所在指定倉庫	金四十九錢	鹿兒島縣所在指定倉庫	金七十八錢
岡山縣所在指定倉庫	金三十一錢		

米穀配給統制法

(昭和十四年四月十一日法律第八十一號)

- 第一條 米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業務ヲ行ハントスル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ但シ勅令ヲ以テ定ムル者ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二條 前條ノ許可ヲ受ケタル者命令ノ定ムル所ニ依リ正當ノ事由ナクシテ業務ヲ開始セザルトキ又ハ其ノ業務ヲ休止シタルトキハ政府ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得
- 第三條 政府第一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行爲ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ業務ヲ制限シ若ハ停止スルコトヲ得
- 第四條 政府ハ特ニ必要アル場合米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ配給統制ニ關スル命令ヲ爲スコトヲ得
- 政府必要ト認ムルトキハ何時ニテモ第一條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ命ジ又ハ其ノ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得
- 第五條 米穀市場ハ日本米穀株式會社ニ限リ之ヲ開設スルコトヲ得
- 日本米穀株式會社米穀市場ヲ開設セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市場毎ニ政府ノ認可ヲ受クベシ

何人ト雖モ米穀市場ニ類似ノ施設ヲ爲シ又ハ其ノ施設ニ依リ取引ヲ爲スコトヲ得ズ

第六條 米穀市場ノ賣買取引ハ差金ノ授受ニ依リ其ノ決済ヲ爲スコトヲ得ズ但シ履行期ニ於ケル決済ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

日本米穀株式會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀市場ノ賣買取引ニ付證據金ヲ納メシメ又ハ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

米穀市場ノ賣買取引ノ方法其ノ他賣買取引ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 米穀市場ノ賣買取引ノ價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ニ準據シテ定ムル價格ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ズ

第八條 米穀市場ノ賣買取引ハ其ノ市場ノ市場員ニ限り之ヲ爲スコトヲ得但シ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

市場員タラントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ免許ヲ受クベシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條第二項ノ免許ヲ受クルコトヲ得ズ但シ勅令ヲ以テ定ムル者ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル法人ニ非ザル者
- 二 破産者ニシテ復權ヲ得ザルモノ
- 三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後三年ヲ經過スルニ至ル迄ノ者

四 米穀市場ノ市場員ニシテ除名セラレ除名ノ日ヨリ三年ヲ經過セザルモノ

五 第二十條ノ規定ニ依リ免許ヲ取消サレ取消ノ日ヨリ三年ヲ經過セザル者

六 營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者又ハ禁治産者ニシテ其ノ法定代理人ガ前各號ノ一ニ該當スルモノ

七 法人ニシテ其ノ業務ヲ執行スル役員中第一號乃至第五號ノ一ニ該當スル者アルモノ

第十條 米穀市場ノ市場員前條第一號乃至第四號、第六號若ハ第七號ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ日本米穀株式會社ノ役員ト爲リタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

政府ハ不正ノ手段ニ依リ第八條第二項ノ免許ヲ受ケタル者アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第十一條 本法ニ規定スルモノノ外市場員ノ資格其ノ他市場員ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 市場員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本米穀株式會社ニ身元保證金ヲ納付スベシ

第十三條 日本米穀株式會社ハ米穀市場ノ秩序ヲ保持スル爲定款ノ定ムル所ニ依リ市場員ノ業務ヲ停止シ、千圓以内ノ過怠金ヲ課シ又ハ政府ノ認可ヲ受ケ市場員ヲ除名スルコトヲ得

第十四條 市場員ハ業務ヲ廢止シタル後ト雖モ米穀市場ノ賣買取引ノ結了及監督ノ目的ノ範圍内ニ於テハ取引結了後二週間ヲ經過スル迄仍業務ヲ廢止セザルモノト看做ス

市場員死亡シ若ハ解散シ又ハ其ノ免許ガ取消サレ若ハ效力ヲ失ヒタル場合ニ於テハ米穀市場ノ賣買

取引ノ結了ニ至ル迄亦前項ニ同ジ

前二項ノ場合ニ於テ市場員ノ行爲ヲ爲ス者ナキトキハ日本米穀株式會社ハ定款ノ定ムル所ニ依リ他人ヲシテ其ノ行爲ヲ爲サシムルコトヲ得

第十五條 市場員ハ其ノ米穀市場ニ依ラズシテ米穀ノ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ズ但シ勅令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於ケル米穀ノ賣買取引ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 市場員ハ委託ヲ受ケタル米穀市場ノ賣買取引ニ付米穀市場ニ於テ其ノ賣付、買付又ハ受渡ヲ爲サズシテ之ヲ爲シタルト同一又ハ類似ノ計算ヲ以テ委託者ニ對シ其ノ決濟ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ違反シタル市場員ハ日本米穀株式會社定款ノ定ムル所ニ依リ之ニ二週間以上業務停止ヲ命ジ又ハ之ヲ除名スベシ

第十七條 日本米穀株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ米穀市場ノ賣買取引ノ違約ヨリ生ズル損害ニ付賠償ノ責ニ任ズルコトヲ得

日本米穀株式會社前項ノ規定ニ依リ損害ヲ賠償シタルトキハ違約者ニ對シ其ノ賠償シタル金額及之ニ要シタル費用ニ付求償權ヲ有ス

第十八條 日本米穀株式會社ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

市場員ニ對シ米穀市場ノ賣買取引ノ委託ヲ爲シタル者ハ委託契約ニ基キテ生ズル債權ニ關シ其ノ市場員ノ身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第一項ノ優先權ハ前項ノ優先權ニ對シ優先ノ效力ヲ有ス

第十九條 政府ハ市場員ニ對シ米穀市場ノ賣買取引ニ關シ米穀ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

政府必要ト認ムルトキハ何時ニテモ市場員ニ對シ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ命ジ又ハ市場員ノ帳簿物件ヲ検査スルコトヲ得

第二十條 政府市場員ノ行爲ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ業務ヲ制限シ若ハ停止スルコトヲ得

第二十一條 日本米穀株式會社ハ米穀ノ配給ノ統制ヲ圖ル爲必要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

第二十二條 日本米穀株式會社ノ資本ハ三千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第二十三條 日本米穀株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得

第二十四條 政府ハ千五百萬圓ヲ限り日本米穀株式會社ニ出資スベシ

前項ノ規定ニ依ル出資拂込金ハ米穀需給調節特別會計ノ歲出トシ該出資ニ因リ政府ノ取得シタル株式ハ同特別會計ノ所屬物件トス

政府所有ノ株式ノ株金拂込ハ其ノ他ノ株式ノ株金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得

第二十五條 日本米穀株式會社ニ非ザルモノハ日本米穀株式會社又ハ之ニ類似ノ名稱ヲ以テ其ノ商號ト爲スコトヲ得ズ

第二十六條 日本米穀株式會社ニ役員トシテ理事長副理事長各一人、理事五人以上及監事三人以上ヲ置ク

理事長ハ日本米穀株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副理事長ハ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ日本米穀株式會社ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス

監事ハ日本米穀株式會社ノ業務ヲ監査ス

第二十七條 理事長及副理事長ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ政府ノ認可ヲ受クルモノトシ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス

日本米穀株式會社ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五箇年間日本米穀株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認めタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十八條 理事長、副理事長及業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條 日本米穀株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一 米穀市場ノ開設

二 政府ノ委託ニ依ル米穀ノ買入又ハ賣渡

三 前二號ノ事業ニ附帶スル事業

四 其ノ他本會社ノ目的達成上必要ナル事業

日本米穀株式會社前項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ營マントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

日本米穀株式會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シ又ハ休止スルコトヲ得ズ

第三十條 日本米穀株式會社ノ役員又ハ使用人ハ勅令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ米穀市場ノ賣買取引ヲ爲シ又ハ其ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ

日本米穀株式會社ノ役員又ハ使用人ハ市場員トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他市場員ノ業務ニ付特別ノ利害關係ヲ有スルコトヲ得ズ

第三十一條 政府ハ日本米穀株式會社ノ業務ヲ監督ス

第三十二條 定款ノ變更、利益金ノ處分、社債ノ募集、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十三條 政府ハ日本米穀株式會社監理官ヲ置キ日本米穀株式會社ノ業務ヲ監視セシム

日本米穀株式會社監理官ハ何時ニテモ日本米穀株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ検査スル

コトヲ得

日本米穀株式會社監理官必要ト認ムルトキハ何時ニテモ日本米穀株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

日本米穀株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十四條 日本米穀株式會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ

日本米穀株式會社ノ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ六ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ年百分ノ六ノ割合ヲ超エ利益配當ヲ爲サントスルトキハ其ノ超過スル利益金額ハ利益配當ガ總株式ニ付拂込ミタル株金額ニ對シ均一ノ割合ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額及政府ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ一ト四トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第三十五條 政府ハ日本米穀株式會社ニ對シ米穀ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

政府ハ日本米穀株式會社ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 政府ハ日本米穀株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ノ取消、役員ノ解任又ハ事業ノ停

止若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第三十七條 米穀市場ニ類似ノ施設ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 米穀市場ニ類似ノ施設ニ依リ取引ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第三十條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シ市場員トノ間ニ特別ノ利害關係ヲ生ズルコトヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 第一條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業務ヲ行ヒタル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條ノ規定ニ依ル制限又ハ停止ノ處分ニ違反シタル者

二 第四條第一項又ハ第十九條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第四十二條 第四條第二項又ハ第十九條第二項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 日本米穀株式會社ノ役員又ハ使用人米穀市場ノ賣買取引又ハ政府ノ委託ニ依ル米穀ノ買入若ハ賣渡ニ關スル職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求シ若ハ約束シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第四十四條 前條第一項ニ掲グル者ニ賄賂ヲ交付シ又ハ之ヲ提供シ若ハ約束シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕シ又ハ免除スルコトヲ得

第四十五條 米穀市場ニ於ケル相場ノ變動ヲ圖ル目的ヲ以テ虛偽ノ風説ヲ流布シ、偽計ヲ用ヒ又ハ暴行若ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 米穀市場ニ於ケル相場ヲ偽リテ公示シタル者

二 公示若ハ頒布ノ目的ヲ以テ虛偽ノ相場ヲ記載シタル文書ヲ作成シ又ハ之ヲ頒布シタル者

第四十七條 米穀市場ニ依ラズシテ米穀市場ノ相場ニ依リ差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第百八十六條ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第四十八條 米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業務ヲ行フ者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第四十條又ハ第四十一條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ズ

第四十九條 第四十條及第四十一條ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關

シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十條 日本米穀株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ理事長又ハ理事長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副理事長ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス副理事長又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副理事長又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 第二十九條第一項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ

三 第三十五條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

日本米穀株式會社ノ理事長、副理事長又ハ理事第二十八條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第五十一條 第二十五條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第五十二條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

第五十三條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十四條 政府ハ設立委員ヲ命ジ日本米穀株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

設立委員ハ定款ヲ作成シ政府ノ認可ヲ受ケタル後株式總數ヨリ政府ニ割當ツベキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ株主ヲ募集スベシ

株式申込證ニハ定款認可ノ年月日並ニ商法第百二十六條第二項第二號、第四號及第五號ニ規定スル

事項ヲ記載スベシ

設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ提出シ其ノ検査ヲ受クベシ
設立委員ハ前項ノ検査ヲ受ケタル後遲滞ナク各株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク創立總會ヲ招集スベシ

創立總會ニ於テハ第二十七條ノ規定ニ準ジ理事及監事ノ選任ヲ行フベシ

創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本米穀株式會社理事長ニ引渡スベシ

第五十五條 取引所法ハ米穀ニ關シテハ之ヲ適用セズ

前項ノ規定施行前米穀ノ賣買取引ヲ爲ス取引所ニ於テ爲シタル米穀ノ賣買取引ニ付テハ仍從前ノ例ニ依リ其ノ取引ヲ結了スルコトヲ得

第一項ノ規定施行前米穀ニ關スル行爲ニシテ取引所法ノ罰則ヲ適用スベカリシモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十六條 日本米穀株式會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ米穀ヲ賣買取引スル取引所又ハ正米市場開設者ガ本法公布ノ際現ニ所有スル土地、建物其ノ他ノ設備ヲ其ノ申込ニ應ジ買取ルモノトス

日本米穀株式會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ本法公布ノ際現ニ存スル米穀ヲ賣買取引スル取引所ノ使用人及取引員ニシテ前條ノ規定施行ノ日迄引續キ其ノ業務ニ從事スルモノニ關シ必要ナル措置ヲ爲スモノトス

政府前二項ノ認可ヲ爲サントスルトキハ米穀取引事業審議委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス
米穀取引事業審議委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十七條 日本米穀株式會社前條第一項ニ規定スル買取ニ基ク不動産ニ關スル權利ノ取得ニ付登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登録稅ノ額ハ不動産ノ價格ノ千分ノ三トス但シ登録稅法ニ依リ算出シタル登録稅ノ額ガ本法ニ依リ算出シタル稅額ヨリ少キトキハ其ノ稅額ニ依ル

北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ日本米穀株式會社ニ對シ前條第一項ニ規定スル買取ニ基ク不動産ニ關スル權利ノ取得ニ關シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第五十八條 第二十五條ノ規定施行ノ際現ニ日本米穀株式會社又ハ之ニ類似ノ名稱ヲ以テ商號ト爲ス會社ハ同條ノ規定施行後六月以内ニ其ノ商號ヲ變更スルコトヲ要ス

第五十一條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ掲グル者ニ適用セズ

第五十九條 昭和十四年四月一日現ニ第一條ノ許可ヲ受クベキ米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業務ヲ行フ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ同條ノ規定施行ノ日ヨリ之ヲ同條ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第六十條 取引所稅法中第二十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十一條ノ二 日本米穀株式會社ノ米穀市場ニ於ケル賣買取引ニシテ差金ノ授受ニ依リテ決済ヲ爲シ得ルモノニ付テハ命令ヲ以テ定ムル賣買取引ヲ除クノ外日本米穀株式會社及其ノ米穀市場ヲ取引所、其ノ市場員ヲ取引員ト看做シ本法中取引稅ニ關スル規定ヲ適用ス此ノ場合ニ於テハ第五

條第一項ノ規定ニ拘ラス賣買各約定金高ニ對シ萬分ノ一・二五ノ稅率ニ依ル
米穀配給統制法第十六條ノ規定ニ違反シタル行爲アリタルトキハ第十七條ノ例ニ依ル
日本米穀株式會社ノ米穀市場ニ於ケル賣買取引ニシテ第一項ニ規定スル賣買取引ニ該當セサルモ
ノニ付差金ノ授受ニ依リテ決濟ヲ爲シタルトキハ第十七條ノ二ノ例ニ依ル

米穀配給統制法ノ一部施行期日ニ關スル件

(昭和十四年四月十七日)
勅令第二百十二號

米穀配給統制法第二十一條乃至第二十九條、第五十一條、第五十四條及第五十八條ノ規定ハ昭和十四
年四月二十日ヨリ、同法第五十條及第五十二條ノ規定ハ同法第二十二條、第二十七條乃至第二十九條
及第五十一條ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

米穀配給統制法ノ一部施行期日ニ關スル件

(昭和十四年八月九日)
勅令第五百五十號

米穀配給統制法第四條第一項、第三十一條乃至第三十六條、第四十三條、第四十四條、第五十六條及
第五十七條ノ規定ハ昭和十四年八月十二日ヨリ、同法第四十一條、第四十八條、第四十九條、第五十
條第一項及第五十二條ノ規定ハ同法第四條第一項、第三十二條、第三十五條及第五十六條ノ規定ニ關
係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

米穀配給統制法一部施行ニ關スル件

(昭和十四年八月九日)
勅令第五百五十一號

- 第一條 米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル命令ハ左ニ掲グル事項ニ付之ヲ爲スモノトス
 - 一 米穀ノ買占又ハ賣惜ヲ防止スル爲必要ナル事項
 - 二 米穀ノ地方的偏在ヲ防止スル爲必要ナル事項
 - 三 米價ノ異常ナル變動ヲ防止スル爲必要ナル事項
 - 四 災害事變ノ場合ニ於ケル緊急措置ニ必要ナル事項
 - 五 其ノ他米穀ノ配給統制上必要ナル事項
- 第二條 米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ米穀統制委員會ニ諮問
スルコトヲ要ス但シ緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三條 米穀配給統制法第五十六條第一項ノ規定ニ依ル買取ハ昭和十四年九月末日迄ニ米穀ヲ賣買取
引スル取引所又ハ正米市場開設者ヨリ賣渡ノ申込アリタル場合ニ於テ其ノ者ノ同法公布ノ際現ニ所
有シタル土地、建物其ノ他ノ設備ニシテ米穀ノ賣買取引ニ關スルモノニ付之ヲ爲スモノトス
- 第四條 米穀配給統制法第五十六條第一項ノ規定ニ依ル買取ノ價格ニ付テハ買取ノ目的タル土地、建
物其ノ他ノ設備ノ時價、建設費及利用價値ヲ參酌スベシ
- 前項ノ利用價値ノ算定方法ハ米穀取引事業審議委員會ノ議ヲ經テ農林大臣及商工大臣之ヲ定ム

第五條 日本米穀株式會社ハ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受ケテ定ムル規程ニ依リ米穀配給統制法第五十六條第二項ニ規定スル使用人ニシテ米穀ノ賣買取引ニ關スル業務ニ從事スルモノノ申込ニ應ジ之ヲ雇入ルルモノトス

第六條 日本米穀株式會社ハ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受ケテ定ムル規程ニ依リ米穀配給統制法第五十六條第二項ニ規定スル取引員ニシテ取引所令第十四條ニ規定スル方法ニ依ル賣買取引ヲ業トスルモノニ對シ其ノ申込ニ應ジ總額三百五十萬圓ヲ超エザル範圍内ニ於テ米穀ノ卸賣業其ノ他ノ業務ヲ開始スルニ必要ナル資金ノ融通ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規程ニハ取引員一人當資金融通額ノ最高限度、資金融通ノ方法、利率、償還期限、償還方法其ノ他資金融通ニ關シ必要ナル事項ヲ規定スルコトヲ要ス

第七條 米穀配給統制法第四條第一項ニ於テ政府トアルハ農林大臣トス但シ米穀統制法、米穀自治管理法、昭和九年法律第五十二號其ノ他ノ米穀ノ統制ヲ目的トスル法令又ハ契約ニ依リ農林大臣ノ統制スル米穀ニ關スルモノヲ除クノ外米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業ヲ營ム商人又ハ其ノ團體ニ對スル命令ニ付テハ農林大臣及商工大臣トス

第八條 米穀配給統制法第二十二條、第二十七條、第二十八條、第二十九條第二項及第三項、第三十二條、第三十五條、第三十六條並ニ第五十六條ニ於テ政府トアルハ農林大臣及商工大臣トス但シ同法第二十九條第二項又ハ第三項ノ認可、同法第三十二條ノ規定ニ依ル定款ノ變更ノ認可、同法第三十五條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分及同法第三十六條ノ規定ニ依ル決議ノ取消又ハ事業ノ停止若ハ禁

止ニシテ同法第二十九條第一項第二號ノ事業又ハ之ニ附帶スル事業ニ關スルモノニ付テハ農林大臣トス

米穀配給統制法第二十九條第二項又ハ第三項ノ認可ニシテ同條第一項第四號ノ事業ニ關スルモノハ前項ノ規定ニ拘ラズ農林大臣商工大臣ニ協議シテ之ヲ爲スベシ

米穀配給統制法第二十七條第四項但書ニ於テ主務大臣トアルハ農林大臣及商工大臣トス

第九條 農林大臣及商工大臣ハ米穀配給統制法第三十三條ノ規定ニ依リ各日本米穀株式會社監理官ヲ置クベシ

附則

本令ハ昭和十四年八月十二日ヨリ之ヲ施行ス

米穀配給統制法一部施行期日ニ關スル件

(昭和十四年九月三十日
勅令第六百七十七號)

米穀配給統制法第五條乃至第二十條、第三十條、第三十七條乃至第三十九條、第四十五條乃至第四十七條、第五十條第一項、第五十二條、第五十五條及第六十條ノ規定ハ昭和十四年十月一日ヨリ、同法第四十一條、第四十二條、第四十八條及第四十九條ノ規定ハ同法第十九條ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

米穀配給統制法一部施行ニ關スル件

(昭和十四年九月三十日勅令第六百七十八號)

- 第一條 日本米穀株式會社米穀市場ヲ開設セントスルトキハ市場毎ニ開設ノ場所、地區及賣買取引ノ種類ヲ定メ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 第二條 米穀市場ノ賣買取引ハ現物取引、未着物取引及延取引ノ三種トス
- 第三條 賣買取引ノ期限ハ現物取引ニ在リテハ五日、未着物取引ニ在リテハ内地米ニ付テハ十五日、其ノ他ノ米穀ニ付テハ一月、延取引ニ在リテハ二月ヲ超ユルコトヲ得ズ
- 第四條 延取引ノ履行期ニ於ケル決済ハ差金ノ授受ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得
- 第五條 延取引ニ限リ業務規程ノ定ムル所ニ依リ各組合セ銘柄ニ付標準物ヲ定メ格付受渡ノ方法ヲ用フルコトヲ得
- 第六條 延取引ノ受渡其ノ他ノ決済ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ日本米穀株式會社ヲ經テ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 第七條 前五條ニ定ムルモノノ外米穀市場ノ賣買取引ノ方法其ノ他賣買取引ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第八條 米穀配給統制法第七條ノ價格ノ範圍ハ米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ヲ基準トシ米穀ノ格差及運賃諸掛等ヲ參酌シテ各市場毎ニ農林大臣之ヲ定ム

- 組合セ銘柄ニ付テハ其ノ標準物ニ付前項ノ規定ニ準ジ價格ノ範圍ヲ定ム
- 前二項ノ規定ニ依リ定メタル價格ノ範圍ハ農林大臣之ヲ告示ス
- 第九條 米穀市場ノ市場員タルコトヲ得ル者ハ左ニ掲グル者ニシテ當該米穀市場ノ地區内ニ於テ店舗又ハ事務所ヲ設ケテ米穀ノ賣買取引ヲ爲スモノトス
 - 一 米穀ノ卸賣業者
 - 二 米穀ヲ取扱フ商業組合聯合會
 - 三 米穀ヲ取扱フ産業組合聯合會
 - 四 其ノ他農林大臣及商工大臣ノ指定スル者
- 第十條 市場員米穀配給統制法第九條第一號乃至第四號、第六號若ハ第七號ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ日本米穀株式會社ノ役員ト爲リタルトキハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外同法第八條第二項ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ
- 第十一條 前二條ニ定ムルモノノ外市場員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十二條 市場員ハ其ノ米穀市場ニ依ラズシテ當該米穀市場ノ市場員ニ非ザル者トノ米穀ノ賣買取引ヲ爲スコトヲ得
- 第十三條 日本米穀株式會社ハ業務規程ヲ設ケ米穀市場ノ賣買取引其ノ他業務ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムベシ
- 日本米穀株式會社業務規程ヲ定メ又ハ變更セントスルトキハ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

農林大臣及商工大臣必要ト認ムルトキハ業務規程ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 日本米穀株式會社ノ業務ニ參與スル理事ハ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受ケ米穀市場ノ賣買取引ヲ爲シ又ハ其ノ委託ヲ爲スコトヲ得

第十五條 米穀配給統制法第八條第二項、第十條第二項、第十三條、第十七條第一項、第十九條及第二十條ニ於テ政府トアルハ農林大臣及商工大臣トス

附則

本令ハ昭和十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

米穀配給統制法公布ノ際現ニ存スル米穀ヲ賣買取引スル取引所ノ會員又ハ取引員ニシテ昭和十四年十月一日迄引續キ其ノ業務ニ従事スルモノハ第九條ノ規定ニ該當セザル者ト雖モ同法第八條第二項ノ免許ヲ受クルコトヲ得

市場員ハ當分ノ内第十二條ニ規定スルモノノ外當該米穀市場ノ市場員トノ賣買取引ニシテ其ノ期限ガ一月ヲ超エザルモノニ限リ其ノ米穀市場ニ依ラズシテ之ヲ爲スコトヲ得但シ差金ノ授受ニ依リ其ノ決濟ヲ爲スコトヲ得ズ

米穀配給統制法施行ニ關スル件

(昭和十四年六月九日 農林省令第五號)

日本米穀株式會社ノ設立委員米穀配給統制法第五十四條第二項ノ規定ニ依リ株主ヲ募集セントスルトキハ同法公布ノ際現ニ存スル米穀ノ賣買取引ヲ爲ス取引所又ハ其ノ株主ノ株式ノ申込ニ對シ主務大臣

ノ定ムル所ニ依リ其ノ他ノ者ノ株式ノ申込ニ優先シテ株式ノ割當ヲ爲スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル米穀ノ最高販賣

價格ニ關スル件

(昭和十四年八月二十五日 農林省令第八號)

米穀ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ最高販賣價格ヲ超ユル對價ヲ以テ之ヲ販賣(本令施行前ニ爲シタル契約ニ依リ本令施行後六日以後ニ於テ爲ス引渡ヲ含ム)スルコトヲ得ズ

前項ノ米穀ノ種類、銘柄及等級並ニ最高販賣價格ハ主務大臣之ヲ告示ス
前項ノ種類、銘柄及等級ノ米穀ノ販賣ニ當リテハ其ノ最高販賣價格ヲ超ユル對價ヲ以テ之ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ商品ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

本令ハ昭和十四年八月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

米穀配給統制法一部施行ニ關スル件

(昭和十四年九月三十日 農林省令第九號)

第一條 日本米穀株式會社米穀市場ノ開設ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル

認可申請書ヲ農林大臣及商工大臣ニ提出スベシ

一 米穀市場開設ノ場所

二 米穀市場ノ地區

三 米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ種類

前項ノ認可申請書ニハ當該地方ニ於ケル米穀取引狀況、市場員ノ見込員數、米穀市場開設ノ見込期日及附帶事業ノ概要ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

第二條 日本米穀株式會社ハ毎日一定ノ時ニ於テ市場ヲ開クベシ

開市及休業ニ關スル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第三條 日本米穀株式會社ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ立會ノ停止又ハ市場員ノ米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ差止ヲ爲スコトヲ得

第四條 米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ單位及延取引ニ於テ格付受渡ノ方法ヲ用フル場合ノ受渡格付ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第五條 日本米穀株式會社ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ市場員ヲシテ延取引ニ付證據金ヲ納メシムルコトヲ得

農林大臣及商工大臣必要アリト認ムルトキハ日本米穀株式會社ニ對シ市場員ヲシテ賣買取引ニ付證據金ヲ納メシムベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第六條 日本米穀株式會社ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ賣買手数料ヲ徴收スルコトヲ得

農林大臣及商工大臣必要アリト認ムルトキハ賣買手数料ノ率ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第七條 市場員ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ現物取引及未着物取引ニ限り其ノ米穀市場ニ於テ其ノ米穀市場ノ市場員ニ非ザル者ト賣買取引ヲ爲スコトヲ得

第八條 日本米穀株式會社ハ政府ノ委託ニ依ル米穀ノ買入又ハ賣渡ニ限り米穀市場ニ於ケル米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲スコトヲ得

第九條 市場員ノ免許ハ各米穀市場ノ賣買取引ノ種類毎ニ之ヲ爲スモノトス

第十條 市場員ノ免許ヲ受ケントスル者ハ其ノ申請書ニ法人ニ在リテハ定款、貸借對照表、財産目錄、役員ノ履歷書及最近一年ノ米穀取扱數量ヲ記載シタル書類ヲ、法人ニ非ザル者ニ在リテハ資産調書、履歷書及最近一年ノ米穀取扱數量ヲ記載シタル書類ヲ添附シ日本米穀株式會社ヲ經由シテ農林大臣及商工大臣ニ之ヲ提出スベシ

日本米穀株式會社ハ前項ノ申請書ニ其ノ意見書ヲ添附スベシ

農林大臣及商工大臣ハ第一項ニ掲グル書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第十一條 日本米穀株式會社市場員免許狀ノ送附ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ旨本人ニ通知シ請書及身元保證金ヲ差出サシメタル後之ヲ交付スベシ

日本米穀株式會社ハ前項ノ請書ヲ農林大臣及商工大臣ニ差出スベシ

市場員ノ免許ヲ申請シタル者第一項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ請書及身元保證金ヲ差出サザルトキハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

第十二條 市場員免許狀ヲ紛失シタルトキハ事由ヲ具シ日本米穀株式會社ヲ經由シテ其ノ再下付ヲ申請スベシ

市場員其ノ氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキハ日本米穀株式會社ヲ經由シテ免許狀ノ書換ヲ申請スベシ

第十三條 市場員死亡、解散、廢業、除名其ノ他ノ事由ニ因リ市場員タル資格ヲ失ヒタルトキハ日本米穀株式會社ハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ其ノ旨農林大臣及商工大臣ニ届出ヅベシ

第十四條 市場員昭和十四年勅令第六百七十八號第九條ニ該當セザルニ至リタルトキ又ハ其ノ米穀ノ賣買ノ數量(差金ノ授受ニ依リ決濟シタル賣買ノ數量ヲ除ク)ガ引續キ三年以上一定數量ニ達セザルトキハ農林大臣及商工大臣ハ其ノ免許ヲ取消スコトアルベシ

前項ノ一定數量ハ農林大臣及商工大臣日本米穀株式會社ノ意見ヲ徵シ之ヲ定ム

第十五條 市場員(昭和十四年勅令第六百七十八號第九條第二號及第三號ニ掲グル者ヲ除ク)ハ委託手数料率及受託契約準則ヲ定メ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同

シ前項ノ規定ニ依ル認可申請書ハ日本米穀株式會社ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ此ノ場合ニ於テハ日本米穀株式會社ハ認可申請書ニ意見書ヲ添附スベシ

農林大臣及商工大臣必要アリト認ムルトキハ委託手数料率又ハ受託契約準則ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第十六條 身元保證金ノ額ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第十七條 證據金及身元保證金ハ日本米穀株式會社ノ定ムル所ニ從ヒ有價證券ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

日本米穀株式會社身元保證金ヲ受取リタルトキハ遲滞ナク之ヲ供託スベシ

第十八條 證據金及身元保證金ニ代用スルコトヲ得ベキ有價證券ノ代用價格ハ國債證券及地方債證券ニ在リテハ時價以下ニ、其ノ他ノ有價證券ニ在リテハ時價ノ九割以下ニ之ヲ定ムベシ

前項ノ有價證券ノ時價ガ代用價格ヲ下リタルトキハ遲滞ナク之ヲ變更スベシ

日本米穀株式會社第一項ノ有價證券ノ種類及代用價格ヲ決定シ又ハ變更シタルトキハ其ノ有價證券ノ時價ヲ附記シ遲滞ナク之ヲ農林大臣及商工大臣ニ届出ヅベシ

農林大臣及商工大臣必要アリト認ムルトキハ第一項ノ有價證券ノ種類又ハ代用價格ヲ變更セシムルコトアルベシ

第十九條 日本米穀株式會社ハ米穀市場ノ賣買取引ノ責任ヲ履行セザル者アルトキハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第二十條 市場員ト當該米穀市場ノ地區内ノ市場員ニ非ザル者（政府及政府ノ委託ヲ受ケ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス者ヲ除ク）トノ賣買取引ニシテ米穀市場ニ依ラザルモノノ期限ハ一月ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十一條 市場員前條ノ賣買取引ヲ爲シタルトキハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ日本米穀株式會社ニ届出ヅベシ

第二十二條 日本米穀株式會社米穀配給統制法第十六條第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十三條 日本米穀株式會社其ノ事業ノ全部若ハ一部ヲ廢止シ又ハ業務規程ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ事業ノ全部若ハ一部ヲ休止セントスルトキハ農林大臣及商工大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十四條 日本米穀株式會社ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ米穀市場ノ公定相場ヲ決定シ之ヲ公示スベシ

日本米穀株式會社前項ノ公定相場ヲ決定シタルトキハ之ヲ農林大臣及商工大臣ニ報告スベシ

第二十五條 日本米穀株式會社ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ市場員ノ賣買高ヲ公示スベシ

日本米穀株式會社ハ毎月十日迄ニ前月中ニ於ケル各米穀市場ノ賣買高ヲ農林大臣及商工大臣ニ報告スベシ

第二十六條 農林大臣及商工大臣米穀市場ノ開設ノ認可ヲ爲シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ告示ス告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

一 米穀市場開設ノ場所

二 米穀市場ノ地區

三 米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ種類

第二十七條 日本米穀株式會社米穀市場ノ受渡米穀ノ格付ヲ爲ス者ヲ選任シタルトキハ遲滯ナク履歷書ヲ添附シ其ノ旨農林大臣及商工大臣ニ届出ヅベシ

前項ノ受渡米穀ノ格付ヲ爲ス者退任シタルトキハ日本米穀株式會社ハ遲滯ナク其ノ旨農林大臣及商工大臣ニ届出ヅベシ

日本米穀株式會社ハ市場員ヲシテ米穀市場ノ受渡米穀ノ格付ヲ爲サシムルコトヲ得ズ

第二十八條 日本米穀株式會社ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ旨農林大臣及商工大臣ニ報告スベシ

一 米穀配給統制法第十三條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ

- 二 米穀市場ニ於ケル賣買取引ニ違約ヲ生ジタルトキ又ハ其ノ賠償ヲ爲シタルトキ
- 三 業務規程ノ定ムル所ニ依リ臨時ニ市場ヲ開始シ又ハ休止シタルトキ
- 四 立會ヲ停止シ又ハ市場員ノ米穀市場ニ於ケル賣買取引ヲ差止メタルトキ

附則

本令ハ昭和十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年勅令第六百七十八號附則第二項ニ掲グル者市場員ノ免許ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請書ニ同項ニ掲グル者ニ該當スルモノナルコトヲ證スル書面及履歷書ヲ添附シ日本米穀株式會社ヲ經由シテ農林大臣及商工大臣ニ之ヲ提出スベシ此ノ場合ニ於テハ第十條第一項及第二項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

昭和十四年勅令第六百七十八號附則第三項ノ賣買取引ノ價格ハ米穀配給統制法第七條ノ價格ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ズ
市場員前項ノ賣買取引ヲ爲シタルトキハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ日本米穀株式會社ニ届出ツベシ

米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル屑米ノ

最高販賣價格

(昭和十六年十二月二十日 農林省告示第九百二十一號)

等級	量目	生産者庭先渡價格
上	裸十貫當	八圓七十錢
並	同	七圓四十錢

- 一 本表ニ掲グル價格ハ道府縣ノ屑米検査ニ合格シタルモノノ正味價格トシ包装込價格ハ本表ノ價格ニ一包裝ニ付二十五錢(地方長官二十五錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額)ヲ加算シタル額トス
- 未検査屑米ノ最高販賣價格ハ前項並ノ價格ヨリ十貫當五錢(地方長官五錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額)ヲ控除シタル額トス
- 二 生産者庭先渡價格以外ノ最高販賣價格ハ一ニ掲グル價格ニ販賣業者(生産者團體ヲ含ム)手数料十貫當六錢(地方長官六錢ノ範圍内ニ於テ生産者團體、米穀販賣業者別ニ手数料ヲ定メタルトキハ各其ノ額)及運賃諸掛ノ實費ヲ加算スルコトヲ得ルモノトス但シ地方長官右運賃諸掛ノ加算額ニ付別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額ニ依ルモノトス

備考

本告示ハ昭和十六年十二月三十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依ル昭和十六年以降産内地玄米ノ種類、銘柄及等級並ニ最高販賣價格

(昭和十六年九月十八日農林省告示第六百八十五號)

各道府縣ニ於ケル最高販賣價格

玄米最高販賣價格(一俵又ハ一呎當)

(甲) 三等

道府縣	銘柄	稈		米		糯		玄	
		容量 (正味四斗)	検査米	容量 (正味六斗)	検査米	容量 (正味四斗)	検査米	容量 (正味六斗)	検査米
北海道	北	一六・四〇	一六・五〇	一八・〇五	一八・二〇	一九・一〇	一九・二〇	一九・一〇	一九・二〇
青森	青	一七・一〇	一七・二〇	一八・八〇	一八・九五	一九・一〇	一九・二〇	一九・一〇	一九・二〇
岩手	岩	一七・三五	一七・三五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・一〇	一九・二〇	一九・一〇	一九・二〇
宮城	宮	一七・四〇	一七・四〇	一九・一五	一九・二五	一九・一五	一九・二五	一九・一五	一九・二五
秋田	秋	一七・四〇	一七・四〇	一九・一五	一九・二五	一九・一五	一九・二五	一九・一五	一九・二五
山形	山	一七・四〇	一七・四〇	一九・一五	一九・二五	一九・一五	一九・二五	一九・一五	一九・二五

道府縣	銘柄	稈		米		糯		玄	
		容量 (正味四斗)	検査米	容量 (正味六斗)	検査米	容量 (正味四斗)	検査米	容量 (正味六斗)	検査米
山形	山	一七・二五	一七・二五	一八・九五	一九・〇五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
福島	福	一七・二五	一七・二五	一八・九五	一九・〇五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
茨城	茨	一七・三〇	一七・三〇	一九・〇五	一九・一五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
栃木	栃	一七・三〇	一七・三〇	一九・〇五	一九・一五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
群馬	群	一七・三〇	一七・三〇	一九・〇五	一九・一五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
馬場	馬	一七・三〇	一七・三〇	一九・〇五	一九・一五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
埼玉	玉	一七・三〇	一七・三〇	一九・〇五	一九・一五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
千葉	千	一七・三〇	一七・三〇	一九・〇五	一九・一五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
東京	東	一七・三〇	一七・三〇	一九・〇五	一九・一五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
神奈川	神	一七・三〇	一七・三〇	一九・〇五	一九・一五	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
山梨	山	一七・二〇	一七・二〇	一八・九〇	一九・〇〇	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
長野	長	一七・二〇	一七・二〇	一八・九〇	一九・〇〇	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
新潟	新	一七・二〇	一七・二〇	一八・九〇	一九・〇〇	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
富山	富	一七・二〇	一七・二〇	一八・九〇	一九・〇〇	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
石川	石	一七・二〇	一七・二〇	一八・九〇	一九・〇〇	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
福井	福	一七・二〇	一七・二〇	一八・九〇	一九・〇〇	一九・〇〇	一九・一〇	一九・〇〇	一九・一〇
静岡	静	一七・五〇	一七・五〇	一九・三〇	一九・四〇	一九・三〇	一九・四〇	一九・三〇	一九・四〇
愛知	愛	一七・五〇	一七・五〇	一九・三〇	一九・四〇	一九・三〇	一九・四〇	一九・三〇	一九・四〇
岐阜	岐	一七・五〇	一七・五〇	一九・三〇	一九・四〇	一九・三〇	一九・四〇	一九・三〇	一九・四〇
三重	三	一七・五〇	一七・五〇	一九・三〇	一九・四〇	一九・三〇	一九・四〇	一九・三〇	一九・四〇

重量検査米	容量検査米	加算スベキ金額		控除スベキ金額	
		一 等	二 等	四 等	外
		・三〇 ・四〇	・一五 ・二〇	・一〇 ・二〇	・三〇 ・四〇 ・一五 ・二五
					(豫備等級ヲ増置シタ ル場合ハ四〇錢) (豫備等級ヲ増置シタ ル場合ハ二五錢)

(乙) 一等、二等、四等(豫備等級)及等外
(甲)ノ價格ニ夫々左ノ金額ヲ加算シ又ハ控除シタルモノトス

愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	同	大同	大分	宮崎	鹿兒
一七・四〇	一七・二〇	一七・三五	一七・四〇	一七・三〇	一七・三五	一七・三五	一七・四五	一七・四五	一七・四五	一七・三五
一七・三〇	一七・一〇	一七・二五	一七・三〇	一七・二〇	一七・二五	一七・二五	一七・三五	一七・三五	一七・三五	一七・二五
一九・一五	一八・九〇	一九・一〇	一九・一五	一九・一〇	一九・一五	一九・一〇	一九・二〇	一九・二〇	一九・二〇	一九・一〇
一九・一五	一八・九〇	一九・一〇	一九・一五	一九・一〇	一九・一五	一九・一〇	一九・二〇	一九・二〇	一九・二〇	一九・一〇

滋賀	同	京都	同	大坂	同	兵庫	同	同	同	奈良	和歌	鳥取	島根	岡山	同	廣島	山梨	徳島	香川
一七・五〇	一七・七〇	一七・六五	一七・五〇	一七・六五	一七・五〇	一七・六五	一七・七〇	一七・四〇	一七・五〇	一七・三〇	一七・三〇	一七・二〇	一七・二〇	一七・六五	一七・五〇	一七・五〇	一七・四〇	一七・三〇	一七・六五
一七・四〇	一七・六〇	一七・五五	一七・四〇	一七・五五	一七・四〇	一七・五五	一七・六〇	一七・三〇	一七・四〇	一七・二〇	一七・二〇	一七・一〇	一七・一〇	一七・五五	一七・四〇	一七・四〇	一七・三〇	一七・二〇	一七・五五
一九・三〇	一九・五〇	一九・四〇	一九・二五	一九・四〇	一九・二五	一九・四〇	一九・五〇	一九・一五	一九・二五	一九・〇〇	一九・〇〇	一八・九〇	一八・九〇	一九・四〇	一九・二五	一九・二五	一九・一五	一九・〇五	一九・四〇
一九・三〇	一九・五〇	一九・四〇	一九・二五	一九・四〇	一九・二五	一九・四〇	一九・五〇	一九・一五	一九・二五	一九・〇〇	一九・〇〇	一八・九〇	一八・九〇	一九・四〇	一九・二五	一九・二五	一九・一五	一九・〇五	一九・四〇

一 本表ニ掲グル價格ハ移出検査ニ合格シタル二重俵入、三本繩複式編俵入（各繩二週五ヶ所縱繩一筋以上四方掛又ハ二筋二方掛以上）又ハ叭入（横繩縱繩各二週二ヶ所以上）ノモノノ各頭記道府縣ニ於ケルレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ價格トス

移出検査ニ合格シタル一重俵入（横繩二週五ヶ所縱繩一筋以上四方掛又ハ二筋二方掛以上）ノモノノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ本表ノ價格ヨリ一俵（叭）當三十二錢ヲ控除シタル額トス

移出検査ニ合格シタル前二項ニ掲グル以外ノモノノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ前二項ノ價格ヨリ一俵（叭）當左ノ金額ヲ控除シタル額トス

俵入ノモノニシテ縱繩一筋二方掛ノモノ	四	錢
俵入ノモノニシテ縱繩ヲ省略シタルモノ	八	錢
叭入ノモノニシテ縱繩ヲ省略シタルモノ一ヶ所ニ付	二	錢
俵入又ハ叭入ニシテ横繩ヲ省略シタルモノ一ヶ所ニ付	二	錢

生産検査ノミニ合格シタルモノノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ前二項ノ價格（其ノ等級ニ從ヒ移出検査等級ノ各一、二、三、四等及外ノ價格）ヨリ一俵（叭）當六錢ヲ控除シタル額トス

未検査米ノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ本表ニ掲グル三等米ノ價格ヨリ一俵（叭）當四十二錢（地方長官十錢以上四十二錢以下ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ヲ控除シタル額トス

他道府縣産米ノ移入道府縣ニ於ケルレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ當該米穀ノ生産道府縣ニ於ケル第一項第二項又ハ第三項ノ價格ニ當該生産道府縣ヨリ運賃ヲ加算シタル額トス

前項ノ運賃ハ道府縣所在地間ノ鐵道運賃（移入道府縣ノ地方長官ニ於テ當該道府縣内ノ特ニ必要アリト認ムル地域ニ付生産道府縣ノ道府縣所在地ヨリ當該地域迄ノ運賃ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）トス

二 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者（生産者ノ團體ヲ含ム）以外ノ者ガ當該道府縣産米ヲ當該道府縣内ニ於テ販賣スル場合レール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ヲ除ク）ニ於ケル最高販賣價格ハ當該道府縣ニ於ケル一ニ掲グル價格ヨリ一俵（叭）當二十四錢（地方長官二十四錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ヲ控除シタル額トス

三 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者（生産者ノ團體ヲ含ム）ガ當該道府縣産米ヲ當該道府縣内ニ於テ販賣スル場合（レール渡、船側渡

又ハ之ニ準ズル場合ヲ除ク）ニ於ケル最高販賣價格ハ二ニ掲グル價格ニ一俵（叭）當八錢（地方長官八錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ノ手数料（地方長官生産者團體、米穀販賣業者別ニ手数料ヲ定メタルトキハ各其ノ額）ヲ加算シタル額トス

四 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者ガ他道府縣産米ヲ移入道府縣内ニ於テ販賣スル場合ニ於ケル最高販賣價格ハ移入道府縣ノ一ニ掲グル價格（政府ガ賣渡ス場合ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ニ一俵（叭）當八錢（地方長官八錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ノ手数料ヲ加算シタル額トス

五 臨時米穀配給統制規則第五條第二項ノ規定ニ依リ全國購買販賣組合聯合會ガ政府ニ賣渡ス場合ニ於ケル最高販賣價格ハ生産道府縣ノ一ニ掲グル價格ニ一俵（叭）當四十錢ヲ加算シタル額トス

但シ政府ガ特ニ受渡場所ヲ指定シタル場合ニ於テハ生産道府縣ノ一ニ掲グル價格ニ一俵（叭）當七十錢ヲ加算シタル額トス

前項ノ最高販賣價格ハ政府ガ買入代價ヲ證券ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ前項ノ額ニ證券發行ノ日ヨリ償還ノ日迄ノ金利ニ相當スル金額ヲ加算シタル額トス

前項ノ金利ハ米穀需給調節特別會計法第四條ノ規定ニ依リ該證券ニ付政府ノ定ムル割引歩合トス

六 一乃至五ニ掲グル價格ハ水稻玄米ノ價格トシ陸稻玄米ノ最高販賣價格ハ一乃至五ノ價格ヨリ容量検査米ニ在リテハ一俵（叭）當八十錢、重量検査米ニ在リテハ一俵（叭）當四十錢ヲ控除シタル額トス

七 本表ニ掲グル米穀ニハ地方長官ニ於テ酒米證印ヲ附シタルモノヲ含マズ

昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依リ昭和十六年以降産内地穀ノ種類、銘柄及等級並ニ最高販賣價格

（昭和十六年九月十八日農林省告示第六百八十六號）

各道府縣ニ於ケル最高販賣價格

粳最高販賣價格（正味十貫當）

道府縣	柄	合	
		格	外
北海道	北海	七・九〇	七・七〇
青森	青森	八・二〇	八・〇〇
岩手	岩手	八・三〇	八・一〇
宮城	宮城	八・三〇	八・一〇
秋田	秋田	八・四〇	八・二〇
山形	山形	八・三〇	八・一〇
福島	福島	八・三〇	八・一〇
茨城	茨城	八・三〇	八・一〇
栃木	栃木	八・三〇	八・一〇
群馬	群馬	八・三〇	八・一〇
北海道	北海	八・四〇	八・二〇
青森	青森	八・二〇	八・〇〇
岩手	岩手	八・三〇	八・一〇
宮城	宮城	八・三〇	八・一〇
秋田	秋田	八・四〇	八・二〇
山形	山形	八・三〇	八・一〇
福島	福島	八・三〇	八・一〇
茨城	茨城	八・三〇	八・一〇
栃木	栃木	八・三〇	八・一〇
群馬	群馬	八・三〇	八・一〇
北海道	北海	八・七〇	八・五〇
青森	青森	九・〇〇	八・八〇
岩手	岩手	九・二〇	九・〇〇
宮城	宮城	九・一〇	八・九〇
秋田	秋田	九・二〇	九・〇〇
山形	山形	九・二〇	九・〇〇
福島	福島	九・一〇	八・九〇
茨城	茨城	九・二〇	九・〇〇
栃木	栃木	九・二〇	九・〇〇
群馬	群馬	九・二〇	九・〇〇

道府縣	柄	合	
		格	外
北海道	北海	八・三〇	八・二〇
青森	青森	八・二〇	八・一〇
岩手	岩手	八・三〇	八・二〇
宮城	宮城	八・四〇	八・三〇
秋田	秋田	八・三〇	八・二〇
山形	山形	八・三〇	八・二〇
福島	福島	八・三〇	八・二〇
茨城	茨城	八・三〇	八・二〇
栃木	栃木	八・三〇	八・二〇
群馬	群馬	八・三〇	八・二〇
北海道	北海	八・三〇	八・二〇
青森	青森	八・二〇	八・一〇
岩手	岩手	八・三〇	八・二〇
宮城	宮城	八・四〇	八・三〇
秋田	秋田	八・三〇	八・二〇
山形	山形	八・三〇	八・二〇
福島	福島	八・三〇	八・二〇
茨城	茨城	八・三〇	八・二〇
栃木	栃木	八・三〇	八・二〇
群馬	群馬	八・三〇	八・二〇
北海道	北海	九・二〇	九・一〇
青森	青森	九・〇〇	八・九〇
岩手	岩手	九・二〇	九・一〇
宮城	宮城	九・一〇	八・九〇
秋田	秋田	九・二〇	九・一〇
山形	山形	九・二〇	九・一〇
福島	福島	九・一〇	八・九〇
茨城	茨城	九・二〇	九・一〇
栃木	栃木	九・二〇	九・一〇
群馬	群馬	九・二〇	九・一〇

大	同	兵	同	同	奈	和	鳥	鳥	岡	同	廣	山	德	香	愛	高	福	佐
阪	庫	庫	淡	但	良	山	取	根	山	美	廣	山	德	川	媛	知	岡	賀
攝	大	兵	淡	但	奈	和	鳥	鳥	兩	美	廣	山	德	川	媛	知	岡	賀
津	阪	庫	路	馬	良	山	取	根	備	作	鳥	口	鳥	川	媛	知	岡	賀
八・五〇	八・四〇	八・五〇	八・五〇	八・四〇	八・四〇	八・三〇	八・三〇	八・三〇	八・五〇	八・四〇	八・四〇	八・四〇	八・三〇	八・五〇	八・四〇	八・三〇	八・三〇	八・四〇
八・三〇	八・二〇	八・三〇	八・三〇	八・二〇	八・二〇	八・一〇	八・一〇	八・一〇	八・三〇	八・二〇	八・二〇	八・二〇	八・一〇	八・三〇	八・二〇	八・一〇	八・一〇	八・二〇
九・三〇	九・三〇	九・三〇	九・四〇	九・二〇	九・三〇	九・一〇	九・一〇	九・一〇	九・三〇	九・三〇	九・三〇	九・二〇	九・二〇	九・三〇	九・二〇	九・一〇	九・二〇	九・二〇
九・二〇	九・二〇	九・一〇	九・二〇	九・〇〇	九・一〇	八・九〇	八・九〇	八・九〇	九・一〇	九・一〇	九・一〇	九・〇〇	九・〇〇	九・一〇	九・〇〇	八・九〇	九・〇〇	九・〇〇

長	熊	同	大	宮	鹿
崎	本	分	崎	崎	兒
長	熊	城	大	宮	鹿
崎	本	東	分	崎	兒
八・三〇	八・三〇	八・三〇	八・四〇	八・四〇	八・三〇
八・二〇	八・一〇	八・一〇	八・二〇	八・二〇	八・一〇
九・二〇	九・二〇	九・一〇	九・二〇	九・二〇	九・二〇
九・〇〇	九・〇〇	八・九〇	九・〇〇	九・〇〇	九・〇〇

一 本表ニ掲グル價格ハ検査ニ合格シタル俵入又ハ吠入ノモノノ各頭記道府縣ニ於ケルレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ價格トス

合格ヲ上、並ニ區分シタル場合ニ於ケルレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ上程ノ最高販賣價格ハ本表ニ掲グル價格ノ價格ニ十貫當五錢ヲ加算シタル額トシ並程ノ最高販賣價格ハ本表ニ掲グル價格ノ價格ヨリ十貫當十錢ヲ控除シタル額トス

未検査程ノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ本表ニ掲グル價格ノ價格ヨリ十貫當四錢ヲ控除シタル額トス

他道府縣産程ノ移入道府縣ニ於ケルレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ當該程ノ生産道府縣ニ於ケル第一項、第二項及第三項ノ價格ニ當該生産道府縣ヨリノ運賃ヲ加算シタル額トス

前項ノ運賃ハ道府縣廳所在地間ノ鐵道運賃（移入道府縣ノ地方長官ニ於テ當該道府縣内ノ特ニ必要アリト認ムル地域ニ付生産道府縣ノ道府縣廳所在地ヨリ當該地域迄ノ運賃ノ範圍内ニ於テ別段ノ運賃ヲ定メタルトキハ其ノ額）トス

二 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者（生産者ノ團體ヲ含ム）以外ノ者ガ當該道府縣産程ヲ當該道府縣内ニ於テ販賣スル場合（レール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ヲ除ク）ニ於ケル最高販賣價格ハ當該道府縣ニ於ケル一ニ掲グル價格ヨリ十貫當十五錢（地方長官十五錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ヲ控除シタル額トス

三 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者（生産者ノ團體ヲ含ム）ガ當該道府縣産程ヲ當該道府縣内ニ於テ販賣スル場合（レール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ヲ除ク）ニ於ケル最高販賣價格ハ二ニ掲グル價格ニ十貫當五錢（地方長官五錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定

メタルトキハ其ノ額)ノ手数料(地方長官生産者團體、米穀販賣業者別ニ手数料ヲ定メタルトキハ各其ノ額)ヲ加算シタル額トス

四 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者ガ他道府縣産糧ヲ移入道府縣内ニ於テ販賣スル場合ニ於テハ移入道府縣ノ一第四項ニ掲グル額ニ十貫當五錢(地方長官五錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額)ノ手数料ヲ加算シタル額トス

五 臨時米穀配給統制規則第五條第二項ノ規定ニ依リ全國購買販賣組合聯合會ガ政府ニ賣渡ス場合ニ於ケル最高販賣價格ハ生産道府縣ノ三ニ掲グル價格ニ十貫當十八錢ヲ加算シタル額トス

前項ノ最高販賣價格ハ政府ガ買入代價ヲ證券ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ前項ノ額ニ證券發行ノ日ヨリ償還ノ日迄ノ金利ニ相當スル金額ヲ加算シタル額トス

前項ノ金利ハ米穀需給調節特別會計法第四條ノ規定ニ依リ該證券ニ付定ムル割引歩合トス

六 一乃至五ニ掲グル價格ハ水稻糧ノ價格トシ陸稻糧ノ最高販賣價格ハ一乃至五ノ價格ヨリ十貫當二十錢ヲ控除シタル額トス

七 一乃至六ニ掲グル價格ハ道府縣、市町村、農會、産業組合又ハ部落團體ガ米穀生産者ニ對シ種子用トシテ糧ヲ販賣スル場合、米穀生産者ニ對シ種子用トシテ配給スル爲メ糧ヲ購入スル場合、又ハ米穀生産者ノ爲ニ種子用ノ糧ノ購入ノ斡旋ヲ爲ス場合ニハ其ノ糧ニ付之ヲ適用セズ

昭和十四年農林省令第八號第二項ノ規定ニ依リ内地精米ノ種類、銘柄及等級並ニ最高販賣價格 (昭和十六年九月十八日農林省告示第六百八十七號)

各道府縣ニ於ケル最高販賣價格

精米最高販賣價格(正味六〇疋當)

道府縣	銘柄	精米		糯米	
		合	外	合	外
北海道	青森	一七四〇	一七一〇	一九二〇	一八九〇
青森	岩手	一八一〇	一七八〇	二〇〇〇	一九七〇
岩手	宮城	一八一〇	一七八〇	二〇〇〇	一九七〇
宮城	秋田	一八一〇	一七八〇	一九九〇	一九六〇
秋田	山形	一八二〇	一七九〇	二〇〇〇	一九七〇
山形	庄内	一八二〇	一七九〇	二〇〇〇	一九七〇
同	村山	一八〇〇	一七七〇	一九八〇	一九五〇
福島	鳥城	一八一〇	一七八〇	一九九〇	一九六〇
茨城	栃木	一八一〇	一七八〇	一九八〇	一九五〇
栃木	群馬	一八〇〇	一七七〇	一九八〇	一九五〇
群馬	馬場	一八〇〇	一七七〇	一九八〇	一九五〇
埼玉	玉川	一八一〇	一七八〇	一九八〇	一九五〇
千葉	葉巻	一八一〇	一七八〇	一九八〇	一九五〇
東京	京	一八一〇	一七八〇	一九八〇	一九五〇
神奈川	川	一八一〇	一七八〇	一九八〇	一九五〇
山梨	梨	一八〇〇	一七七〇	一九八〇	一九三〇

鹿島	宮崎	大同	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	山口	廣島	岡山	鳥取	島根	和歌山
鹿島	宮崎	大城	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	山口	廣島	美作	備前	鳥取	和歌山
一八〇〇	一八一〇	一八一〇	一七九〇	一八〇〇	一八一〇	一八〇〇	一七九〇	一八〇〇	一八三〇	一七九〇	一八一〇	一八一〇	一八一〇	一八三〇	一七九〇	一八〇〇
一七七八	一七八〇	一七八〇	一七六〇	一七七〇	一七八〇	一七七〇	一七六〇	一七七〇	一八〇〇	一七六〇	一七八〇	一七八〇	一七八〇	一八〇〇	一七六〇	一七五〇
一九八〇	一九九〇	一九九〇	一九七〇	一九八〇	一九八〇	一九七〇	一九七〇	一九八〇	二〇一〇	一九七〇	一九九〇	一九九〇	一九九〇	二〇一〇	一九七〇	一九六〇
一九五〇	一九六〇	一九六〇	一九四〇	一九五〇	一九五〇	一九四〇	一九四〇	一九五〇	一九八〇	一九四〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九八〇	一九四〇	一九三〇

奈良	同	兵	同	大	同	京	同	滋	三	岐	愛	靜	福	石	富	新	長
奈良	但	淡	兵	大	攝	丹	京	滋	湖	三	岐	愛	靜	福	石	富	新
奈良	馬	路	庫	阪	津	後	都	賀	北	重	阜	知	岡	井	川	山	
一八一〇	一八〇〇	一八四〇	一八三〇	一八一〇	一八三〇	一八一〇	一八三〇	一八四〇	一八二〇	一八二〇	一八一〇	一八二〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	
一七八〇	一七七〇	一八一〇	一八〇〇	一七八〇	一八〇〇	一七八〇	一八〇〇	一八一〇	一七九〇	一七九〇	一七八〇	一七九〇	一七七〇	一七七〇	一七七〇	一七七〇	
一九九〇	一九八〇	二〇二〇	二〇一〇	一九九〇	二〇一〇	一九九〇	二〇一〇	二〇二〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一九七〇	一九七〇	一九七〇	一九七〇	
一九六〇	一九五〇	一九九〇	一九八〇	一九六〇	一九八〇	一九六〇	一九八〇	一九九〇	一九七〇	一九七〇	一九七〇	一九七〇	一九四〇	一九四〇	一九四〇	一九四〇	

一 本表ニ掲グル價格ハ移出検査ニ合格シタル二重俵入、三本繩複式編俵入（各橫繩二週五ヶ所縱繩一筋以上四方掛又ハ二筋二方掛以上）、叭入（橫繩縱繩各二週ニヶ所以上）又ハ袋入ノモノノ各項記道府縣ニ於ケルレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ價格トス

移出検査ニ合格シタル一重俵入（橫繩二週五ヶ所縱繩一筋以上四方掛又ハ二筋二方掛以上）ノモノノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ本表ノ價格ヨリ六〇疋當三十二錢ヲ控除シタル額トス

移出検査ニ合格シタル前二項ニ掲グル以外ノモノノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ前二項ノ價格ヨリ六〇疋當左ノ金額ヲ控除シタル額トス

俵入ノモノニシテ縱繩一筋二方掛ノモノ 四 錢

俵入ノモノニシテ縱繩ヲ省略シタルモノ 八 錢

叭入ノモノニシテ縱繩ヲ省略シタルモノ一ヶ所ニ付 二 錢

俵入又ハ叭入ニシテ橫繩ヲ省略シタルモノ一ヶ所ニ付 二 錢

生産検査ノミニ合格シタルモノノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ前三項ノ價格（其ノ等級ニ從ヒ移出検査等級ノ合格、格外ノ價格）ヨリ六〇疋當六錢ヲ控除シタル額トス

未検査精米ノレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ本表ニ掲グル合格米ノ價格ヨリ六〇疋當四十二錢（地方長官十錢以上四十二錢以下ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ヲ控除シタル額トス

他道府縣精米ノ移入道府縣ニ於ケルレール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ノ最高販賣價格ハ當該精米ノ生産道府縣ニ於ケル第一項第二項又ハ第三項ノ價格ニ當該生産道府縣ヨリノ運賃ヲ加算シタル額トス

前項ノ運賃ハ道府縣廳所在地間ノ鐵道運賃（移入道府縣ノ地方長官ニ於テ當該道府縣内ノ特ニ必要アリト認ムル地域ニ付生産道府縣ノ道府縣廳所在地ヨリ當該地域迄ノ運賃ノ範圍内ニ於テ別段ノ運賃ヲ定メタルトキハ其ノ額）トス

二 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者（生産者ノ團體ヲ含ム）以外ノ者ガ當該道府縣精米ヲ當該道府縣内ニ於テ販賣スル場合（レール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ヲ除ク）ニ於ケル最高販賣價格ハ當該道府縣ニ於ケル一ニ掲グル價格ヨリ六〇疋當二十錢（地方長官二十錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ヲ控除シタル額トス

三 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者（生産者ノ團體ヲ含ム）ガ當該道府縣精米ヲ當該道府縣内ニ於テ販賣スル場合（レール渡、船側渡又ハ之ニ準ズル場合ヲ除ク）ニ於ケル最高販賣價格ハ二ニ掲グル價格ニ六〇疋當八錢（地方長官八錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ノ手数料（地方長官生産者團體、米穀販賣業者別ニ手数料ヲ定メタルトキハ各其ノ額）ヲ加算シタル額トス

四 米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者ガ他道府縣精米ヲ移入道府縣内ニ於テ販賣スル場合ニ於ケル最高販賣價格ハ移入道府縣ノ一ニ掲グル價格（政府ガ販賣ス場合ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ニ六〇疋當八錢（地方長官八錢ノ範圍内ニ於テ別段ノ額ヲ定メタルトキハ其ノ額）ノ手数料ヲ加算シタル額トス

五 臨時米穀配給統制規則第五條第二項ノ規定ニ依リ全國購買販賣組合聯合會ガ政府ニ賣渡ス場合ニ於ケル最高販賣價格ハ三ニ掲グル價格ニ六〇疋當四十錢ヲ加算シタル額トス

前項ノ最高販賣價格ハ政府ガ買入代價ヲ證券ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ前項ノ額ニ證券發行ノ日ヨリ償還ノ日迄ノ金利ニ相當スル金額ヲ加算シタル額トス

六 本表ニ掲グル價格ハ小賣ヲ爲ス場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

七 移出検査ニ合格シタル一等乃至五等精米ノ最高販賣價格ハ一乃至五ニ掲グル移出検査ノ合格精米ノ最高販賣價格トシ等外精米ノ最高販賣價格ハ一乃至五ニ掲グル移出検査ノ格外精米ノ最高販賣價格トス

生産検査ニ合格シタル一等乃至四等（甲、乙、丙、丁）精米ノ最高販賣價格ハ一乃至五ニ掲グル生産検査ノ合格精米ノ最高販賣價格トシ、等外精米ノ最高販賣價格ハ一乃至五ニ掲グル生産検査ノ格外精米ノ最高販賣價格トス

價格等統制令第七條ノ規定ニ依ル白米ノ小賣價格

(昭和十四年十一月六日
商工省告示第三百十四號)

白米小賣價格 (十四匁當)

府縣名	一等級	二等級	三等級	四等級	五等級
東京府	四・七五	四・六五	四・五五	四・四五	四・三五
神奈川縣	四・七五	四・六五	四・五五	四・四五	四・三五
愛知縣	四・七五	四・六五	四・五五	四・四五	四・三五
京都府	四・七五	四・六五	四・五五	四・四五	四・三五
大阪府	四・七五	四・六五	四・五五	四・四五	四・三五
兵庫縣	四・七五	四・六五	四・五五	四・四五	四・三五
福岡縣	四・七五	四・六五	四・五五	四・四五	四・三五

- 一 本表ニ掲グル價格ハ店先渡價格又ハ持込價格トス
- 二 本表ニ掲グル價格ハ地方長官特ニ價格ヲ定メタル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ
- 三 胚芽米ハ一等級ノ價格ニ依ルモノトシ七分搗米ハ各等級共十錢下ゲトス

米穀自治管理法

(昭和十一年五月二十八日
法律第二十二號)

沿革(昭和十六年三月六日
法律第三十五號改正)

- 第一條 本法ハ内地、朝鮮及臺灣ヲ通ズル過剩米穀ヲ統制スル爲内地、朝鮮及臺灣ニ於テ米穀ノ自治管理ヲ行ハシムルコトヲ目的トス
- 第二條 米穀生産者、土地ニ付權利ヲ有スル者ニシテ米穀ヲ小作料トシテ受クルモノ及命令ヲ以テ指定スル之ニ準ズル者ハ米穀統制組合ヲ設立スルコトヲ得
- 第三條 米穀統制組合ハ法人トシ第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目的トス
- 第四條 米穀統制組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ニ限り之ヲ行フモノトス
 - 一 第四十三條(第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ組合ニ於テ統制スヘキ米穀ノ數量ヲ組合員ニ對シ割當ツルコト
 - 二 組合ニ於テ統制スベキ米穀ヲ貯藏スルコト
 - 三 前號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付組合員ニ資金ノ融通又ハ其ノ斡旋ヲ爲スコト
 - 四 第四十九條、第五十條(第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)又ハ第五十七條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣渡ヲ爲スコト
 - 五 貯藏米穀ノ倉庫證券ヲ發行スルコト
 - 六 第二號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ貯藏ヲ解除シタルモノヲ委託ヲ受ケ販賣又ハ保管シ其ノ他米穀ノ自治管理ニ附帶シ必要ナル行爲ヲ爲スコト

前項第五號ノ倉庫證券及其ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 米穀統制組合ノ地區ハ内地ニ在リテハ市町村、朝鮮ニ在リテハ府郡島、臺灣ニ在リテハ廳又ハ郡市ノ區域ニ依ル

特別ノ事情アルトキハ米穀統制組合ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外市町村等ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル米穀統制組合ノ地區モ亦之ニ應ジテ増減アリタルモノトス

第六條 米穀統制組合ノ名稱中ニハ米穀統制組合ナル文字ヲ用フベシ

本法ニ依リ設立シタル米穀統制組合ニ非ザレバ其ノ名稱中ニ米穀統制組合タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第七條 米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ第二條ニ掲グル者ヲ以テ其ノ組合員トス

第八條 米穀統制組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第九條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ區域ヲ指定シ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ米穀統制組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

設立ヲ命ゼラレタル者命令ノ定ムル期間内ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ行政官廳ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十條 米穀統制組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ前條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

前項ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ遲滯ナク組合設立ノ旨竝ニ組合長及副組合長ノ住所及氏名ヲ告示スベシ

第十一條 米穀統制組合成立シタルトキハ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合員トス

第二條ニ該當スル者ニシテ第七條ノ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員タル資格ヲ有セザルモノハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ米穀統制組合ニ加入スルコトヲ得

第十二條 米穀統制組合ニ總代會ヲ置ク

總代會ハ組合長、副組合長及總代ヲ以テ之ヲ組織ス

第十三條 米穀統制組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員中ヨリ總代ヲ選舉スベシ

第十四條 左ニ掲グル事項ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

一 收支豫算

二 經費ノ分賦收入方法

三 事業報告及收支決算

四 借入金

五 定款ノ變更

六 第三十七條ニ於テ準用スル第八條ノ同意

七 第四十三條(第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ割當

前項第一號、第二號、第四號及第五號ニ掲グル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十五條 定款ノ變更ハ總代會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

定款ノ變更ガ地區ノ増減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入セラレ又ハ削除セラルベキ區域内ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十六條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外總代會及役員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 特別ノ事情アル米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ設ケズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第十八條 米穀統制組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長 一人

副組合長 一人

評議員 數人

役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合長及副組合長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ

役員ノ選任及解任ハ總代會ニ於テ之ヲ行フ

役員ノ解任竝ニ第二項但書ノ規定ニ依ル組合長及副組合長ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

組合長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官廳ハ總代ヲ指定シ組合長ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

組合長及副組合長ノ選任及退任ハ第四項及第二十六條ノ場合ヲ除クノ外其ノ旨ヲ行政官廳ニ届出ヅベシ

行政官廳第四項ノ認可、第五項ノ指定若ハ第二十六條ノ解任ヲ爲シ又ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ告示スベシ

第十九條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應ジ竝ニ組合ノ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十條 總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外組合長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ組合長ハ次ノ總代會ニ之ヲ報告スベシ

第二十一條 米穀統制組合ハ第十八條ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ職員ヲ置クコトヲ得

前項ノ職員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

米穀統制組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ組合長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ米穀統制組合ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

市町村ガ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セズ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セザルトキハ組合長ハ行政官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第一百一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

朝鮮及臺灣ニ於ケル米穀統制組合ノ經費及過怠金ノ分賦徵收、滯納處分、先取特權ノ順位及時効ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依ル

經費ノ分賦及過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟（朝鮮ニ在リテハ異議ノ申立、臺灣ニ在リテハ異議ノ申立及訴願ニ限ル）ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十四條 使用料及手数料ノ徵收、米穀ノ寄託其ノ他米穀統制組合ト組合員トノ間ニ於ケル權利義務ニ關シテハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

務ニ關シテハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條 行政官廳ハ米穀統制組合ニ對シ組合ノ事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、組合ノ業務執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ、定款、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 行政官廳ハ米穀統制組合ノ決議若ハ選舉又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議、選舉若ハ當選ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、總代ノ改選ヲ命ジ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條 米穀統制組合解散又ハ合併ヲ爲サントスルトキハ總代會ノ議決ヲ經且其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得尙合併ノ場合ニ在リテハ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

米穀統制組合分割ヲ爲サントスルトキハ前項ノ規定ニ準ズル議決及同意ノ外分割ノ各組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條及第十五條第一項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外解散、合併又ハ分割ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 米穀ヲ取扱フ販賣組合（以下米穀販賣組合ト稱ス）ノ存スル市町村ニ於テ特別ノ事情ア

ルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合ノ事業ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀販賣組合ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ナキ市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農會ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

朝鮮及臺灣ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ヲ取扱フ産業組合又ハ農會ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第二十九條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ團體員ニ非ズシテ其ノ區域内ニ於テ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體員ニ準ジ第四條第一項ニ掲グル事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第四條第一項ニ掲グル事業ヲ行フ團體ハ前項ニ規定スル者ヨリ團體員ノ例ニ準ジ使用料及手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第三十條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲ス場合ニ於テハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

米穀統制組合ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル前項ノ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三十一條 米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ハ團體相互ノ聯絡ヲ圖リ米穀ノ自治管理ヲ行フ目的ヲ以テ地方米穀統制組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

第三十二條 地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第三十三條 地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依ル

第三十四條 地方米穀統制組合聯合會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十五條 地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ

第三十六條 地方米穀統制組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 副會長 一人又ハ二人
- 評議員 數人

役員ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ

前項但書ノ規定ニ依ル會長及副會長ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十七條 第四條第一項、第六條、第八條乃至第十條、第十一條第一項、第十四條乃至第十六條、

第十八條第三項乃至第七項、第十九條乃至第二十一條、第二十二條第一項及第二十三條乃至第二十

六條ノ規定並ニ第二十七條中解散ニ關スル規定ハ地方米穀統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十八條 勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ道府縣ヲ區域トスル米穀ヲ取扱フ販賣組合

聯合會（以下道府縣米穀販賣組合聯合會ト稱ス）ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フコトヲ得
 第三十九條 地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ハ其ノ區域内ニ於ケル
 米穀統制組合及所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ所屬組合ニ準ジ第三十七
 條ニ於テ準用スル第四條第一項ニ掲グル事業ヲ行フコトヲ得

第四十條 地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會第四十三條ノ規定（第五
 十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲ス場合ニ於テハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ
 經ルコトヲ要ス

第三十條第二項ノ規定ハ前項ノ團體ニ之ヲ準用ス

前條ニ規定スル米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ代表者ヲ第一項ノ
 總會又ハ總代會ニ出席セシメ表決權ヲ行使セシムルコトヲ得

第四十一條 政府ハ每年内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジ米穀需給推算ヲ行ヒ米穀ノ供給過剩ナリト認ムルト
 キハ其ノ過剩數量ノ範圍内ニ於テ定ムル一定數量ノ米穀ヲ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムルコ
 トヲ得

前項ノ米穀需給推算ノ方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ一定數量ノ内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ内地、朝鮮及臺灣
 ノ米穀管外移出數量ノ増加趨勢ノ外ニ米穀管外移出數量、米穀收穫ノ豊凶等ヲモ參酌シテ之ヲ定ム

第四十條 削除

第四十三條

政府ハ第四十一條ノ規定ニ依リ内地、朝鮮及臺灣ニ付定マリタル數量ヲ各内地、朝鮮及
 臺灣ニ於ケル地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ニ對シ割當テ
 其ノ米穀ニ付統制ヲ命ジ、地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會
 ハ其ノ割當テラレタル數量ヲ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ割當ツルコトヲ要ス
 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ割當テラレタル數量ヲ團體員及第二十九條ニ規定スル
 者ニ對シ割當ツルコトヲ要ス

朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムベキ米穀ノ數量ノ割當ニ付テハ前二項ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ特例ヲ
 設クルコトヲ得

第四十四條

地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ
 團體前條ノ規定ニ依ル割當ヲ爲サザル場合ニ於テハ政府ハ之ニ代リ割當ヲ爲スコトヲ得

第四十五條

前二條ノ割當ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條

米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ割當テラレタル數量ノ米穀ヲ貯藏スルコト
 ヲ要ス但シ其ノ貯藏ヲ解除シタルモノ及第四十九條又ハ第五十條ノ規定ニ依リ政府ノ買入ヲ爲シタ
 ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條

米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ團體員ハ第四十三條又ハ第四十四條ノ規定ニ依
 リ割當テラレタル數量ノ米穀ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ寄託
 スルコトヲ要ス第二十九條ニ規定スル者ニ付亦同ジ

第四十八條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除クノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條 政府ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏困難ナリト認ムルモノニ付當該團體ヨリ賣渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ内地ニ在リテハ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮及臺灣ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生產費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ當該米穀年度ヲ越ユルモ其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 勅令ヲ以テ指定スル地ニ於ケル米穀取扱業者ハ米穀商統制組合ヲ設立スルコトヲ得

前項ノ米穀取扱業者ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條 米穀商統制組合ハ法人トシ第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目的トス

第五十三條 第四條第一項、第六條及第八條乃至第二十七條ノ規定ハ米穀商統制組合ニ之ヲ準用ス

第五十四條 勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀取扱業者ノ組織スル商業組合又ハ重要物産同業組合法若ハ朝鮮重要物産同業組合令ニ依ル同業組合ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀商統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第二十九條及第三十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ハ第四十一條ノ統制ヲ爲スモ米穀ノ供給過剩ニシテ米價ガ米穀統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最低價格ヲ下ラントスル虞アリト認ムルトキハ一定數量ノ米穀ヲ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムルコトヲ得

第五十六條 前條ノ場合ニ於テハ政府ハ各内地、朝鮮及臺灣ニ於ケル地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ前條ノ一定數量ヲ割當テ其ノ米穀ニ付統制ヲ命ズ

第四十三條乃至第四十八條及第五十條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ統制ヲ命ゼラレタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 政府ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ前條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏困難ナリト認ムルモノニ付當該團體ヨリ賣渡シノ申込アリタル場合ニ於テハ買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ内地米ニ在リテハ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮米又ハ臺灣米ニ在リテハ勅令ノ定ムル一定價格以內ニ於テ時價ニ準據シテ定メタル價格トス

第五十八條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第十二條、第十八條、第十九條及第三十六條ノ規定（第三十七條又

ハ第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第五十九條 地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキ亦同ジ

第六十條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第六十一條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體第四十六條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキハ其ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ組合又ハ團體第四十八條第一項ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキ亦前項ニ同ジ

第六十二條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員、第二十一條ノ職員、總代、議員、組合員又ハ代議員本法ニ依ル割當又ハ貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキ

ハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十三條 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第六十四條 第四十九條、第五十條（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）及第五十七條ノ規定ニ依ル米穀ノ買入ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム （昭和十一年勅令第三百二十四號ヲ以テ）
（昭和十一年九月二十日ヨリ施行）

第四十一條第一項ニ規定スル一定數量ノ内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ當分ノ内同條第三項ノ規定ニ拘ラズ内地百分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣百分ノ二十二トス但シ政府ハ内地、朝鮮及臺灣ニ於ケル米穀收穫ノ豊凶等ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ妨グズ

參照

委員會等ノ整理等ニ關スル法律（昭和十六年三月六日）
法律第三十五號抄錄

第一條 米穀自治管理法中左ノ通改正ス

第四十二條 削除

第五十五條及附則第二項中「米穀自治管理委員會ニ諮問シテ」ヲ削ル

附 則

第三十七條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

委員會等ノ整理等ニ關スル法律ノ一部施行期日(昭和十六年九月二十日)
(勅令第八百七十二號)

昭和十六年法律第三十五號第一條、第七條乃至第十一條、第十四條及第三十九條ノ規定ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

米穀自治管理法施行令

(昭和十一年九月十六日)
(勅令第三百二十五號)
(昭和十六年十月一日)
(勅令第八百九十號改正)

第一條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法第四條第一項第五號ノ倉庫證券(自治管理倉庫證券)ヲ發行セントスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第二條 前條ノ認可ヲ受ケタル米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ寄託者ノ請求ニ依リ寄託物ノ自治管理倉庫證券ヲ交付スルコトヲ要ス

商法第三百八十三條ノ二第二項及第三百八十三條ノ三ノ規定ハ自治管理倉庫證券ニ之ヲ準用ス

第三條 自治管理倉庫證券ニハ左ノ事項及番號ヲ記載シ發行者之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

- 一 自治管理倉庫證券ナル文字
- 二 寄託ヲ受ケタル米穀ノ種類、銘柄、等級、數量並ニ其ノ荷造ノ種類、個數及記號
- 三 寄託者ノ氏名又ハ名稱
- 四 保管ノ場所
- 五 第二十一條ノ規定ニ依リ受寄物ヲ再保管セシメタルトキハ再保管者ノ氏名又ハ名稱

六 保管料ヲ徵收スルトキハ其ノ保管料

七 受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ其ノ保險金額、保險期間及保險者ノ商號

八 證券ノ作成地及作成ノ年月日

第四條 自治管理倉庫證券ハ記名式ナルコトヲ要ス

自治管理倉庫證券ノ所持人ハ證券ノ發行者ノ承諾アルニ非ザレバ之ヲ讓渡又ハ質入スルコトヲ得ズ

前項ノ承諾ヲ爲シタル發行者ハ證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條 商法第三百七十五條第一項、第三百七十六條及第三百八十一條乃至第三百八十三條ノ規定ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ自治管理倉庫證券ヲ發行シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六條 自治管理倉庫證券ノ所持人ハ其ノ米穀ニ付米穀自治管理法第四十八條ノ規定(同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル貯藏ノ解除アリタルトキハ證券ノ發行者ニ對シ其ノ證券ニ貯藏ノ解除アリタル旨ノ記載ヲ請求スルコトヲ得

自治管理倉庫證券ノ所持人證券ニ前項ノ記載ヲ受ケタルトキハ第四條第二項ノ承諾ヲ得ズシテ之ヲ讓渡又ハ質入スルコトヲ得

第七條 地方長官ハ米穀販賣組合ニシテ其ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ノ二分ノ一以上ヲ其ノ組合員トスルモノニ限り米穀自治管理法第二十八條第一項ノ規定ニ依ル許

可ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ハ地方ノ事情及其ノ組合ノ事業ノ狀況等ヲ參酌シテ之ヲ爲スベシ

地方長官ハ市農會又ハ町村農會ニ對シ其ノ市町村ニ於テ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ナキ場合ニ限り米穀自治管理法第二十八條第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ爲スコトヲ得

第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 前條ノ許可ヲ受ケタル團體ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ米穀統制組合ノ事業ヲ休止又ハ廢止スルコトヲ得ズ

第九條 地方長官ハ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ其ノ事業ニ關スル決議若ハ役員ノ行爲又ハ第十條ノ規定(第三十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル總代ノ選舉ガ法令、定款若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議又ハ總代ノ選舉若ハ當選ヲ取消シ、改選ヲ命ジ又ハ其ノ事業ヲ停止スルコトヲ得

地方長官公益上必要アリト認ムルトキハ第七條ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ其ノ事業ニ關スル左ニ掲グル事項ハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 事業報告及收支決算

四 借入金(一時借入金ヲ除ク)

五 米穀自治管理法第三十七條ニ於テ準用スル同法第八條ノ同意

前項第一號、第二號及第四號ニ掲グル事項ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第一項各號ニ掲グル事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總會若ハ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ定款又ハ會則ノ定ムル所ニ依リ理事又ハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ理事又ハ會長ハ次ノ總會又ハ總代會ニ之ヲ報告スベシ

第十一條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ其ノ事業ニ關スル收入支出ハ他ノ事業ニ關スル會計ト區分シ之ヲ經理スベシ

第十二條 米穀自治管理法第三十條第一項ノ總會ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者
- 二 米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者
- 三 地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十三條 米穀自治管理法第三十條第一項ノ總代會ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ヨリ選出シタル總代

二 米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者ヨリ選出シタル總代

三 地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十四條 朝鮮及臺灣ニ於テ米穀ヲ取扱フ産業組合又ハ農會米穀統制組合ノ事業ヲ行フ場合ニ付テハ第七條第一項第二項及第八條乃至前條ノ規定ニ準ジ朝鮮總督及臺灣總督ノ定ムル所ニ依ル

第十五條 地方長官ハ道府縣米穀販賣組合聯合會ニシテ其ノ所屬組合中米穀統制組合ノ事業ヲ行フ組合ガ其ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ノ二分ノ一以上ニ達スルモノニ限り米穀自治管理法第三十八條ノ規定ニ依ル許可ヲ爲スコトヲ得

特別ノ事情アルトキハ地方長官ハ前項ノ規定ニ拘ラズ農林大臣ノ認可ヲ得テ米穀自治管理法第三十八條ノ規定ニ依ル許可ヲ爲スコトヲ得

第七條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 第八條及第九條ノ規定ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ團體ニ之ヲ準用ス

第十七條 米穀自治管理法第四十條第一項ノ總會ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一 所屬組合ニシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ノ代表者

二 其ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者

三 農林大臣ニ於テ任命シタル特別議員

第十八條 米穀自治管理法第四十條第一項ノ總代會ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一 所屬組合ニシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ノ代表者ヨリ選出シタル總代

二 其ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者ヨリ選出シタル總代

三 農林大臣ニ於テ任命シタル特別議員

第十九條 米穀自治管理法第四十一條第一項ノ米穀需給推算ハ每年内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジ米穀豫想收穫高（臺灣ノ第一期作ニ付テハ推定高）、十一月一日ノ米穀現在高、過去ノ消費狀況ヲ參酌シタル米穀消費見込高及次ノ米穀年度ニ持越サルルヲ適當ト認ムル米穀ノ數量ヲ基準トシテ之ヲ行フ

第二十條 朝鮮總督又ハ臺灣總督ハ地方米穀統制組合聯合會ナキトキハ統制セシムベキ米穀ノ數量ヲ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ直接割當ツルコトヲ得

第二十一條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ米穀自治管理法第四十七條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ寄託ヲ受ケ貯藏スベキ米穀ヲ其ノ責任ヲ以テ再保管セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ再保管ヲ爲スコトヲ得ル者ハ命令ヲ以テ定ムル者ニ限ル
再保管ノ目的タル米穀ニ付發行セラレタル倉庫證券アル場合ニ於テハ當該倉庫證券ヲ發行シタル者ニ之ヲ返還シタル後ニ非ザレバ自治管理倉庫證券ノ發行ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十二條 米穀自治管理法第四十七條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ寄託ヲ受ケ貯藏スベキ米穀ハ他ノ米穀ト區分シ之ヲ保管スベシ

第二十三條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ三ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ米穀自治管理法第四十六條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付第一號乃至第三號ノ場合ニ在リテハ農林大臣、朝鮮總督又ハ臺灣總督、第四號ノ場合ニ在リテハ地方長官ノ許可ヲ受ケ其ノ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得

一 米穀統制法施行令第十二條但書ノ平均價格ガ同令第二條ノ標準最低價格ノ上値一割ニ相當スル價格以上ニ在ルトキ

二 貯藏ヲ開始シタル米穀年度ヲ越エタルトキ

三 災害、事變其ノ他避クベカラザル事由アル場合ニ於テ特ニ必要アルトキ

四 損傷シタル米穀ニシテ處分ヲ要スルモノアルトキ

第二十四條 農林大臣、朝鮮總督又ハ臺灣總督前條第一號又ハ第二號ニ該當スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ米穀自治管理法第四十六條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ於テ貯藏シタル米穀ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第二十五條 米穀自治管理法第四十九條第二項ノ規定ニ依ル朝鮮又ハ臺灣ニ於ケル買入價格ハ朝鮮米又ハ臺灣米ノ生産費、運賃諸掛及米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ヲ參酌シテ之ヲ定ム但シ其ノ價格ハ米穀統制法施行令第二條ノ標準最低價格ヨリ内地米トノ格差及運賃諸掛等ニ相

當スル額ヲ控除シタル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十六條 米穀自治管理法第五十條第一項（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ買入價格ハ同法第四十九條第二項（同法第五十條第一項適用ノ場合）又ハ第五十七條第二項（同法第五十條第一項準用ノ場合）ノ買入價格ヨリ古米格ニ付爲シタル補償額ヲ控除シタル額トス但シ古米格ニ付補償ヲ爲サザル場合ニ於テハ米穀自治管理法第四十九條第二項又ハ第五十七條第二項ノ買入價格ヲ以テ其ノ買入價格トス

第二十七條 米穀自治管理法第五十一條第一項ノ規定ニ依ル米穀取扱業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定數量ノ米穀ヲ取扱フ卸賣商（問屋ヲ含ム）ニ限ル

第二十八條 米穀自治管理法第五十五條ノ規定ニ依リ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ米穀ノ統制ヲ命ズルコトヲ得ルハ米穀統制法施行令第十二條第一項但書ノ平均價格ガ同令第二條ノ標準最低價格ヲ下ラントスル虞アリト認ムルトキニ限ル

前項ノ場合ニ於ケル内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ米穀自治管理法附則第二項ノ規定ニ依リ定マリタル割合、米穀生産高、米穀管外移出高、米穀消費見込高其ノ他ノ米穀事情ヲ參酌シ之ヲ定ム

第二十九條 米穀自治管理法第五十七條第二項ノ規定ニ依ル朝鮮米又ハ臺灣米ノ買入價格ハ米穀統制法施行令第二條ノ標準最低價格、内地米トノ格差、運賃諸掛等ヲ參酌シテ農林大臣ノ定ムル價格ノ範圍内ニ於テ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第三十條 第七條乃至第十四條ノ規定ハ米穀商統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ之ヲ準用ス

第三十一條 米穀統制組合又ハ米穀商統制組合ノ經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ米穀統制組合又ハ米穀商統制組合ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ内地及臺灣ニ在リテハ其ノ組合ノ組合長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ遲滯ナク決定ヲ爲シ朝鮮ニ在リテハ其ノ組合ノ組合長ノ申請ニ依リ地方長官遲滯ナク決定ヲ爲スベシ
前項ノ決定アリタルトキハ其ノ組合ノ組合長ハ直ニ異議申立人ニ之ヲ通知スベシ

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内地及臺灣ニ在リテハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内地ニ在リテハ農林大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴シ、臺灣ニ在リテハ臺灣總督ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ地方長官ニ訴願セントスルトキハ其ノ決定ヲ爲シタル米穀統制組合又ハ米穀商統制組合ヲ經由スベシ

第三十三條 米穀自治管理法第二十二條第二項又ハ第三項ノ規定（同法第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

米穀自治管理法第二十二條第三項ノ規定ニ依ル處分ニ付地方長官ニ訴願セントスルトキハ其ノ處分ヲ爲シタル米穀統制組合又ハ米穀商統制組合ヲ經由スベシ

第三十四條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ團體員（米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル

者ヲ含ム）又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ團體員（米穀自治管理法第五十四條第二項ニ於テ準用スル同法第二十九條ニ規定スル者ヲ含ム）ニシテ米穀自治管理法第四十三條第二項ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ内地及臺灣ニ在リテハ其ノ團體ノ代表者ハ評議員又ハ定款ノ定ムル機關ノ意見ヲ徵シ遲滯ナク決定ヲ爲シ朝鮮ニ在リテハ其ノ團體ノ代表者ノ申請ニ依リ地方長官遲滯ナク決定ヲ爲スベシ

前項ノ決定アリタルトキハ其ノ團體ノ代表者ハ直ニ異議申立人ニ之ヲ通知スベシ

第三十五條 内地及臺灣ニ在リテハ前條ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ訴願セントスルトキハ其ノ決定ヲ爲シタル米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ヲ經由スベシ

第三十六條 異議ノ申立又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ但シ第三十四條第一項ノ規定ニ依ル異議ノ申立ハ處分ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ起算シ七日以内ニ之ヲ爲スベシ

異議ノ申立ニ關シテハ訴願法第五條、第八條第三項、第九條、第十條及第十二條乃至第十四條ノ規

定ヲ準用ス但シ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

附則

本令ハ米穀自治管理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

(昭和十六年十月一日)
勅令第八百九十號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀自治管理法施行規則

(昭和十一年九月十六日)
農林省令第二十五號)

第一條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ貯藏米穀保管ニ關スル規程ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ

受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

前項ノ規程ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

- 一 保管料ニ關スル事項
- 二 保管期間ニ關スル事項
- 三 入庫及出庫ニ關スル事項
- 四 證券ヲ發行スル場合ニ在リテハ證券發行ニ關スル事項
- 五 保險ニ關スル事項

第二條 自治管理倉庫證券發行ノ認可申請書ニハ定款又ハ會則及前條ノ保管ニ關スル規程ノ外左ノ事

項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

- 一 申請ノ理由
- 二 倉庫ノ所在地
- 三 倉庫ノ棟數、建坪、構造及收容力
- 四 倉庫及敷地ノ使用ノ權利ニ關スル事項
- 五 附屬ノ設備ニ關スル事項

前項第二號及第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第三條 市町村ノ廢置分合又ハ之ニ伴フ境界變更アリタル場合ニ於テハ米穀自治管理法第五條第一項

ノ區域ノ増減ニ拘ラズ其ノ區域ヲ地區トスル米穀統制組合ノ地區ハ之ニ應ジテ増減スルコトナシ

第四條 米穀統制組合ハ左ニ掲グル者ヲ以テ其ノ組合員トス但シ地方長官地方ノ狀況ニ依リ必要アリ

ト認ムルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケテ區域ヲ定メ第一號乃至第五號ノ組合員タル資格ヲ變更スルコトヲ得

- 一 其ノ地區内ニ於テ水稻田五段歩以上ヲ自作スル者
- 二 其ノ地區内ニ於テ水稻田一町歩以上ヲ小作スル者
- 三 其ノ地區内ニ於ケル水稻田一町歩以上ニ付權利ヲ有シ米穀ヲ小作料トシテ受クル者
- 四 其ノ地區内ニ於テ水稻田ヲ自作及小作スル者ニシテ其ノ自作スル面積ノ二倍ニ相當スル面積ト其ノ小作スル面積トノ合計ガ一町歩以上ニ達スルモノ

五 其ノ地區内ニ於テ水稻田ヲ自作若ハ小作シ又ハ水稻田ヲ自作及小作スル者ニシテ其ノ地區内ニ於ケル水稻田ニ付權利ヲ有シ米穀ヲ小作料トシテ受クルモノノ中其ノ水稻田ノ面積ノ合計ガ一町歩以上ニ達スルモノ但シ自作スル面積ニ付テハ其ノ二倍ニ相當スル面積ヲ以テ計算ス

六 前各號ニ掲グル者ニ準ズルモノトシテ農林大臣ノ認可ヲ受ケテ地方長官ノ指定シタルモノ

地方長官前項但書ノ規定ニ依ル變更ヲ爲シタルトキ又ハ前項第六號ノ指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示スベシ

第五條 米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ニ居住セザル組合員ヲシテ其ノ地區内ニ代理人ヲ設ケシムルコトヲ得

米穀統制組合ハ前項ノ代理人ニ對スル通知ヲ以テ本人ニ對スル通知ニ代フルコトヲ得

第六條 米穀統制組合ヲ設立セントスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル者發起人ト爲リ他ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ地區、創立費用、收支概算及經費ノ分賦收入方法ノ概要ヲ通知シ設立ノ同意ヲ求ムベシ

第七條 創立總會ハ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ヲ以テ之ヲ組織ス

第八條 發起人創立總會ヲ招集セントスルトキハ少クモ十四日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ組合員タル資格ヲ有スル者ニ通知シ且之ヲ公告スベシ

第九條 創立總會ノ議事ハ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非ザレバ之ヲ議定スルコトヲ得ズ

創立總會ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ハ他ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スベシ

創立總會ノ議長ハ出席者中ヨリ之ヲ互選スベシ

第三十二條ノ規定ハ創立總會ニ付之ヲ準用ス

第十條 米穀統制組合ノ負擔ニ歸スベキ創立費用及其ノ償却方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ベシ

第十一條 創立總會終了シタルトキハ發起人ハ遲滞ナク設立認可申請書ヲ地方長官ニ差出スベシ

前項ノ認可申請書ニハ定款、設立ニ付法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面、創立費用ノ明細書及議事録ノ謄本ヲ添附スベシ

米穀自治管理法第五條第二項ノ場合ニ於テハ前項ニ掲グルモノノ外其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第十二條 地方長官米穀統制組合ノ設立ヲ命ジタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ告示スベシ

一 地 區

二 創立委員ノ氏名及住所

第十三條 創立委員ハ組合員タル資格ヲ有スル者ニ創立費用、收支概算及經費ノ分賦收入方法ノ概要ヲ通知シ遲滞ナク創立總會ヲ招集シ前條ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ設立認可申請書ヲ地方長官ニ差出スベシ

第七條乃至第十一條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 米穀統制組合ノ定款ニハ米穀自治管理法及同法ニ基キテ發スル命令ニ規定スルモノヲ除クノ外左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 目的
 - 二 名稱
 - 三 地區
 - 四 事務所ノ所在地
 - 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
 - 六 總代及總代會ニ關スル規定
 - 七 役員ニ關スル規定
 - 八 會計ニ關スル規定
- 第十五條 米穀統制組合設立當時ノ役員ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ
- 第十六條 米穀統制組合ハ組合員名簿ヲ調製シ之ヲ事務所ニ備ヘ置クベシ
- 前項ノ組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 組合員ノ氏名及住所
 - 二 組合員タル資格
 - 三 代理人ノ氏名及住所

第十七條 米穀自治管理法第十一條第二項ノ規定ニ依リ米穀統制組合ニ加入シタル者ハ總代會ノ承認ヲ經ルニ非ザレバ組合ヨリ脱退スルコトヲ得ズ

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ米穀統制組合ノ總代タルコトヲ得ズ

- 一 禁治產者又ハ準禁治產者
- 二 破產者ニシテ復權ヲ得ザル者
- 三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第十九條 總代ノ選舉ニ關スル事務ハ組合長之ヲ管理ス

選舉ハ單記無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第二十條 總代ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ選出スベキ總代ノ定數ヲ以テ其ノ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ組合長又ハ其ノ指名シタル者抽籤シテ當選者ヲ定ムベシ

第二十一條 前二條ニ規定スルモノヲ除ク外總代ノ選舉ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第二十二條 總代ノ選舉法令又ハ定款ニ違反シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ選舉人ハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ當選決定ノ日ヨリ三十日以内ニ選舉又ハ當選ノ取消ヲ地方長官ニ申立ツルコトヲ得

選舉人前項ノ申立ヲ爲ストキハ米穀統制組合ヲ經由シテ申立書ヲ地方長官ニ差出スベシ此ノ場合ニ於テハ米穀統制組合ハ意見ヲ附シ七日以内ニ地方長官ニ之ヲ進達スベシ

總代ハ選舉又ハ當選ノ取消アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第二十三條 選舉ノ取消アリタルトキハ米穀統制組合ハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

當選ノ取消アリタルトキハ組合長ハ直ニ第二十條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムベシ

第二十四條 總代ノ任期ハ定款ノ定ムル所ニ依リ事業年度ニ從ヒ四年以内トス但シ補闕ノ總代ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル總代ノ任期ハ他ノ總代ノ殘任期間トス

第二十五條 總代會ハ組合長之ヲ招集ス

總代會ヲ組織スル者ハ其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總代會ヲ招集ヲ請求スルコトヲ得

組合長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以内ニ總代會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依リ總代會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ地方長官ハ總代ヲ指定シテ總代會ヲ招集セシムルコトヲ得

第二十六條 總代會ヲ招集スルニハ少クトモ七日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總代會ヲ組織スル者ニ通知スベシ

前項ノ期間ハ定款ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十七條 總代會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十八條 總代會ノ議長ハ組合長、組合長事故アルトキハ副組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長及副組合長共ニ事故アルトキ又ハ第二十五條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十九條 總代會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ同一ノ事項ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タザルトキ又ハ招集ニ應ズルモ出席者定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十條 總代會ノ議事ハ米穀自治管理法及同法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可符同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十一條 總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ定款ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ其ノ總代會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總代會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第三十二條 總代會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スベシ

- 一 開會ノ日時及場所
 - 二 總代會ヲ組織スル者ノ定數及員數
 - 三 出席者ノ員數
 - 四 議事ノ要領
 - 五 議決シタル事項及賛否ノ數
- 第三十三條 米穀統制組合ノ事業年度ハ前年ノ十一月一日ヨリ其ノ年ノ十月三十一日迄トス
- 第三十四條 米穀統制組合ノ經費ノ賦課ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員割及貯藏米穀ノ石數割ニ依ルベシ但シ貯藏ヲ爲サザル年度ニ於テハ組合員割ノミニ依ルコトヲ得
- 前項ノ組合員割ハ一人ニ付金五十錢以内トス但シ地方長官ノ認可ヲ受ケ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得
- 第三十五條 米穀統制組合ノ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ認可申請書ハ毎年十月二十日迄ニ之ヲ地方長官ニ差出スベシ但シ設立ノ認可ヲ受ケタル年度ニ於テハ總代會ノ議決ヲ經タル後遲滞ナク之ヲ差出スベシ
- 第三十六條 米穀統制組合ノ定款、收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ變更竝ニ借入金ノ認可申請書ニハ理由書ヲ添附スベシ尙借入金ノ認可申請書ニハ利率、期間、借入先及償還ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ
- 第三十七條 事業報告及收支決算ハ次ノ事業年度内ニ總代會ノ承認ヲ受ケ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ差

出スベシ

- 前項ノ書類ニハ當該事業年度末日現在ニ依リ調製シタル財産目錄ヲ添附スベシ
- 第三十八條 米穀自治管理法第十八條第四項ノ規定ニ依ル組合長及副組合長ノ選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附スベシ
- 第三十九條 第十八條ノ規定ハ米穀統制組合ノ役員ニ之ヲ準用ス
- 第四十條 役員ノ選任ハ投票ニ依リ之ヲ行フ第十九條乃至第二十三條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 總代會ハ出席者中異議ナキトキハ前項ノ選任ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得
- 指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者トスベキヤ否ヲ會議ニ付シ出席者全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス
- 第四十一條 第二十四條ノ規定ハ米穀統制組合ノ役員ノ任期ニ之ヲ準用ス役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス
- 第四十二條 第三十五條及第三十六條ノ規定ハ米穀自治管理法第二十條第一項又ハ米穀自治管理法施行令第十條第三項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス
- 第四十三條 米穀自治管理法第十四條第一項第五號及第七號ニ掲グル事項ハ組合長之ヲ專決處分スルコトヲ得ズ
- 第四十四條 第六條乃至第十條ノ規定ハ米穀統制組合ノ合併又ハ分割ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第四十五條 米穀統制組合分割セントスルトキハ分割ノ各組合ノ權利義務ノ限度ヲ定ムベシ

第四十六條 米穀統制組合ノ解散、合併若ハ分割又ハ地區ノ増減ニ關スル定款變更ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ尙合併ノ場合ニ於テハ合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款ヲ、分割ノ場合ニ於テハ分割ノ各組合ノ定款及其ノ權利義務ノ限度ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第四十七條 合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ設立シタル組合ハ第四十五條ノ規定ニ依リテ定マリタル限度ニ於テ從前ノ組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第四十八條 米穀統制組合ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第四十九條 米穀統制組合解散シタルトキハ組合長及副組合長ヲ以テ其ノ清算人トス但シ定款ニ別段ノ規定アルトキ又ハ總代会ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ地方長官清算人ヲ選任ス清算人闕ケタルトキ亦同ジ

第五十條 清算人ハ米穀統制組合ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算方法及財産處分ニ付テハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第五十一條 地方長官必要ト認ムルトキハ清算方法及財産處分ノ變更ヲ命ジ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第五十二條 清算結了シタルトキハ清算人ハ清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添へ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出

ツベシ

第五十三條 米穀販賣組合又ハ市農會若ハ町村農會ノ米穀自治管理法施行令第七條ノ許可申請書ニハ理由書及定款又ハ會則ノ變更ニ關スル總會又ハ總代会ノ議事録ノ謄本ヲ添附スベシ

第五十四條 地方長官前條ノ團體ニ對シ米穀自治管理法施行令第七條ノ許可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨竝ニ團體ノ名稱、區域、理事又ハ會長及副會長ノ氏名及住所ヲ告示スベシ

前項ノ規定ニ依リ告示シタル事項ニ變更アリタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第五十五條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法施行令第八條ノ規定ニ依リ其ノ事業ノ休止又ハ廢止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ總會又ハ總代会ノ議決ヲ經テ地方長官ニ申請書ヲ差出スベシ

前項ノ許可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代会ノ議事録ノ謄本ヲ添附スベシ

第五十六條 地方長官米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ米穀自治管理法施行令第八條ノ規定ニ依リ其ノ事業ノ休止若ハ廢止ノ許可ヲ爲シ又ハ米穀自治管理法施行令第九條ノ規定ニ依リ其ノ事業ヲ

停止シ若ハ同令第七條ノ許可ノ取消ヲ爲シタル場合ハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第五十七條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ米穀自治管理法ニ關スル事業ニ付テハ米穀統制組合ノ事業年度ニ依ルベシ

第五十八條 米穀自治管理法施行令第十條第一項第四號ノ一時借入金ハ借入ノ日ヨリ一年以内ニ償還スルモノヲ謂フ

第五十九條 第三十五條乃至第三十七條ノ規定ハ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ之ヲ準用ス

第六十條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ米穀自治管理法第四十三條ノ規定(同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル割當ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ但シ其ノ團體ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ガ百人未滿ナル場合又ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ總代會ニ代ヘ總會ノ議決ニ依ルコトヲ得

第六十一條 第十八條乃至第二十四條ノ規定ハ米穀自治管理法第三十條第一項ノ總代會ノ總代ニ關シ之ヲ準用ス

第二十五條乃至第三十二條ノ規定ハ米穀自治管理法第三十條第一項ノ總會又ハ總代會ニ關シ之ヲ準用ス

第六十二條 米穀自治管理法第三十五條ノ規定ニ依リ地方米穀統制組合聯合會ノ議員タルベキ者ハ左ニ掲グルモノトス

- 一 米穀統制組合ノ組合長
 - 二 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ノ理事但シ理事數人アル場合ニ於テハ理事ノ互選シタル者
 - 三 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ市農會又ハ町村農會ノ會長
- 第六十三條 第六條乃至第十六條、第二十五條乃至第四十三條、第四十六條中解散ニ關スル規定及第四十八條乃至第五十二條ノ規定ハ地方米穀統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第六十四條 第五十三條乃至第五十七條ノ規定ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ團體ニ之ヲ準用ス

第六十五條 米穀自治管理法施行令第十七條及同令第十八條ニ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者トアルハ左ニ掲グルモノトス

- 一 米穀統制組合ノ組合長
- 二 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ノ理事但シ理事數人アル場合ニ於テハ理事ノ互選シタル者
- 三 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ市農會又ハ町村農會ノ會長

第六十六條 第六十一條第一項ノ規定ハ米穀自治管理法第四十條第一項ノ總代會ノ總代ニ關シ之ヲ準用ス

第六十一條第二項ノ規定ハ米穀自治管理法第四十條第一項ノ總會又ハ總代會ニ關シ之ヲ準用ス

第六十七條 地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ團體ノ米穀自治管理法第四十三條ノ規定(同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル割當ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ但シ其ノ團體ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ノ數三十未滿ナル場合又ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ總代會ニ代ヘ總會ノ議決ニ依ルコトヲ得

第六十八條 農林大臣米穀自治管理法第四十三條又ハ同法第五十六條ノ規定ニ依ル割當ヲ爲ス場合ハ地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ區域内ニ於ケル米穀ノ販賣高、生産高、區域外

へノ移出高等ヲ參酌スルモノトス

前項ノ販賣高ハ前五箇年中ノ中庸作柄ノ年ニ於ケルモノ、生産高ハ第二回米穀豫想收穫高、區域外へノ移出高ハ前五箇年平均トス

第一項ノ場合ニ於テ農林大臣ハ内地ヲ區域トスル米穀販賣組合聯合會ノ意見ヲ徵スルモノトス

第六十九條 地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法第四十三條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲ス場合ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ區域内ニ於ケル米穀ノ販賣高、生産高等ヲ參酌スベシ
前條第二項ノ規定ハ前項ノ販賣高及生産高ニ之ヲ準用ス

第七十條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ割當テラレタル數量ノ米穀ヲ團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者及米穀自治管理法第二十九條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ同條ニ規定スル者ニ對シ割當ツベシ
定款又ハ會則ニ特別ノ規定アル場合ハ前項ニ規定スルモノノ外團體員ニシテ米穀自治管理法第二條ニ該當スル者ニ對シ其ノ申出ニ依リ割當ヲ爲スコトヲ得

第七十一條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法第四十三條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲ス場合ハ割當ヲ受クベキ者ノ米穀ノ販賣高等ヲ參酌スベシ此ノ場合ニ於テ優先割當ヲ申出ヅルモノアルトキハ先ヅ其ノ者ニ割當ヲ爲スコトヲ得前項ノ割當ハ特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外一人ニ付概四十石ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七十二條 農林大臣米穀自治管理法第五十六條ノ規定ニ依リ米穀商統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ割當ヲ爲ス場合ハ團體員及米穀自治管理法第五十四條第二項ニ於テ準用スル同法第二十九條ニ規定スル者ノ米穀ノ取扱高、手持高等ヲ參酌スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ農林大臣ハ米穀商統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ意見ヲ徵スルモノトス

第七十三條 米穀商統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法第五十六條第二項ニ於テ準用スル同法第四十三條ノ規定ニ依ル割當ヲ爲ス場合ハ割當ヲ受クベキ者ノ米穀ノ取扱高、手持高等ヲ參酌スベシ

第七十一條第一項後段ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十四條 米穀自治管理法第四十四條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ハ地方長官之ヲ行フ

第六十九條乃至第七十一條、第七十三條及第七十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條 地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法第四十三條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル割當ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

第七十六條 米穀自治管理法第四十七條（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ寄託ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ指定スル所ニ從ヒ農林大臣ノ定ムル條件ニ適合スル當該年産ノ水稻粳粳ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ特別ノ

事情アル場合ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ地方長官ノ定ムル所ニ依リ粗ノ二分ノ一ニ相當スル容量ノ當該年産ノ玄米ニシテ米穀統制法施行令第一條第二項ノ規定ニ依リ農林大臣ノ告示スル銘柄等級ノモノヲ以テ粗ニ代フルコトヲ得

第七十七條 米穀自治管理法第四十三條ノ規定(同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依リ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ヨリ割當ヲ受ケタル者前條ノ寄託ヲ爲サザルトキハ地方長官ハ期間ヲ定メテ寄託ヲ爲スコトヲ命ズルコトヲ得

第七十八條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法施行令第二十三條ノ規定ニ依リ米穀ノ貯藏ノ解除ヲ爲サントスルトキハ同條第一號乃至第三號ノ場合ニ在リテハ地方長官ヲ經由シテ農林大臣ニ、第四號ノ場合ニ在リテハ地方長官ニ解除ノ許可ヲ申請スベシ

第七十九條 米穀自治管理法施行令第二十五條ノ買入價格ノ標準トナルベキ價格ノ決定ニ付テハ米穀統制法施行令第二條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第八十條 米穀自治管理法施行令第二十七條ノ卸賣商(問屋ヲ含ム)ハ引續キ最近三箇年以上一定數量ノ米穀ヲ取扱ヒタル者トス

前項ノ數量ハ米穀自治管理法第五十一條ノ規定ニ依リ指定セラレタル地毎ニ農林大臣之ヲ定メ告示ス

第八十一條 本則中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ關スル規定ハ米穀商統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ之ヲ準用ス但シ第七十一條第二項ノ規定ハ此ノ限ニ

在ラズ

第八十二條 左ノ場合ニ於テハ地方長官ハ農林大臣ニ報告スベシ

一 米穀統制組合又ハ米穀商統制組合ノ設立、解散、合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキ

二 地方米穀統制組合聯合會ノ設立又ハ解散ノ認可ヲ爲シタルトキ

三 米穀自治管理法第九條第三項ノ規定(同法第三十七條及第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ

四 米穀自治管理法第二十五條ノ規定(同法第三十七條及第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依リ定款、收支豫算若ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ又ハ米穀自治管理法第二十六條ノ規定(同法第三十七條及第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

五 米穀自治管理法施行令第七條(同令第三十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)又ハ同令第十五條ノ許可ヲ爲シタルトキ

六 米穀統制組合若ハ米穀商統制組合又ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ其ノ事業ノ休止若ハ廢止ノ許可ヲ爲シ又ハ米穀自治管理法施行令第九條(同令第十六條及第三十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ處分ヲ爲シタルトキ

七 米穀自治管理法施行令第十二條第三號又ハ同令第十三條第三號(同令第三十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ特別議員ヲ任命シタルトキ

八 第七十四條ノ規定ニ依リ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事

業ヲ行フ團體ニ對シ割當ヲ爲シタルトキ

九 地方米穀統制組合聯合會ヨリ第七十五條ノ規定ニ依ル届出アリタルトキ

十 米穀自治管理法施行令第二十三條第四號ニ該當スル場合ニ於テ解除ノ許可ヲ爲シタルトキ

附則

本令ハ米穀自治管理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀自治管理法第五十一條第一項ノ規定ニ

依ル地指定ノ件 (昭和十一年九月十六日
農林省令第二十六號)

米穀自治管理法第五十一條第一項ノ規定ニ依リ左ノ地ヲ指定ス

小樽市、酒田市、新潟市、東京市、横濱市、名古屋市、大阪市、京都市、神戸市、廣島市、下關市、門司市及熊本市

附則

本令ハ米穀自治管理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀自治管理法施行規則第八十條ノ數量ニ關スル件

(昭和十一年十月十三日
農林省告示第三百四十八號)

米穀自治管理法施行規則第八十條ノ數量左ノ通定ム

地名	年取扱數量	地名	年取扱數量
小樽市	五千石以上	酒田市	五千石以上
東京市	三萬石以上	横濱市	一萬五千石以上
新潟市	五千石以上	名古屋市	一萬五千石以上
京都市	一萬五千石以上	大阪市	三萬石以上
神戸市	一萬五千石以上	廣島市	五千石以上
下關市	五千石以上	門司市	五千石以上
熊本市	五千石以上		

米穀商統制組合ノ總會ニ關スル件 (昭和十一年十月十三日
農林省令第二十九號)

米穀商統制組合ノ總會ニ關スル件左ノ通定ム

米穀商統制組合ハ組合員三十人未滿ナル場合ニ於テハ總代會ヲ設ケズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀自治管理法施行令第二十一條ノ再保管ニ關スル件

(昭和十一年十一月十九日)
農林省令第三十四號

第一條 米穀自治管理法施行令第二十一條ノ規定ニ依リ再保管ヲ爲スコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

- 一 農業倉庫業者、聯合農業倉庫業者又ハ倉庫業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ米穀自治管理法施行令第二十一條ノ規定ニ依ル再保管ヲ其ノ事業ト爲ス旨ヲ地方長官ニ届出デタルモノ
- 二 米穀自治管理法施行令第二十一條ノ規定ニ依ル再保管ヲ其ノ事業ト爲スコトニ付地方長官ノ認可ヲ受ケタル者

第二條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法施行令第二十一條第一項ノ規定ニ依リ再保管セシメタル米穀ニ付自治管理倉庫證券ヲ發行シタルトキハ當該米穀ノ再保管者ニ對シ倉庫證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ズ

第三條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體再保管ノ目的タル米穀ニ付貯藏ノ解除アリタルトキハ再保管者及寄託者又ハ自治管理倉庫證券ノ所持人ニ對シ遲滞ナク解除セラレタル米穀ノ銘柄、等級、數量及解除ノ年月日ヲ通知スベシ

前項ノ團體再保管ノ目的タル米穀ニ付解除アリタル場合ニ於テ寄託者又ハ自治管理倉庫證券ノ所持人ノ請求アリタルトキハ再保管者ニ對スル出庫指圖書ヲ交付スベシ但シ自治管理倉庫證券ノ發行ア

リタル場合ハ之ト引換ニ非ザレバ交付スルコトヲ得ズ

第四條 再保管者前條第一項ノ規定ニ依ル解除ノ通知ヲ受ケタルトキハ同條第二項ノ規定ニ依リ出庫指圖書ノ交付ヲ受ケタル者ノ請求ニ因リ再保管ノ目的タル米穀ノ出庫ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ再保管者ハ出庫指圖書ノ提出ヲ請求スルコトヲ得

第五條 再保管者第三條第一項ノ規定ニ依ル解除ノ通知ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外再保管セシメタル者ノ請求ニ因ラズシテ再保管ノ目的タル米穀ノ出庫ヲ爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

穀共同貯藏助成法

(昭和十一年五月二十八日)
法律第二十四號

第一條 政府ハ産業組合、農會其ノ他勅令ヲ以テ指定スル團體ガ米穀ノ出廻數量ノ調節又ハ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ穀ヲ貯藏スルトキハ之ヲ助成スル爲貯藏團體ニ對シ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ交付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ規定ニ依リ交付スル助成米ノ數量ハ毎年三十萬石ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二條 政府ハ本法ニ基ク命令ニ違反シタル團體ニ對シ其ノ交付ヲ受ケタル米穀ノ價額ニ相當スル金

額ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第三條 本法ニ依ル助成米ノ交付ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和十一年勅令第三百二十八號ヲ以テ) (昭和十一年九月二十日ヨリ施行)

粃共同貯藏助成法施行令

(昭和十一年九月十六日) (勅令第三百二十九號)

第一條 粃共同貯藏助成法第一條第一項ノ規定ニ依リ左ノ團體ヲ指定ス

- 一 市町村其ノ他之ニ準ズルモノ
- 二 農事實行組合
- 三 郷倉組合

第二條 農林大臣粃共同貯藏助成法第一條ノ規定ニ依リ米穀ヲ交付セントスル場合ハ其ノ旨、交付スベキ米穀ノ數量ノ限度、助成米交付ノ條件其ノ他交付ニ關シ必要ナル事項ヲ告示ス

第三條 粃共同貯藏助成法第一條ノ規定ニ依リ貯藏團體ニ交付スル助成米ノ數量ハ當該團體ノ貯藏スル粃ノ數量ノ百分ノ五(粃ヲ以テ交付スル場合ハ百分ノ十)ヲ超ユルコトヲ得ズ

附則

本令ハ粃共同貯藏助成法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

政府所有米穀特別處理法

(昭和九年三月二十九日) (法律第三十二號) 沿革(昭和十六年三月六日) (法律第三十五號改正)

第一條 政府ハ米穀ノ新規利用ニ關スル試験研究ノ用ニ供スルトキ又ハ米穀ノ新規用途ノ開拓ノ爲必要アルトキニシテ米穀ノ市價ニ影響ヲ及ボサザル場合ニ限り勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ處分スルコトヲ得

第二條 削除

第三條 第一條ノ規定ニ依ル米穀ノ處分ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和九年勅令第三百三十二號ヲ以テ) (昭和九年五月二十日ヨリ施行)

參照

委員會等ノ整理等ニ關スル法律(昭和十六年三月六日) (法律第三十五號抄録)

第七條 政府所有米穀特別處理法中左ノ通改正ス

第二條 削除

附則

第三十七條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

委員會等ノ整理等ニ關スル法律ノ一部施行期日(昭和十六年九月二十日) (勅令第八百七十二號)

昭和十六年法律第三十五號第一條、第七條乃至第十一條、第十四條及第三十九條ノ規定ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

政府所有米穀特別處理法施行令

(昭和九年五月十九日
勅令第三百三十三號)

農林大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ政府所有米穀特別處理法第一條ノ規定ニ依リ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ處分スルコトヲ得

- 一 政府ガ米穀ノ新規利用ニ關スル試驗研究ノ用ニ供セントスルトキ
 - 二 米穀ノ新規利用ニ關スル試驗研究ノ用ニ供セントスル公共團體又ハ公益法人ニ米穀ノ讓與ヲ爲ストキ
 - 三 米穀ノ新規利用ニ關スル試驗研究又ハ米穀ノ新規用途ノ開拓ノ用ニ供セントスル者ニ米穀ノ賣渡ヲ爲ストキ
- 前項ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

附 則

本令ハ政府所有米穀特別處理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律

(昭和九年十二月十日
法律第五十二號)

第一條 政府ハ市町村ニシテ其ノ區域内ニ於テ昭和九年産米ノ收穫高ガ平年作ノ半ニ達セズ且冬季ニ

於ケル應急土木事業ノ施行困難ナルモノニ對シ交付セシムル爲關係道府縣ニ對シ昭和十年三月三十一日迄總額五十萬石ヲ限リ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ米穀ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ前項ノ市町村ニ其ノ米穀ヲ交付シ當該市町村ハ其ノ住民ニ其ノ米穀ヲ貸付又ハ交付スルコトヲ要ス

前項ノ交付及貸付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 市町村ハ交付ヲ受ケタル米穀ト同數量ノ米穀ヲ所有シ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ之ヲ貯藏スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ貯藏スルコトヲ要スル米穀ノ數量ハ政府ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外交付ヲ受ケタル日ヨリ五年以内ニ其ノ全額ニ達セシムルコトヲ要ス

第三條 市町村ハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ前條第一項ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

市町村ハ前項ノ規定ニ依ル處分其ノ他ノ事由ニ因リ貯藏スルコトヲ要スル米穀ノ數量ニ不足ヲ生ジタルトキハ政府ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外次ノ收穫季節ニ於テ其ノ不足數量ヲ補充スルコトヲ要ス

第四條 市町村特別ノ事由アル場合ニ於テ政府ノ許可ヲ受ケタルトキハ米穀ノ貯藏ニ代ヘ米穀以外ノ穀物ヲ貯藏スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二條第二項及前條ノ規定ヲ準用ス

第五條 政府ハ第一條ノ規定ニ違反シタル道府縣ニ對シ其ノ交付ヲ受ケタル米穀ノ價額ニ相當スル金

額ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

政府ハ第一條乃至第三條ノ規定（前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタル市町村ニ對シ其ノ交付ヲ受ケタル米穀ノ價額ニ相當スル金額ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第六條 本法ニ依ル米穀ノ交付ニ關スル政府ノ一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年勅令第三百三十號ヲ以テ）
（昭和九年十二月二十一日ヨリ施行）

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル

法律施行規則 （昭和九年十二月十七日）
（農林省令第三十號）

第一條 昭和九年法律第五十二號第一條第一項ノ規定ニ依リ米穀ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 別記様式ニ依ル書類
 - 二 道府縣ニ對スル米穀交付ニ關スル市町村ノ申請書ノ寫
- 第二條 農林大臣前條ノ申請ヲ爲シタル道府縣ニ米穀ノ交付ヲ爲ス場合ニ於テハ米穀ノ交付ヲ受クル市町村、之ニ交付スル米穀ノ數量其ノ他必要ナル事項ヲ定メ道府縣ニ之ヲ通知ス

道府縣前項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ請書ヲ提出スベシ

第三條 昭和九年法律第五十二號第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ交付ヲ受クル市町村ハ左ニ掲グル事項ニ關シ規程ヲ設ケ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

- 一 米穀ノ貸付又ハ交付ヲ受クル住民ノ範圍
- 二 一人當ノ貸付又ハ交付ノ數量
- 三 貸付又ハ交付ノ條件及方法
- 四 貸付又ハ交付ヲ受ケタル米穀ノ讓渡禁止
- 五 其ノ他必要ナル事項

第四條 市町村ガ昭和九年法律第五十二號第一條第二項ノ規定ニ依リ其ノ住民ニ對シ貸付又ハ交付スル米穀ノ數量ハ一人當四斗ヲ超ユルコトヲ得ズ

第五條 昭和九年法律第五十二號第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ交付ヲ受ケタル市町村ハ同法第二條ノ規定ニ依ル米穀ノ貯藏、貯藏シタル米穀ノ管理其ノ他備荒貯蓄ニ關シ必要ナル規定ヲ設ケ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第六條 市町村左ノ各號ノ一ニ該當スル處分ヲ爲ス場合ニ於テハ昭和九年法律第五十二號第三條第一項ノ規定（同法第四條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル許可ハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

- 一 九月一日以後ニ於テ當該市町村住民ニ對シ翌年二月末日迄ニ返還セシムルコトヲ條件トシテ別ニ定ムル數量ノ範圍内ニ於テ貸付ヲ爲ストキ
- 二 震災、火災其ノ他ノ非常災害ニ際シ緊急ニ當該市町村住民ニ對シ米穀ヲ貸付若ハ交付シ又ハ此等災害ニ因ル損傷米穀ノ處分ヲ爲ストキ

附則

本令ハ昭和九年法律第五十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記) 様式

第一表 稻作狀況

郡市名	町村名	收穫見込石數		前五ヶ年平均		減收歩合		備考
		第二段收穫高	段當收穫高	收穫高	段當收穫高	總收穫高	段當收穫高	

第二表 要交付米穀數量

郡市名	町村名	農家戸數	同上人口	貸付又ハ交付		一人當要交付米穀數量	要交付米穀數量	冬季ニ於テ應急土事業ノ施行困難ナル理由
				戸數	人口			

米穀ノ應急措置ニ關スル法律

(昭和十二年九月十日) 法律第九十號

沿革(昭和十五年三月二十三日法律第三號改正) 昭和十六年三月六日法律第三十七號

第一條 政府ハ軍用ニ供スル爲必要アリト認ムルトキハ米穀需給調節特別會計ニ屬スル米穀ノ賣渡ヲ行フコトヲ得

前項ノ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第二條 政府ハ米穀ノ配給上特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀及米穀以外ノ食糧農産物竝ニ其ノ加工品ノ買入及賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第三條 前二條ノ規定ニ依ル米穀及米穀以外ノ食糧農産物竝ニ其ノ加工品ノ買入及賣渡ニ關スル一切

ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム
米穀需給調節特別會計法第三條及第六條中米穀トアルハ米穀及米穀以外ノ食糧農産物竝ニ其ノ加工
品トス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十三年勅令第六百七十二號ヲ以テ昭和十三年十二月一日ヨリ施行)
本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

附則

(昭和十五年法律第三號附則)

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

(昭和十六年法律第三十七號)

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀統制法第二條第一項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ之ヲ公定スルコトヲ要セズ

昭和九年法律第二十九號附則第二項中「三億圓」ヲ「五億五千萬圓」ニ改ム

臨時米穀配給統制規則

(昭和十五年八月二十日) 沿革(昭和十五年十二月二十八日) 農林省令第七十四號(農林省令第七十四號) 沿革(昭和十五年十二月二十八日) 農林省令第七十四號(農林省令第七十四號) 改正

第一條 米穀ノ配給統制ハ差當リ本則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 米穀生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米穀ノ出荷ハ其ノ所屬スル市農會又ハ町村農會ノ統制ニ從ヒ之ヲ爲スモノトス

第三條 販賣組合及農業倉庫業者以外ノ者ガ米穀生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ヨリ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米穀ヲ買受ケ(本令施行前ニ爲シタル契約ニ依リ受入ルル場合ヲ含ム)又ハ販賣ノ委託ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲ゲル場合ヲ除クノ外當該米穀生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ所屬スル市農會又ハ町村農會ノ斡旋ニ依ルベシ

- 一 特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ
- 二 其ノ他農林大臣ノ指定シタル場合

販賣組合又ハ農業倉庫業者ガ米穀生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ヨリ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米穀ノ販賣ノ委託ヲ受ケンストスルトキハ當該米穀生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ所屬スル市農會又ハ町村農會ノ出荷統制ニ依ルベシ

第四條 米穀ノ販賣ノ委託ヲ受ケタル販賣組合又ハ農業倉庫業者ハ當該道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會(聯合農業倉庫業者タル場合ヲ含ム以下同ジ)以外ノ者ニ其ノ米穀ヲ販賣(本令施行前ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム以下同ジ)シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ地方長官ノ定ムル所ニ依リ市農會又ハ町村農會(地方長官市町村ヲ指定シタル場合ハ當該市町村)ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前條ノ規定ニ依リ市農會若ハ町村農會ノ斡旋ニ依リ米穀ヲ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル者又ハ

前條第一項第一號若ハ第二號ノ場合ニ於テ米穀ヲ買受ケ若ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ指定スル米穀取扱業者ノ團體（以下米穀商統制團體ト稱ス）以外ノ者ニ其ノ米穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ地方長官ノ定ムル所ニ依リ市農會又ハ町村農會（地方長官市町村ヲ指定シタル場合ハ當該市町村）ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前條ニ規定スル場合及小作料トシテ米穀ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外米穀生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ヨリ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米穀ヲ收受シタル者其ノ米穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲サントスルトキ亦前項ニ同ジ

第五條 販賣組合聯合會ハ地方長官ノ指示ニ依リ當該道府縣内ノ配給ニ充ツベキ米穀ヲ當該道府縣ノ米穀商統制團體ニ販賣スル場合ヲ除クノ外全國購買販賣組合聯合會（聯合農業倉庫業者タル場合ヲ含ム以下同ジ）以外ノ者ニ米穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

全國購買販賣組合聯合會ハ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外政府又ハ日本米穀株式會社以外ノ者ニ前項ノ規定ニ依リ販賣ノ委託ヲ受ケタル米穀ヲ販賣スルコトヲ得ズ

米穀商統制團體ハ地方長官ノ指示ニ依リ當該道府縣内ノ配給ニ充ツベキ米穀ヲ當該道府縣ノ米穀取扱業者又ハ其ノ團體ニ販賣スル場合ヲ除クノ外政府又ハ日本米穀株式會社以外ノ者ニ米穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 日本米穀株式會社ハ政府又ハ米穀商統制團體以外ノ者ニ米穀ヲ販賣スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 農林大臣ノ指定スル地ニ於テハ米穀商統制團體ハ地方長官ノ指定スル米穀小賣業者ノ團體以外ノ者ニ當該地ニ配給スベキ米穀ヲ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第三條又ハ第四條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第九條 農林大臣又ハ地方長官米穀ノ配給ヲ統制スル爲テ必要アリト認ムルトキハ米穀ヲ所有シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ占有スル者ニ對シ倉庫、期間其ノ他必要ナル事項ヲ定メ其ノ所有シ又ハ占有スル米穀ヲ寄託スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十條 米穀ヲ所有シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ占有スル者ハ其ノ所有シ又ハ占有スル米穀ニ付農林大臣ヨリ昭和十四年^{農林}省令第八號第二項ノ規定ニ依リ告示スル最高販賣價格ニ依ル買入ノ申込アリタルトキハ其ノ申込ニ應ジ之ヲ賣渡スベシ

第十一條 農林大臣又ハ地方長官米穀ノ配給ヲ統制スル爲テ必要アリト認ムルトキハ米穀ヲ所有シ若ハ占有スル者、市農會、町村農會、販賣組合、農業倉庫業者、米穀商統制團體其ノ他米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者又ハ其ノ團體ニ對シ米穀ノ配給ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條 日本米穀株式會社、全國米穀販賣購買組合聯合會、道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會又ハ米穀商統制團體ハ帳簿ヲ備ヘ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル米穀ノ種類別數量、價格及買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル年月日並ニ其ノ賣渡人又ハ販賣委託者ノ氏名名稱及住所

二 販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲シタル米穀ノ種類別數量、價格及販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲シタル年月日並ニ其ノ買受人又ハ販賣受託者ノ氏名名稱及住所

第十三條 米穀小賣業者、組合員ノ爲ニ米穀ノ購入ヲ爲ス購買組合、漁業組合若ハ商業組合又ハ其ノ聯合會其ノ他組織員ノ爲ニ米穀ノ共同購入若ハ購入ノ斡旋ヲ爲ス團體ニシテ地方長官ノ指定スルモノハ帳簿ヲ備ヘ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 買受ケタル米穀ノ種類別數量、價格及買受ノ年月日並ニ其ノ賣渡人ノ氏名名稱及住所

二 販賣シタル米穀ノ數量、價格及賣渡ノ年月日並ニ其ノ買受人ノ氏名名稱及住所

三 購入ノ斡旋ヲ爲シタル米穀ノ種類別數量、價格及斡旋ノ年月日並ニ其ノ賣渡人及買受人ノ氏名名稱及住所

第十四條 第三條第一項第一號ニ該當スル場合ニ於テ米穀ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ前月中ニ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル米穀ノ種類別數量及價格並ニ其ノ賣渡人又ハ販賣委託者ノ氏名名稱及住所ヲ地方長官ニ報告スベシ

第十五條 農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ第十一條ニ掲グル者ヨリ米穀ノ配給ニ關シ

必要ナル報告ヲ徴スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十五年九月十日ヨリ之ヲ施行ス

販賣組合、農業倉庫業者、道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會、全國購買販賣組合聯合會、米穀商統制團體、日本米穀株式會社並ニ米穀小賣業者、組合員ノ爲ニ米穀ノ購入ヲ爲ス購買組合、購買組合聯合會、漁業組合、漁業組合聯合會、商業組合、商業組合聯合會及組織員ノ爲ニ米穀ノ共同購入又ハ購入ノ斡旋ヲ爲ス團體ヲ除クノ外米穀ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタル者ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ米穀ヲ所有シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ占有スルモノハ其ノ米穀ヲ當該道府縣ノ米穀商統制團體以外ノ者ニ販賣シ又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ當該米穀商統制團體ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

臨時米穀配給統制規則取扱要綱

(昭和十五年八月二十一日十五米第二千八百六十八號米穀局長通牒)

第一 市町村農會ハ地區内ノ米穀生産者及地主ニ付米穀ノ販賣高ヲ調査シテ出荷計畫ヲ定ムルコト
前項ノ出荷計畫ハ市町村長、農事實行組合、販賣組合、農業倉庫業者等ト緊密ナル連絡ヲ圖リ之ヲ定ムルコト

第二 市町村農會ニ於ケル米穀ノ出荷統制ニ付テハ適當ノ方法ニ依リ道府縣農會、郡農會等ヲシテ之

ニ協力セシメ統制實施ノ圓滑ヲ期スルコト

第三 市町村農會米穀ノ販賣（販賣ノ委託ヲ含ム）ノ斡旋ヲ爲ストキハ左ノ手續ニ依ルヲ原則トスルコト

(一) 賣主買主双方ニ對シ斡旋ノ通知ヲ爲ス（買主ニ對シテハ斡旋通知書ヲ交付ス）ト共ニ斡旋臺帳ニ賣主及買主ノ氏名、住所及賣買ノ内容ヲ記載スルコト

(二) 買主ハ前號ノ斡旋通知書ト引換ニ當該米穀ノ引渡ヲ受クルコトトシ賣主ハ右通知書ヲ農會ニ送付スルコト

第四 販賣組合、農業倉庫業者ハ其ノ取扱數量ヲ當該市町村農會ニ通知スルコト

第五 規則第三條第一項第一號ノ許可ヲ必要トスル特別ノ事情アルトキハ豫メ當省ニ打合ヲ爲スコト前項ノ許可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ當該市町村農會ニ通知スルコト

第六 規則第三條第一項第二號ノ場合トシテハ左ニ掲グル場合ヲ指定スル見込ナルコト

一、地方長官ノ指定スル市町村内ニ於テ生産セラレタル米穀ニ付當該市町村ノ承認ヲ受ケタルトキ

二、地方長官ノ定ムル所ニ依リ自家用消費ニ充ツル目的ヲ以テ其ノ居住スル町村ニ於テ生産セラレタル米穀ヲ買受ケントスルトキ

三、地方長官ノ指定スル市町村ニ於テ地方長官ノ定ムル期間内ニ米穀ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケントスルトキ

地方長官ハ前項第一號ニ依リ左ニ掲グル市町村ヲ指定スルモノトスル方針ナルコト

(一) 市町村農會ナキ市町村

(二) 市町村農會ニ於テ米穀出荷ノ統制ヲ爲スコト困難ナル特別ノ事情アル市町村

第一項第三號ハ暫定的ノ措置ニシテ一定期間經過後之ヲ告示ヨリ削除スル見込ナルヲ以テ貴官ニ於テモ可成短期間ノ指定ヲ爲スコトトシ速ニ農會ノ出荷統制ニ依ラシムル様指導スルコト

第七 規則第四條第一項但書及第二項但書ニ依ル市町村農會ノ承認ニ付テハ左ノ取扱ヲ爲スコト

一、當該米穀ノ生産地ノ市町村農會ノ承認ヲ受ケシムルコト

第六第一項第一號又ハ第三號ニ依リ地方長官ノ指定シタル市町村内ニ於テ生産セラレタル米穀ニ付テハ當該市町村ノ承認ヲ受ケシムルコト

二、當該市町村内ニ居住スル者ニ對シ其ノ自家用消費ニ充ツル米穀ヲ販賣スル場合及當該道府縣内ニ於ケル消費米ニシテ特殊ノ事情アルモノヲ販賣スル場合ニ限り承認スルコト

三、前號後段ノ場合ノ承認ヲ爲スニ當リテハ市町村農會又ハ市町村ハ地方長官ノ許可ヲ受クルコト

第八 規則第五條第一項但書及第三項但書ニ依ル許可ハ當該地方ノ配給事情ニ依リ當該道府縣内ノ消費者團體、大量消費者等ニ對スル米穀ノ販賣ニ付從來ノ實績ニ應ジ之ヲ爲スコト

第九 規則第九條又ハ第十一條ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ豫メ當局ノ承認ヲ受クルコト

第十 規則第十二條乃至第十四條ニ於ケル米穀ノ種類別ハ内地米（水陸、粳糯、銘柄等級別）朝鮮米、臺灣米、外國米ノ別及粳、玄米、精米ノ別トスルコト

第十一 規則第十三條ニ依ル地方長官ノ指定ハ組織員ノ爲ニ米穀ノ共同購入若ハ購入ノ斡旋ヲ爲ス團

體ニシテ相當數量ヲ取扱フモノニ付之ヲ爲スコト

第十二 規則第十四條ニ依ル報告ハ原則トシテ其ノ月ノ十日迄ニ爲サシムルコト

第十三 本規則施行ト同時ニ昭和十四年農林省令第六十二號ハ廢止セララルル處本規則ノ運用上帳簿其ノ他ノ検査ハ昭和十二年法律第九十二號第三條ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ之ヲ行ヒ得ルコト（昭和十四年農林省令第六十九號參照）

臨時米穀配給統制規則第三條第一項第二號ノ

場合指定ノ件

（昭和十五年九月九日農林省告示第四百二十五號
同年十一月一日農林省告示第五百四十五號改正
同年十一月九日農林省告示第五百五十九號改正）

地方長官ノ指定スル市町村内ニ於テ生産セラレタル米穀ニ付當該市町村ノ承認ヲ受ケタルトキ

米穀管理規則

（昭和十五年十月二十四日
農林省令第九十七號）

第一條 市農會又ハ町村農會（地方長官市町村ヲ指定シタル場合ハ當該市町村以下同ジ）ハ地ル長官ノ指示スル所ニ依リ米穀生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ニシテ小作料トシテ米穀ヲ受クルモノ（以下地主ト稱ス）ニ對シ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受クル米穀ニ付管理米トシテ出荷スベキ數量ヲ定ムベシ

市農會又ハ町村農會前項ノ規定ニ依リ管理米トシテ出荷スベキ米穀ノ數量ヲ定メタルトキハ遲滯ナク之ヲ當該米穀生産者又ハ地主ニ通知スベシ

第二條 米穀生産者又ハ地主ハ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米穀中前條第一項ノ規定ニ依リ定メラレタル數量ニ相當スル米穀ニ付地方長官ノ指示スル期間内ニ其ノ包裝ニ地方長官ノ定ムル證印ノ押捺ヲ受クベシ

改装ニ因リ證印ヲ抹消シ、除却シ又ハ蔭蔽スルコトトナリタルトキ其ノ米穀ニ付亦前項ニ同ジ前二項ノ場合ニ於テ地方長官ハ當該官吏又ハ吏員ヲシテ證印ヲ押捺セシム

證印ノ押捺ヲ爲ス場合ニ於テ當該官吏又ハ吏員ハ地方長官ノ定ムル證票ヲ携帶スベシ

第三條 米穀生産者又ハ地主其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル米穀ニシテ前條第一項ノ規定ニ依リ證印ノ押捺ヲ受クベキモノ以外ノモノヲ販賣セントスルトキハ其ノ米穀ニ付其ノ包裝ニ前條第一項ノ地方長官ノ定ムル證印ノ押捺ヲ受クベシ

前條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四條 米穀生産者又ハ地主ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ前二條ノ規定ニ依リ押捺ヲ受ケタル證印ヲ抹消シ、除却シ又ハ蔭蔽スルコトヲ得ズ

第五條 米穀生産者又ハ地主ハ第二條及第三條ノ規定ニ依リ證印ノ押捺ヲ受ケタル米穀（管理米）ヲ地方長官ノ指示ニ從ヒ其ノ指定スル農業倉庫業者其ノ他ノ者ニ寄託シ又ハ自ラ之ヲ保管スベシ

第六條 米穀生産者又ハ地主ハ其ノ所有スル管理米ヲ臨時米穀配給統制規則ノ定ムル所ニ依リ販賣シ

又ハ販賣ノ委託ヲ爲スノ外消費シ、質入シ、讓渡シ其ノ他處分スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 米穀生産者又ハ地主ハ臨時米穀配給統制規則ノ定ムル所ニ依リ販賣シ若ハ販賣ノ委託ヲ爲シタル場合又ハ前條但書ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外第五條ノ規定ニ依リ寄託シ又ハ保管スル管理米ヲ移動スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本令ハ昭和十五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令ハ沖繩縣ニ之ヲ施行セズ

米穀管理實施要綱

(昭和十五年十月二十三日 昭十六年九月十二日十六食糧)
十五米第三五一二號次官通牒 第五九二〇號食糧管理局長官通牒改正)

第一 割當ニ關スル事項

市町村農會ガ地區内ノ米穀生産者及地主ニ對シ管理米トシテ出荷スベキ數量ノ割當ヲ爲スニ付テハ左ノ方法ニ依ルコト

(一) 米穀生産者又ハ地主ニ對スル管理米數量ノ割當ハ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受クル米穀ニ付原則トシテ當該生産者及地主ニ付テハ其ノ小作人ノ居住地市町村農會ニ於テ之ヲ爲スコト但シ必要アル場合ハ關係農會協議ノ上適當ナル農會ニ於テ取纏メ處理スルモ差支ヘナキコト

(二) 市町村農會ハ當該地區内ノ米穀生産者又ハ地主ニ對シ部落團體ヲ通ジ管理米トシテ出荷スベキ數量ノ割當ヲ爲スコト
右ノ場合市町村農會ハ部落團體ガ(三)ノ趣旨ニ依リ定メタル割當數量ニ基キ之ヲ決定シタル上當該生産者及地主ニ通知スルコト

但シ適當ナル部落團體ナキトキハ市町村農會ニ於テ直接管理米割當ノ事務ヲ行フコト

(三) 市町村農會ノ管理米數量ノ割當ニ付テハ實收高確定後之ニ基キ遲滞ナク割當ヲ爲スコトトスルモ實收高確定前ニ於テモ便宜假割當ノ措置ヲ講ジ出荷ノ進捗ヲ圖ルコト

前項ノ管理米割當數量ノ計算ハ生産者ニ對シテハ實收高ヨリ(五)ニ依リ算定シタル自家用保有米ノ數量及小作人ニ在リテハ更ニ其ノ小作米ノ數量ヲ控除シタル殘額、地主ニ對シテハ其ノ地區内ヨリ收取スベキ小作米ノ數量ヨリ(五)ニ依リ算定シタル自家用保有米ノ數量ヲ控除シタル殘額トス尙古米及屑米ハ從來通り前項ノ計算ニハ之ヲ包含セザルコトトスルモ古米、屑米其ノ他ノ食糧農産物ノ手持狀況等ヲ參酌シ計算上出荷スベキ管理米數量ヲ超ユル管理米ノ出荷方ノ申出ヲ勸奨スルコトトシ其ノ申出數量ヲモ含メテ當該生産者又ハ地主ノ管理米割當數量ト爲スコト但シ此ノ場合ニ於テハ自家用保有米ノ消費節約ニ因リ出荷スル場合又ハ止ムヲ得ザル金融上ノ必要ニ基キ出荷スル場合ノ外ハ獎勵金取得等ノ打算關係ヨリ一時出荷シ後刻消費米ノ還元配給ヲ要スルガ如キコト無カラシムル様指導スルコト

(四) 地主ノ自家用保有米ハ其ノ居住地市町村(市ニ在リテハ地方長官別ニ地區ヲ定メタルトキハ其

ノ地區ニ地區内ノ生産者ヨリ收取スベキ小作米ノ數量ノ範圍ニ於テ之ヲ定メ當該地區内ニ居住セザル地主ニ對シテハ原則トシテ自家用保有米ハ之ヲ認メザルコト

(五) 各米穀生産者及地主ノ自家用保有米ハ左ノ數量ノ合計額トスルコト

(イ) 地方長官ノ指示スル年齢別一人當消費量ヲ基礎トシ當該家族ノ構成人員ニ應ジ算出セル一ケ年分ノ數量

右ノ年齢別一人當消費量ハ地方長官ニ於テ農林大臣ノ定ムル最高標準ノ範圍内ニ於テ各地方ノ米穀消費ノ實情及食糧農産物ノ生産狀況等ヲ參酌シテ之ヲ定メ市町村農會ニ指示スルコト

右ノ家族ニハ同居ノ家族ノ外農業使用人及家事使用人等家族ニ準ズル同居人ヲ含ムコト

(ロ) 右數量ノ百分ノ一ニ相當スル數量

(ハ) 種子用所要量

種子用所要量ハ地方長官ノ定ムル反當所要量ヲ基礎トシ米作反別ニ依リ之ヲ算定スルコト

(六) 市町村農會ハ管理米數量ノ割當等ノ事務ノ實行ニ際シ(三)ノ實收高ニ付テハ米穀管理事務取扱員ノ調製セル生産高調査資料ヲ基礎トスルト共ニ割當ニ當リテハ特ニ市町村長、産業組合長、部落組合長、穀物検査員其ノ他米穀關係職員等ヲ以テ組織スル委員會ヲ可及的ニ活用シ以テ實施ノ圓滑適正ヲ期スルコト

市町村農會ナキ市町村又ハ市町村農會ニ於テ出荷ノ統制ヲ爲スコト困難ナル特別ノ事情アル市町村ニ付地方長官市町村ヲ指定シタルトキハ管理米割當ノ事務ハ市町村ニ於テ之ヲ行フモノトスル

コト

第二 出荷ニ關スル事項

(一) 第一ノ(三)ニ依リ管理米數量ノ割當決定後割當數量ヲ超エ管理米トシテ出荷スルハ勿論差支ヘナ

キモ此ノ場合ニ於テモ第一ノ(三)ノ三項但書ノ場合同様自家用保有米ノ消費節約等ニ因ル出荷タラシメ可及的ニ残存保有米其ノ他ノ手持食糧農産物等ニ依リ年間消費ヲ賄フ様指導スルコト

(二) 市町村農會ハ部落團體ヲシテ收穫、脱穀調製、集荷等ノ共同作業ヲ獎勵シ第一ノ(二)ニ依ル部落内管理米割當數量ニ付極力出荷ノ進捗ヲ圖ラシムルコト

(三) 管理米證印ノ押捺ニ付テハ昭和十五年九月二十七日附十五米局第三五三六號通牒ニ定メタル様式ニ依リ押捺スルコト但シ資材關係等ニ因リ右様式ニ因ル證印ノ押捺ヲ困難トスル事情アル場合ハ右以外ノ證印ヲ票箋ニ押捺スルコトヲ以テ之ニ代ヘ得ルコト

(九月一日附十六食糧第五五八七號食糧管理局長官通牒參照)

(四) 管理米ノ政府買上ノ進捗ヲ圖ル爲昭和十五年十月二十三日附一五米第三五一二號農林次官通牒記ノ六ノ趣旨ニ依リ管理米ハ速カニ地方長官ノ指示ニ依リ其ノ指定スル倉庫ニ之ヲ寄託セシムルコトトシ收容力等ノ關係上右ニ依リ難キ場合ニ於テハ生産者地主ヲシテ自ラ保管セシムルコトヲ認ムルコト

尙昨年度ノ經過ニ徴シ更ニ農業倉庫業者等ヲシテ個人倉庫ヲ借庫セシムル等倉庫收容力ノ増加ヲ圖ルト共ニ生産者地主ノ寄託方法ニ付テモ産業組合等ハ農會ノ出荷計畫ニ基キ部落團體ト連絡ノ

上可及的ニ集散地倉庫ノ利用ヲ圖ル等道府縣内農業倉庫ノ最モ有效ナル利用ノ途ヲ講ズルコト
 (五) 地主ノ管理米ニ付テハ集荷ノ敏速ヲ圖ル爲小作人ノ手許ニ於テ其ノ小作米中ヨリ當該地主ノ自家用保有米ヲ控除シタルモノニ付管理米證印ノ押捺ヲ受ケ直接管理倉庫ニ之ヲ出荷セシムル様指導スルコト

地方長官ハ必要アル場合ニ於テハ小作米ノ出荷方法ニ關シ臨時米穀配給統制規則第十一條ノ規定ニ基キ命令ヲ爲シ得ルコト

第三 管理米及自家用保有米數量ノ確認ニ關スル事項

市町村農會ハ第二ノ(四)ノ地方長官ノ指示ニ依リ寄託シ又ハ保管セラルル管理米ニ付其ノ所有者ノ住所、氏名、數量、集荷ノ場所及期日ヲ臺帳ニ記載シ生産者地主ノ管理米出荷実績ヲ明確ナラシムルコト

米穀生産者及地主ニ對シテハ第一ノ(三)及第二ノ(一)ノ趣旨ニ從ヒ消費米ハ原則トシテ之ヲ還元配給セザルコトトスルモ農家中一ヶ年分ノ飯米ヲ當初ヨリ保有セズ又ハ止ムヲ得ザル金融上ノ必要ニ基キ自家用保有米ヲ販賣スルコト等ノ事由ニ依リ年度ノ中途ヨリ消費米ヲ配給スベキ場合モアルヲ以テ斯カル者ニ對シテハ市町村農會ハ右管理米臺帳ニ自家用保有米ノ數量ヲモ記載シ自家用保有米ノ算出基礎ニ基ク消費期間ヲ保有者ニ明示スルト共ニ配給責任者タル市町村長ニ連絡シ置クコト

第四 處分ニ關スル事項

(一) 管理米ハ種粳及酒米ヲ除キ原則トシテ總テ之ヲ政府ニ於テ買入ルルコト

管理米ハ之ヲ管理倉庫ニ入庫次第臨時米穀配給統制規則ノ定ムル所ニ依リ逐次政府ニ賣渡ノ申込ヲ爲サシムルコト

政府買入ノ期間迄ハ管理米トシテ取扱ヒ之ニ對シテハ金利保管料ノ補助ヲ爲スコト

(二) 米穀生産者又ハ地主ガ昭和九年法律第五十二號ノ規定ニ依リ貸付ヲ受ケタル米穀ヲ管理米中ヨリ返還シ市町村ノ郷倉米ニ充當スルモノニ付テハ米穀管理規則第六條ノ解除ヲ爲スコト

(三) 米穀管理規則第六條但書ニ依ル許可ハ前項ノ場合ノ外自家用保有米ノ滅失毀損、管理米數量ノ割當決定後ニ於ケル生産者地主ノ家族構成人員ノ著シキ異動其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合ニ限リ之ヲ爲スコト

第五 米穀管理事務取扱員ニ關スル事項

市町村ニ設置スル米穀管理事務取扱員ハ穀物検査員ヲ之ニ充ツル外適當ナル者ヲ道府縣ニ於テ囑託シ穀物検査員タル取扱員ノ一人ヲ主任トシテ管理事務遂行ノ圓滑ヲ圖ルコト

米穀管理事務取扱員ハ地方長官ノ指導ニ從ヒ農會ノ行フ管理米割當ニ關スル指導、管理米證印ノ押捺、管理米ノ集荷竝ニ保管ニ關スル指示、保管狀況ノ調査等管理ニ必要ナル事務ニ従事スルモノトス

第六 報告ニ關スル事項

(一) 市町村農會ハ管理米トシテ出荷スベキ數量ノ割當ヲ了シタルトキハ割當總數量ヲ、管理事務取扱員ハ隨時擔當市町村ニ於テ集荷セラレタル管理米ノ保管場所別數量及其ノ移動ヲ夫々地方長官

ニ報告スルコト

- (二) 地方長官ハ管理米割當濟數量、集荷濟數量、政府米納入數量及種粳、酒米等ノ地方配給數量ニ付毎月一日及十五日ニ之ヲ食糧管理局長官ニ報告スルコト
- (三) 地方長官ハ毎月一日現在ニ於ケル管理倉庫自家保管別管理米數量ヲ食糧管理局長官ニ報告スルコト

米穀生産獎勵金交付規則

(昭和十六年十二月五日)
(農林省令第九十八號)

- 第一條 農林大臣ハ米穀ノ生産ヲ確保スル爲本則ニ依リ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金ハ毎年左ニ掲グル當該年産ノ米穀ニ付米穀生産者ニ之ヲ交付ス
 - 一 自作者ニ在リテハ管理米トシテ出荷シタルモノ
 - 二 小作者ニ在リテハ管理米トシテ出荷シタルモノ及小作料トシテ納付シタルモノ
- 第三條 獎勵金ノ額ハ玄米又ハ精米ニ付テハ一石當五圓トシ粳ニ付テハ十貫當九十錢トス
- 第四條 米穀生産者獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ第二條ニ掲グル米穀ニ付米穀管理事務取扱員ノ確認ヲ受クベシ
- 第五條 米穀管理事務及扱員前條ノ確認ヲ爲シタルトキハ當該米穀生産者ニ對シ其ノ氏名及獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ米穀ノ數量ヲ記載シタル證明書ヲ交付スベシ

第六條 米穀生産者獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ前條ノ規定ニ依リ米穀管理事務取扱員ヨリ交付ヲ受ケタル證明書ヲ當該生産者ガ販賣組合ノ組合員タル場合ニ在リテハ其ノ所屬スル販賣組合、

組合員ニ非ザル場合ニ在リテハ其ノ獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ米穀ヲ寄託シタル農業倉庫業者又ハ其ノ所屬スル農事實行組合ノ加入スル販賣組合ニ提出スベシ

第七條 販賣組合又ハ農業倉庫業者ハ前條ノ規定ニ依リ米穀生産者ノ提出シタル證明書ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ米穀ノ數量ニ付獎勵金交付請求書ヲ作成シ之ニ米穀管理事務取扱員ノ證明ヲ受ケ當該道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會ニ之ヲ送付スベシ

第八條 販賣組合聯合會ハ前條ノ規定ニ依リ販賣組合又ハ農業倉庫業者ノ送付シタル獎勵金交付請求書ニ依リ當該道府縣ニ於ケル獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ米穀ノ數量ニ付獎勵金交付請求書ヲ作成シ之ニ農産物検査所長ノ證明ヲ受ケ全國購買販賣組合聯合會ニ之ヲ送付スベシ

第九條 全國購買販賣組合聯合會ハ前條ノ規定ニ依リ販賣組合聯合會ノ送付シタル獎勵金交付請求書ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ農林大臣ニ申請スベシ

第十條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者獎勵金交付ノ申請ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキハ農林大臣ハ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

附則

本令ハ昭和十六年十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス
本令ハ沖繩縣ニハ之ヲ施行セズ

米穀生産獎勵金交付要綱

(昭和十六年十二月五日
十六食糧第七九五九號食糧管理局長官通牒)

一六六

- 第一 規則第二條ノ當該年産ノ米穀トハ一月以降十月末日迄ノ期間ニ於テハ前年産米ヲモ含ムコト
- 第二 獎勵金ハ規則第三條ノ基準ニ依リ端米ニモ之ヲ交付スルコト但ノ數量ニ付テハ容量ニ依ルモノハ升未滿、重量ニ依ルモノハ貫未滿、金額ニ付テハ錢未滿ヲ切捨ツルコト
- 第三 規則第五條ノ證明書ハ概ネ様式第一號ニ依ルコト
米穀管理事務取扱員ハ概ネ様式第二號ニ依ル臺帳ヲ備ヘ當該市町村農會及産業組合ト緊密ニ連絡スルコト
- 第四 販賣組合又ハ農業倉庫業者ハ規則第七條ノ獎勵金交付請求書(様式第三號)ヲ規則第六條ニ依リ證明書ヲ受付ケタル日ヨリ四日以内ニ道府縣販賣組合聯合會ニ到達スル様書留速達ヲ以テ送付スルコト尙規則第五條ノ證明書ハ證憑書類トシテ二箇年間之ヲ保存スルコト
- 第五 販賣組合又ハ農業倉庫業者ハ第七第二項ニ定ムル場合ヲ除クノ外規則第六條ニ依リ證明書ヲ受付ケタル日ノ翌日ヨリ十日目ニ獎勵金相當額ヲ當該市町村信用組合ノ當該生産者又ハ其ノ所屬スル農事實行組合ノ貯金ニ振込ムモノトスルコト但シ休日ノ日數ハ之ヲ繰延ブルコトヲ得ルコト
- 第六 道府縣販賣組合聯合會ハ規則第八條ノ獎勵金交付請求書(様式第四號)ヲ規則第七條ニ依リ請求書ヲ受付ケタル日ヨリ四日以内ニ全國購買販賣組合聯合會ニ到達スル様書留速達ヲ以テ送付スルコト尙規則第七條ノ請求書ハ證憑書類トシテ二箇年間之ヲ保存スルコト

第七 道府縣販賣組合聯合會ハ當該販賣組合又ハ農業倉庫業者ガ規則第六條ニ依リ證明書ヲ受付ケタル日ノ翌日ヨリ九日目ニ獎勵金相當額ヲ當該道府縣信用組合聯合會ノ販賣組合又ハ農業倉庫業者ノ貯金ニ振込ムモノトスルコト

但シ休日ノ日數ハ之ヲ繰延ブルコトヲ得ルコト
地方長官當該市町村信用組合ノ事業及財産ノ狀況ニ鑑ミ已ムヲ得ザル事情アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ道府縣販賣組合聯合會ニ對シ當該生産者ノ爲他ノ確實ナル金融機關ニ預金スル等ノ處置ヲ命ズルコトヲ得ルコト

第八 離島、積雪地方其ノ他特別ノ事情アルモノニ限り農林大臣ノ許可ヲ受ケ第四乃至第七ノ期間ヲ變更スルコトヲ得ルモノトスルコト

第九 規則第九條ノ申請書ハ様式第五號ニ依ルモノトシ之ニ規則第八條ノ請求書ヲ添附シテ提出スルコト

第十 全國購買販賣組合聯合會ハ當該販賣組合又ハ農業倉庫業者ガ規則第六條ニ依リ證明書ヲ受付ケタル日ノ翌日ヨリ八日目ニ獎勵金相當額ヲ産業組合中央金庫ノ當該販賣組合聯合會ノ貯金ニ振込ムモノトスルコト但シ休日ノ日數ハ之ヲ繰延ブルコトヲ得ルコト

(様式略)

一六七

米穀管理事務取扱員設置規程

(昭和十六年十二月十六日)
(農林省令第百一號)

第一條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ米麥ノ管理ニ關スル事務及米麥ニ關スル調査ノ事務ニ從事セシムル爲メ米穀管理事務取扱員ヲ置ク

第二條 米穀管理事務取扱員ノ地方長官ノ推薦ニ依リ農林大臣ニ於テ之ヲ囑託ス

第三條 米穀管理事務取扱員ハ地方長官ノ指揮ヲ承ケ擔當區域内ノ米麥ノ管理ニ關スル事務及米麥ニ

關スル調査ノ事務ニ從事ス

前項ノ擔當區域ハ地方長官ニ於テ之ヲ定ム

第四條 米穀管理事務取扱員ハ職務執行ノ際別記様式ニ依ル資格證明書ヲ携帯スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ米穀統制法施行規則第四十七條ノ規定ニ基キ米穀生産費調査員、米穀現在高調査員、米穀現在高調査指導員、米穀移動高調査員、米穀販賣高調査員及米穀販賣高調査指導員タル者竝ニ地方長官ニ於テ囑託セル米穀管理事務取扱員タル者ハ之ヲ本令ニ依リ米穀管理事務取扱員ニ囑託セラレタル者ト看做ス

裏

米穀管理事務取扱員設置規程抜萃

第三條 米穀管理事務取扱員ハ地方長官ノ指揮ヲ承ケ擔當區域内ノ米麥ノ管理ニ關スル事務及米麥ニ關スル調査ノ事務ニ從事ス

前項ノ擔當區域ハ地方長官ニ於テ之ヲ定ム

第四條 米穀管理事務取扱員ハ職務執行ノ際別記様式ニ依ル資格證明書ヲ携帯スベシ

表

別記様式 (縦九・〇、横六・五、厚紙色白)

米穀管理事務取扱員之證	縣府道第	號
農 林 省 印		
氏 名		

米穀搗精等制限令

(昭和十四年十一月二十五日)
勅令第七百八十九號

一七〇

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ南洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規定ニ基ク米穀ノ搗精若ハ酒類及麥酒ノ製造ノ制限又ハ同法第九條ノ規定ニ基ク小麥其ノ他ノ米穀以外ノ穀物及穀粉ノ輸出ノ制限ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

前項ニ於テ酒類及麥酒トハ内地ニ在リテハ酒造税法ノ適用ヲ受クル酒類及麥酒税法ノ適用ヲ受クル麥酒、朝鮮ニ在リテハ酒稅令ノ適用ヲ受クル酒類ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノ、樺太ニ在リテハ樺太廳長官ノ指定スルモノ、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ノ指定スルモノヲ謂フ

第二條 業務ニ關シ米穀ノ搗精ヲ爲ス者ハ玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合ガ農林省令ノ定ムル割合ヲ下ラザル限度ニ於テ米穀ノ搗精ヲ爲スベシ但シ農林省令ノ定ムル特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 酒類又ハ麥酒ヲ製造スル者ハ其ノ製造石數ニ關シ大藏省令ノ定ムル限度ヲ超エテ酒類又ハ麥酒ヲ製造スルコトヲ得ズ但シ大藏省令ノ定ムル特別ノ事由ニ因リ大藏大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

大藏大臣ハ大藏省令ノ定ムル所ニ依リ前項但書ノ規定ニ依ル事務ノ一部ヲ稅務監督局長又ハ稅務署長ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

第四條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ小麥其ノ他ノ米穀以外ノ穀物及穀粉ノ輸出ヲ制限スルコトヲ得

第五條 大藏大臣、農林大臣、地方長官、稅務監督局長又ハ稅務署長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ第二條乃至前條ノ規定ニ依ル制限ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第六條 本令中大藏大臣又ハ農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ稅務監督局長又ハ稅務署長トアルハ樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長、長南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トス

本令中大藏省令又ハ農林省令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

酒類及麥酒ノ製造ノ制限ニ關スル規定ハ臺灣ニハ之ヲ適用セズ

一七一

附 則

本令ハ内地ニ在リテハ昭和十四年十二月一日ヨリ、朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十二月十一日ヨリ之ヲ施行ス但シ酒類及麥酒ノ製造ノ制限ニ關スル規定ノ施行期日ハ別ニ之ヲ定ム

(參照)

昭和十三年四月一法律第五十五號國家總動員法抄錄

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ輸出若ハ輸入ノ制限若ハ禁止ヲ爲シ、輸出若ハ輸入ヲ命ジ、輸出税若ハ輸入税ヲ課シ又ハ輸出税若ハ輸入税ヲ増課若ハ減免スルコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

昭和十三年五月四勅令第三百十七號ハ南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件ナリ

米穀搗精制限規則

(昭和十四年十一月二十五日 農林省令第六十四號)

第一條 米穀搗精等制限令第二條ノ割合ハ九割四分トス

第二條 左ニ掲グル場合ニ於テハ地方長官ハ米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ爲スコトヲ得

一 酒類又ハ麥酒ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

二 藥劑ノ製造ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

三 試験ノ用ニ供スル爲米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

四 其ノ他農林大臣ノ別ニ定ムル事由アルトキ

第三條 米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ搗精設備ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

一 搗精セントスル米穀ノ數量

二 玄米ノ重量ニ對スル搗上リ米ノ重量ノ割合

三 搗精シタル米穀ノ用途其ノ他許可ヲ受ケントスル事由

四 搗精ノ時期及場所

地方長官ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第四條 米穀搗精等制限令第二條但書ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項各號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ當該地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第五條 米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

附 則

本令ハ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式 用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス
(表面)

Blank area for the front side of the document.

米穀搗精等制限令第五條ノ規定ニ依ル證票

(裏面)

第	號	昭和	年	月	日	交付																
<table border="1"> <tr> <td>官</td> <td>職</td> <td>氏</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>農</td> <td>廳</td> <td>氏</td> <td></td> </tr> <tr> <td>林</td> <td>府</td> <td>縣</td> <td></td> </tr> <tr> <td>省</td> <td>又</td> <td>印</td> <td></td> </tr> </table>							官	職	氏	名	農	廳	氏		林	府	縣		省	又	印	
官	職	氏	名																			
農	廳	氏																				
林	府	縣																				
省	又	印																				
<p>國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得</p> <p>國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨グ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス</p> <p>米穀搗精等制限令第五條 大藏大臣、農林大臣、地方長官、稅務監督局長又ハ稅務署長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ第二條乃至前條ノ規定ニ依ル制限ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得</p> <p>前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ</p> <p>米穀搗精制限規則第五條 米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル</p>																						

米穀搗精制限規則第二條第四號ノ事由指定ニ關スル件

(昭和十四年十二月一日
農林省告示第四百二十八號)

- 一 醫療上必要ナル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
- 二 船舶安全法施行規則ニ規定スル平水區域、沿海區域及近海區域第一區以外ノ區域ヲ航行スル船舶又ハ漁船特殊規則ニ規定スル第二種若ハ第三種ノ從業制限ヲ有スル漁船ノ船用品タル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ
- 三 前號ニ掲グル船舶ニ依リ船舶安全法施行規則ニ規定スル平水區域沿海區域及近海區域第一區以外ノ區域ニ輸送スル米穀ノ搗精ヲ爲ストキ

小麥等輸出許可規則

(昭和十四年十一月三十日
農林省令第六十五號)

第一條 小麥其ノ他ノ米穀以外ノ穀物又ハ穀粉ニシテ農林大臣ノ指定スルモノハ船用品、郵便物又ハ百斤ヲ超エザルモノヲ除クノ外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ

第二條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 品名
- 二 數量及價額
- 三 仕向地及仕向港
- 四 輸出港
- 五 輸出時期

農林大臣ハ前項ノ書類ノ外必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第三條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項第二號乃至第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

第四條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ物品ノ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ農林大臣ノ交付スル輸出許可書ヲ輸出ノ手續ヲ爲スベキ税關ニ提出スベシ

第五條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者輸出ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ農林大

臣ニ報告スベシ

- 一 輸出ノ許可ヲ受ケタル物品ノ品名、數量及許可ノ年月日
- 二 輸出數量及價額
- 三 仕向地及仕向港
- 四 輸出港
- 五 輸出ノ年月日
- 第六條 農林大臣ノ指定シタル物品ニ付第一條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ農林大臣ノ指定スル團體ヲ經由シテ輸出許可申請書ヲ提出スベシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第七條 米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

附則

本令ハ昭和十四年十二月五日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行前昭和十四年商工省令第五十三號第一條ノ規定ニ依リ輸出ノ承認ヲ受ケタル物品付テハ本令施行後十五日以内ニ第二條第一項ニ掲グル事項ヲ農林大臣ニ届出デタル場合ニ限り第一條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ輸出スルコトヲ得

第五條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ輸出ヲ爲シタル者ニ之ヲ準用ス

米穀搗精等制限令第五條ノ規定ニ依ル證票

別記様式 (用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
 (表面)

(裏面)

第	號	昭和	年	月	日	交付								
<table border="1"> <tr> <td>官</td> <td>職</td> <td>氏</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">農林省又ハ 廳府縣印</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							官	職	氏	名	農林省又ハ 廳府縣印			
官	職	氏	名											
農林省又ハ 廳府縣印														

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ム坊ク又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

米穀搗精等制限令第五條 大藏大臣、農林大臣、地方長官、稅務監督局長又ハ稅務署長必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ第二條乃至前條ノ規定ニ依ル制限ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

小麥等輸出許可規則第七條 米穀搗精等制限令第五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

小麥等輸出許可規則第一條及第六條ノ指定ニ關スル件
(昭和十四年十二月二十七日)沿革(昭和十五年五月九日)
(農林省告示第四百五十六號)沿革(昭和十五年五月九日)
(農林省告示第二百零號改正)

- 第一條ノ農林大臣ノ指定スル物品
小麥、大麥、裸麥、小麥粉
- 第六條ノ農林大臣ノ指定シタル物品
小麥粉
- 第六條ノ農林大臣ノ指定スル團體
日本小麥粉輸出組合

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律
(昭和十二年九月十日)
(法律第九十二號)
沿革(昭和十三年法律第八十五號 改正)
(昭和十六年法律第二十號)

- 第一條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲テニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ物品ヲ指定シ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲テニ必要アリト認ムルトキハ輸入ノ制限其ノ他ノ事由ニ因リ需給關係ノ調整ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ得
 - 一 命令ノ定ムル所ニ依リ當該物品ヲ原料トスル製品ノ製造ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限ヲ

爲スコト

二 當該物品又ハ之ヲ原料トスル製品ノ配給、讓渡、使用又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト
第二條ノ二 前條ノ物品ノ需給ニ關係アル産業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體ハ當該物品ノ需給關係
ヲ調整スル爲政府ノ認可ヲ受ケ需給調整協議會ヲ組織スルコトヲ得

前項ノ者需給調整協議會ヲ組織セザル場合ニ於テ政府支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル
爲特ニ必要アリト認ムルトキハ前項ノ者ニ對シ需給調整協議會ノ組織ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ組織ヲ命ゼラレタル者其ノ認可ヲ申請セザルトキハ政府ハ規約ノ作成其ノ他組織
ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

需給調整協議會ノ成立アリタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ其ノ會
員トス

第二條ノ三 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ需給
調整協議會ニ對シ當該物品ノ需給關係ノ調整ニ關シ必要ナル決定ヲ爲スベキコトヲ命ジ又ハ需給調
整協議會ノ會員ニ對シ需給調整協議會ノ決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二條ノ四 本法ニ定ムルモノノ外需給調整協議會及需給調整協議會ニ依ル需給關係ノ調整ニ關シ必
要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 政府ハ第一條ノ制限若ハ禁止又ハ第二條ノ命令若ハ處分ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ
帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第四條 第一條ノ規定ニ依リテ爲ス制限又ハ禁止ニ違反シテ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル
者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル物品ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スル
モノヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵スル
コトヲ得

第五條 第二條ノ規定ニ依ル命令若ハ處分又ハ其ノ命令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ七年以下
ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條ノ二 前二條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科スルコトヲ得

第六條 第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタ
ル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スル
許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者亦同ジ

第七條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關
シテ第四條、第五條又ハ第六條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ
對シ亦第四條、第五條又ハ第六條ノ罰金刑ヲ科ス

第八條 前五條ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人
其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又
ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ

第九條 本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員又ハ使用人其ノ擔當スル統制事務
ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲
シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス
前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキ

ハ其ノ價格ヲ追徴ス

本條ノ罪ハ刑法第四條ノ例ニ從フ

第十條 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

附則 (昭和十三年五月二十四日)
(法律第八十五號)

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十六年三月三日法律第二十號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

參照

昭和十六年法律第二十號施行期日(昭和十六年三月十九日)
(勅令第二百二十五號)

昭和十六年法律第二十號ハ昭和十六年三月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年法律第九十二號第二條ニ規定スル措置ノ實 施上必要ナル事務ヲ市町村長等ヲシテ行ハシムルノ件

(昭和十五年九月二十八日)
(勅令第六百四十七號)

主務大臣昭和十二年法律第九十二號第二條第二號ニ規定スル措置ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村長又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ之ガ實施上必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ニ關スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第一項中主務大臣トアルハ樺太ニ在リテハ樺太廳長官トス

附則

本令ハ昭和十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年法律第九十二號第三條ノ規定ニ依ル職務 執行ノ證票ニ關スル件

(昭和十四年十二月十九日)
(農林省令第六十九號)

昭和十二年法律第九十二號第三條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ職務ヲ執行スル官吏ヲシテ別記様式ノ證票ヲ携帯セシム

前項ノ官吏ハ其ノ職務ノ執行ヲ受クル者ノ求ニ依リ證票ノ呈示ヲ爲スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス